特 集

題 目	所 属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
[特集]代替エネルギーの開発状況と今後の課題				
(1) 太陽エネルギー開発の現状と今後の課題	名古屋工業技術試験所	野口 哲男	1-1 (1980)	28
(2) 石炭の液化―技術開発の現状と今後の課題	函館工業高等専門学校	武谷 愿	1-1 (1980)	42
(3) 水素エネルギー開発の現状と今後の課題	大阪大学	田村 英雄	1-1 (1980)	50
(4) 風力エネルギー開発の現状と今後の課題	足利工業大学	牛山 泉	1-1 (1980)	58
(5) バイオマス利用の現状と今後の課題	(財)野口研究所	鈴木 明	1-1 (1980)	66
(6) 核融合研究の現状と今後の課題	東京大学	内田岱二郎	1-1 (1980)	71
[特集]太陽エネルギーの化学的変換並びに貯蔵における諸問題				
(1) 太陽エネルギーの化学的変換ならびに貯蔵	東京大学	長倉 三郎	1-2 (1980)	31
(2) 高エネルギー物質の光化学的生成	京都大学	吉田 善一	1-2 (1980)	34
(3) 光合成類似系による光エネルギーの化学変換―人工光合成―	九州大学	松尾 拓	1-2 (1980)	39
(4) 固体による太陽エネルギー変換	大阪大学	浜川 圭弘	1-2 (1980)	44
[特集]廃棄物のエネルギー回収利用				
(1) 一般廃棄物・下水汚泥からのエネルギー回収利用について	科学技術庁	吉本 秀幸	1-3 (1980)	28
(2) 廃棄物よりの物質・エネルギー回収についての各国の考え方と現状	東京都立大学	平山 直道	1-3 (1980)	37
(3) ごみ発電と地域暖房	札幌市環境局	三谷 普人	1-3 (1980)	44
	(株)タクマ	塩月 隼人	1-3 (1980)	
(4) 都市ごみのエネルギー回収システム	三菱重工業(株)	北見 誠一	1-3 (1980)	55
(5) 都市ごみからの物質・エネルギー回収技術	(株)荏原製作所	鳥巣 正浩	1-3 (1980)	64
	〃	石井 善明		
	〃	関口 英明		
	〃	久米 勤		
(6) 都市ごみのメタン発酵によるガス回収利用	日立プラント建設(株)	奥村 英樹	1-3 (1980)	71
	〃	江森 弘祥		
	(株)日立製作所	緒田原蓉二		
[特集]エネルギー変換関連の材料開発				
(1) イオン導電性固体とエネルギー変換	名古屋大学	高橋 武彦	1-4 (1980)	42
(2) 金属水素化物を利用した太陽熱膜分離システムの提案	工学技術院	小野修一郎	1-4 (1980)	50
(3) 省エネルギーとニューセラミックス	工学技術院	上野 力	1-4 (1980)	55
(4) 超電導材料	日本大学	安河内 昴	1-4 (1980)	62
[特集]省エネルギー				
(1) 省エネルギー法とその活用について	資源エネルギー庁	菊岡 栄次	2-1 (1981)	22
(2) 熱交換プロセスの省エネルギー構成とアプローチ温度	京都大学	高松武一郎	2-1 (1981)	27
	〃	仲 勇治		
	〃	寺下 雅之		
	〃	高田 康晴		
(3) 小温度差エネルギーシステムにおける作動媒体	東京農工大学	乙竹 直	2-1 (1981)	33
(4) 工業電解の省エネルギー	横浜国立大学	高橋 正雄	2-1 (1981)	38
(5) ボイラー等による廃熱回収システム	(株)平川鉄工所	溝渕 泉	2-1 (1981)	45
(6) 燃料電池による民生用省エネルギーシステム	大阪瓦斯(株)	森 英雄	2-1 (1981)	51
(7) 省エネルギー機器としてのヒートポンプ	日立造船(株)	中西 雄	2-1 (1981)	57
	〃	古川 哲郎		
	〃	井上 司朗		
(8) 省エネルギー機器としてのヒートパイプ	東北大学	大谷 茂盛	2-1 (1981)	64
	〃	宍戸 郁郎		
(9) 家電商品の省エネルギー化の取り組みについて	松下電器産業(株)	北澗 弘光	2-1 (1981)	71
(10) 省エネルギーのための断熱工法について	(株)ノザワ	佐藤 貞止	2-1 (1981)	75

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
[特集]採鉱技術からみた資源開発				
(1)　マンガンノジュールの開発の概要	公害資源研究所	伊藤　福夫	2-2 (1981)	29
(2)　マンガンノジュールの採掘技術について	公害資源研究所	伊藤　福夫	2-2 (1981)	38
(3)　海水からの核燃料資源の回収について	大分工業大学	古屋仲芳男	2-2 (1981)	45
(4)　バクテリアを利用した低品位鉱よりの金属資源の回収	京都大学	伊藤　一郎	2-2 (1981)	51
(5)　採炭技術と保安技術	公害資源研究所	大場　重美	2-2 (1981)	58
(6)　金属鉱物資源の採鉱技術	秋田大学	天野　勳三	2-2 (1981)	63
(7)　我が国に於ける石灰石鉱床の露天採掘について	小野田セメント(株)	神山　眞澄	2-2 (1981)	70
(8)　石油技術からみた地下資源開発	秋田大学	田中　正三	2-2 (1981)	76
[特集]植物資源のエネルギー化				
(1)　石油植物の探索	東京農業大学	近藤　典生	2-3 (1981)	28
(2)　海洋性植物のエネルギー利用	東京工業大学	山崎　　升	2-3 (1981)	33
(3)　資源・エネルギーとしての木材	京都大学	越島　哲夫	2-3 (1981)	38
(4)　糖質のアルコール醗酵	大阪市立大学	山本　武彦	2-3 (1981)	44
(5)　固定化微生物のエネルギー化への応用	東京工業大学	軽部　征夫	2-3 (1981)	51
	〃	鈴木　周一		
(6)　エネルギー生産農業の生物学的基礎	東京農業大学	村田　吉男	2-3 (1981)	57
[特集]エネルギー経済・エネルギーシステム				
(1)　エネルギーと産業構造－世界経済の視点から－	慶応義塾大学	尾崎　　巌	2-4 (1981)	23
(2)　枯渇性資源と経済成長	富山大学	増田　信彦	2-4 (1981)	32
(3)　エネルギーと設備投資	名古屋大学	木下　宗七	2-4 (1981)	38
(4)　エネルギー・アナリシスとその方法	東京大学	茅　　陽一	2-4 (1981)	45
	〃	手塚　哲央		
(5)　日本におけるエネルギー・モデル開発の現状	埼玉大学	室田　泰弘	2-4 (1981)	53
(6)　地域エネルギー	大阪大学	鈴木　　胖	2-4 (1981)	60
[特集]新燃焼技術				
(1)　接触燃焼法の研究開発	(財)電力中央研究所	福澤　　久	2-5 (1981)	18
	〃	石原　義己		
(2)　ボイラ用ガス噴霧式オイルバーナ	ボルカノ(株)	金森　聖二	2-5 (1981)	24
	〃	伊藤　博一		
(3)　重質油燃焼の諸特性	三菱重工業(株)	坂井　正康	2-5 (1981)	32
(4)　エマルジョン燃焼	船舶技術研究所	熊倉　孝尚	2-5 (1981)	38
(5)　石炭のガス化燃焼	(株)日立製作所	石橋　洋二	2-5 (1981)	44
(6)　COM燃焼	(株)神戸製鋼所	田村　節夫	2-5 (1981)	51
	〃	成田　貴一		
	〃	前川　昌大		
	〃	出口　幹郎		
	〃	阿部　　享		
	〃	鈴木　富雄		
(7)　微粉炭燃焼	川崎重工業(株)	加藤　幸三	2-5 (1981)	59
(8)　石炭流動層燃焼技術	(財)石炭技術研究所	玉貫　　滋	2-5 (1981)	66
[特集]石炭の液化・ガス化技術				
(1)　炭素系資源の高度利用	京都大学	武上　善信	2-6 (1981)	26
(2)　石炭液化に関する課題	(株)神戸製鋼所	森　　憲二	2-6 (1981)	32
(3)　石炭の間接液化プロセス	東京大学	冨永　博夫	2-6 (1981)	40
(4)　石炭の直接液化	北海道大学	真田　雄三	2-6 (1981)	46
(5)　石炭直接液化の触媒	北海道大学	田部　浩三	2-6 (1981)	54
	〃	服部　　英		
(6)　石炭の接触ガス化	東北大学	富田　　彰	2-6 (1981)	61
	〃	玉井　康勝		

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(7)　石炭ガス化に関する諸問題	大阪瓦斯(株)	富久　登	2-6 (1981)	68
[特集]ソーラーハウス				
(1)　ソーラーハウスの将来	早稲田大学	木村　建一	3-1 (1982)	51
(2)　集合住宅ソーラーハウス	東海大学	田中　俊六	3-1 (1982)	55
(3)　パッシブソーラーハウス－住宅設計の立場から－	建設省建築研究所	小玉祐一郎	3-1 (1982)	62
(4)　北海道のソーラーハウスについて	北見工業大学	金山　公夫	3-1 (1982)	70
(5)　ソーラーハウスの冷暖房・給湯システムの熱特性	三洋電機(株)	日野谷勝弘	3-1 (1982)	77
(6)　ソーラーハウスの太陽電池利用システム	シャープ(株)	外村　俊弥	3-1 (1982)	84
[特集]発電用動力プラント				
(1)　我が国における電源開発の展望	資源エネルギー庁	内田　二郎	3-2 (1982)	16
(2)　LNG焚発電プラントの諸問題	石川島播磨重工業(株)	牧野　啓二	3-2 (1982)	23
	〃	小澤　宏		
	〃	近藤　久義		
(3)　石炭焚発電プラント技術の現状と将来	電源開発(株)	中林　恭之	3-2 (1982)	30
(4)　トータルシステムとしての発電プラントの効率化	高効率ガスタービン技術研究組合	佐野　恵保	3-2 (1982)	38
(5)　石炭ガス化複合発電	三菱重工業(株)	山本　光男	3-2 (1982)	45
	〃	仙石　忠正		
	〃	杉山　晃		
	〃	小川紀一郎		
(6)　地熱発電プラント	富士電機製造(株)	湖崎　一俊	3-2 (1982)	54
(7)　火力発電プラントの計算機制御の現状と将来展望	(株)日立製作所	佐藤　美雄	3-2 (1982)	62
	〃	西村　昭		
[特集]グリーンエナジー計画				
(1)　グリーンエナジーの開発と計画	農林水産省	唐橋　需	3-3 (1982)	28
(2)　エネルギーの分布と農業利用	農業技術研究所	久保　祐雄	3-3 (1982)	34
(3)　植物による物質固定効率の向上	農業技術研究所	高橋　保夫	3-3 (1982)	39
(4)　農業生産の場におけるエネルギーの流れと改善	北海道農業試験場	嶋田　饒	3-3 (1982)	47
(5)　農業用熱源・動力源としての自然エネルギーの利用	農業土木試験場	千葉　豪	3-3 (1982)	54
[特集]電力システムと電力機器の省エネルギー				
(1)　電力システムにおける省エネルギーの現状と展望	工業技術院	松田　泰	3-4 (1982)	11
(2)　発電設備における省エネルギー	東京芝浦電気(株)	河野　武史	3-4 (1982)	16
(3)　省エネルギー型の新発電方式	東京芝浦電気(株)	萩本　和男	3-4 (1982)	23
(4)　電力貯蔵方式における省エネルギー	三菱電機(株)	河村　寿三	3-4 (1982)	30
(5)　送変電設備における省エネルギー	(株)日立製作所	菅野　弘道	3-4 (1982)	36
(6)　電力系統運用における省エネルギー	関西電力(株)	西森　寿郎	3-4 (1982)	42
[特集]資源探査の現状と将来				
(1)　物理探査の概要	京都大学	吉住永三郎	3-5 (1982)	21
(2)　石油・天然ガスの探査	アブタビ石油(株)	百瀬　寛人	3-5 (1982)	27
(3)　金属鉱床の探査	大手開発(株)	服部　旭	3-5 (1982)	33
(4)　核燃料の探査				
	動力炉・核燃料開発事業団	角田　晴信	3-5 (1982)	40
(5)　地下水の探査	川崎地質(株)	柴藤　喜平	3-5 (1982)	46
(6)　地熱資源の探査				
	日鉄鉱コンサルタント(株)	安達　幸夫	3-5 (1982)	50
(7)　海底鉱物資源の探査	金属鉱業事業団	長谷川　淳	3-5 (1982)	57
(8)　地下構造の探査	応用地質調査事務所	今井　常雄	3-5 (1982)	66
[特集]太陽光発電技術				
(1)　太陽光発電システム－見通しの出てきた新発電技術－	大阪大学	浜川　圭弘	3-6 (1982)	19
(2)　低コスト化を目指す結晶性シリコン－太陽電池の研究開発動向－	シャープ(株)	辻　高輝	3-6 (1982)	28

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(3)　化合物半導体太陽電池の研究開発の状況－Ⅱ-Ⅵ族を中心に－	松下電器産業(株)	池上　清治	3-6 (1982)	34
(4)　化合物半導体太陽電池の研究開発の状況－Ⅲ-Ⅴ族を中心に－	三菱電機(株)	行本　善則	3-6 (1982)	39
(5)　アモルファスシリコン太陽電池の進歩	三洋電機(株)	大西三千年	3-6 (1982)	47
	〃	桑野　幸穂	3-6 (1982)	
(6)　我が国における太陽光発電システムの実例	(株)日立製作所	地福　順人	3-6 (1982)	54
(7)　海外における太陽光発電技術	東京芝浦電気(株)	林　真太郎	3-6 (1982)	59
(8)　衛星発電をめぐる最近の動向	宇宙科学研究所	長友　信人	3-6 (1982)	63
[特集]今日の水資源問題を考える				
(1)　水問題の課題とその展望	京都大学	岩佐　義朗	4-1 (1983)	26
(2)　総合水利用システムの構築	(財)都市調査会	藤野　良幸	4-1 (1983)	31
(3)　ウォーター・アナリシスの基礎的研究—水需給情報システムの編成—	大阪大学	末石冨太郎	4-1 (1983)	39
	大阪府土木部	冨尾　桂一	4-1 (1983)	
(4)　親水空間の創造について—目黒川を例として—	東京大学	市川　　新	4-1 (1983)	47
(5)　都市空間としての水資源[事例研究]—7.23長崎豪雨災害をめぐって—	長崎総合科学大学	片寄　俊秀	4-1 (1983)	55
(6)　治水・利水・開発保全[事例研究]—地域総合計画の一環としての猪名川における事業—	近畿地方建設局	大島　康宏	4-1 (1983)	60
[特集]重質油対策技術の開発				
(1)　日本における重質油対策の動向	重質油対策技術研究組合	太田　佳宏	4-2 (1983)	26
(2)　重質油の接触分解技術—HOTプロセスの開発—	日本鉱業(株)	加藤　恒一	4-2 (1983)	35
(3)　重質油の水素化分解技術	出光興産(株)	渡辺　　潔	4-2 (1983)	40
(4)　重質油の熱分解技術	大阪ガス(株)	吉井　茂雄	4-2 (1983)	47
	〃	松井　久次		
(5)　劣質残渣の無公害型燃焼技術	(財)電力中央研究所	鈴木　治朗	4-2 (1983)	53
(6)　重質油の熱分解と副生コークスを利用した還元鉄製造技術	(株)神戸製鋼所	森　　憲二	4-2 (1983)	60
(7)　人造粘結材製造技術	川崎重工業(株)	川真田直之	4-2 (1983)	68
[特集]自然の流体エネルギーの開発				
(1)　風力発電の現状と将来	石川島播磨重工業(株)	三浦登志男	4-3 (1983)	30
(2)　プロペラ型風車の動特性	三重大学	清水　幸丸	4-3 (1983)	36
(3)　貫流水車	横浜国立大学	豊倉富太郎	4-3 (1983)	44
	〃	金元　敏明		
(4)　ダリウス形横流水車	九州大学	高松　康生	4-3 (1983)	50
(5)　波浪発電に関する基礎研究	東京大学	前田　久明	4-3 (1983)	56
(6)　波力発電の研究状況	海洋科学技術センター	益田　善雄	4-3 (1983)	61
(7)　海流発電の意義と将来展望	元防衛庁	海法　泰治	4-3 (1983)	67
[特集]エネルギー貯蔵				
(1)　顕熱蓄熱材を用いた熱エネルギー貯蔵	名古屋工業技術試験所	朝比奈　正	4-4 (1983)	42
	〃	小坂　岑雄		
(2)　潜熱蓄熱材を用いた熱エネルギー貯蔵	三菱電機(株)	甲斐潤二郎	4-4 (1983)	48
(3)　化学反応を利用する蓄熱技術	化学技術研究所	藤原　一郎	4-4 (1983)	56
(4)　化学物質による光エネルギー貯蔵	京都大学	吉田　善一	4-4 (1983)	65
(5)　新型電池による電力貯蔵システム	電子技術総合研究所	小沢　丈夫	4-4 (1983)	71
(6)　超電導エネルギー貯蔵	大阪大学	村上　吉繁	4-4 (1983)	78
(7)　機械的エネルギー貯蔵－電力貯蔵システムへの応用－	東京電力(株)	山本　将人	4-4 (1983)	85
	〃	牧　　正一		
(8)　超弾性材料によるエネルギー貯蔵	筑波大学	宮崎　修一	4-4 (1983)	90
	〃	大塚　和弘		
[特集]鉄鋼業とエネルギー問題				
(1)　わが国の鉄鋼業とエネルギー	京都大学	小門　純一	4-5 (1983)	29

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(2)　鉄鋼業の省エネルギー	東京工業大学	一色　尚次	4-5 (1983)	35
	北京鉄鋼学院	湯　学忠		
(3)　鉄鋼業における顕熱回収と省エネルギー―スラグの顕野回収による省エネルギー―	新日本製鐵(株)	井上　展夫	4-5 (1983)	43
	〃	榊原　通昭		
(4)　設備，工程合理化による省エネルギー―新日鉄堺製鉄所におけるCC-DRプロセス―	新日本製鐵(株)	蜂谷　整生	4-5 (1983)	51
	〃	浅野総一郎		
	〃	佐々木智久		
(5)　石炭の鉄浴ガス化法	東北大学	徳田　昌則	4-5 (1983)	57
(6)　溶融還元の技術開発の現状	川崎製鉄(株)	鶴岡　一夫	4-5 (1983)	63
(7)　ペレット工場の微粉炭燃焼について	(株)神戸製鋼所	井硲　弘	4-5 (1983)	69
[特集]C_1化学技術				
(1)　大型工業技術開発制度(大型ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ)における一酸化炭素を原料とする基礎化学品の製造法(C1化学)の研究開発状況について	工業技術院	三浦　正俊	4-6 (1983)	30
(2)　石炭からの合成ガスの製造	東京農工大学	平戸　瑞穂	4-6 (1983)	36
(3)　原料ガスの分離精製	化学技術研究所	白田　利勝	4-6 (1983)	44
(4)　C_2―含酸素化合物の直接合成	(財)相模中央化学研究所	市川　勝	4-6 (1983)	51
(5)　エチレングリコール合成の展望と問題点	化学技術研究所	阪東憲一郎	4-6 (1983)	58
(6)　酢酸製造プロセスの進歩	ダイセル化学工業(株)	紫垣　明典	4-6 (1983)	61
(7)　合成ガス，メタノールからの炭化水素合成	京都大学	乾　智行	4-6 (1983)	68
(8)　炭酸ガスを原料とするC_1化学	東京大学	井上　祥平	4-6 (1983)	75
	〃	村山　英樹		
[特集]エネルギー経済・エネルギーシステム(その2)				
(1)　流体燃料の将来シナリオ分析	東京大学	茅　陽一	5-1 (1984)	29
	京都大学	手塚　哲央		
(2)　新エネルギー技術の評価のためのエネルギーシステム分析	電子技術総合研究所	小山　茂夫	5-1 (1984)	36
(3)　石炭エネルギーへの転換と環境影響評価	公害資源研究所	横山　長之	5-1 (1984)	43
(4)　発電所立地の社会経済影響のモデル分析	(財)電力中央研究所	荒井　泰男	5-1 (1984)	51
	〃	大河原　透		
(5)　中小水力発電のエネルギー評価	(財)電力中央研究所	辻　明宏	5-1 (1984)	58
(6)　省エネルギー新都市計画の社会的・経済的評価	北海道大学	山村　悦夫	5-1 (1984)	65
(7)　大潟村におけるエネルギー需要構造と自然エネルギー代替の可能性	東京理科大学	奥野　忠一	5-1 (1984)	70
[特集]原子力エネルギー				
(1)　原子力発電技術の現状	東京工業大学	青木　成文	5-2 (1984)	29
(2)　軽水炉による発電技術―沸騰水型炉―	東京電力(株)	板倉　治成	5-2 (1984)	35
(3)　軽水炉による発電技術―加圧水型炉―	関西電力(株)	根岸　学	5-2 (1984)	42
(4)　新型転換炉(ATR)の開発	動力炉・核燃料開発事業団	明比　道夫	5-2 (1984)	48
	〃	小堀　哲雄		
(5)　高速増殖炉(FBR)の開発	動力炉・核燃料開発事業団	野本　昭二	5-2 (1984)	54
	〃	奈良　義彦		
(6)　原子力エネルギーの多目的利用	日本原子力研究所	青地　哲男	5-2 (1984)	62
(7)　海外における核燃料サイクルの現状	動力炉・核燃料開発事業団	小泉　益通	5-2 (1984)	68
[特集]銅資源				
(1)　銅資源をめぐる我が国と国際情勢	資源エネルギー庁	岡本　英樹	5-3 (1984)	24
(2)　世界及びわが国の銅鉱床	東京大学	武内寿久禰	5-3 (1984)	36
(3)　銅鉱物の分離・選別技術	京都大学	若松　貴英	5-3 (1984)	42
(4)　銅の製錬技術	東北大学	矢沢　彬	5-3 (1984)	47
(5)　黒鉱開発の現状と将来	同和鉱業(株)	熊谷　英男	5-3 (1984)	54

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(6)　銅及び銅合金の特性と利用	関西大学	村上陽太郎	5-3 (1984)	61
(7)　我が国銅開発の歴史について	(社)日本鉱業会	葉賀七三男	5-3 (1984)	68
[特集]水素エネルギー				
(1)　水素エネルギー研究開発の現状と展望	通産省	斎藤　紘一	5-4 (1984)	28
	〃	上原　斎		
(2)　SPE水電解法による水素の製造	大阪工業技術試験所	鳥養　栄一	5-4 (1984)	33
(3)　高温高圧アルカリ水溶液電解法による水素の製造	昭和電工(株)	藤巻　隆	5-4 (1984)	39
(4)　熱化学及びハイブリッド法による水素製造研究の現状	京都大学	竹原善一郎	5-4 (1984)	47
(5)　太陽光による水素製造法研究の現状―光電極反応，光触媒反応を中心として―				
	大阪大学	川合　知二	5-4 (1984)	54
(6)　水素吸蔵合金を用いたヒートポンプシステム	積水化学工業(株)	河合　重征	5-4 (1984)	62
	〃	西崎　倫義		
(7)　気体分離膜による水素の分離・濃縮	明治大学	仲川　勤	5-4 (1984)	68
(8)　水素燃料と水素エンジン	(株)大金製作所	柳原　茂	5-4 (1984)	75
	〃	浜　純		
[特集]新材料				
(1)　最近の機能性高分子膜	京都大学	清水　剛夫	5-5 (1984)	31
(2)　耐熱性高分子の進歩	菱電化成(株)	西崎俊一郎	5-5 (1984)	37
(3)　導電性高分子の展望	大阪大学	三川　礼	5-5 (1984)	45
(4)　炭素材料の進歩	群馬大学	大谷　杉郎	5-5 (1984)	52
(5)　機械材料としてのセラミックス	京セラ(株)	中原　義毅	5-5 (1984)	57
(6)　非晶質物質―セラミックスを中心として―	大阪大学	金丸　文一	5-5 (1984)	63
	〃	延谷　宏治		
[特集]ヒートポンプ				
(1)　エネルギー問題におけるヒートポンプ －スーパーヒートポンプ・エネルギー集積システムの研究開発－				
	工業技術院	武松　敏弋	5-6 (1984)	29
(2)　ヒートポンプ用熱媒体の開発動向	ダイキン工業(株)	野口　真裕	5-6 (1984)	36
	〃	遠上　尚徳		
(3)　ガスエンジンヒートポンプの現状と将来	東京ガス(株)	小倉　正雄	5-6 (1984)	42
(4)　吸収ヒートポンプの現状と将来	東京三洋電機(株)	太田　治寛	5-6 (1984)	49
(5)　ケミカルヒートポンプの現状と将来	東京農工大	亀山　秀雄	5-6 (1984)	55
(6)　産業分野に於けるヒートポンプの利用とその課題	三菱電機(株)	岩崎　善彦	5-6 (1984)	65
(7)　地域冷暖房へのヒートポンプの応用	東京電力(株)	成田　勝彦	5-6 (1984)	72
	〃	前川　哲也		
(8)　寒冷地におけるヒートポンプの利用	工業技術院	後藤藤太郎	5-6 (1984)	78
[5周年記念特集]エネルギー・資源の将来展望				
(1)　資源，エネルギー政策と将来	資源エネルギー庁	松田　泰	6-1 (1985)	7
(2)　新エネルギーの開発・利用と将来	工業技術院	宮副　信隆	6-1 (1985)	13
(3)　省エネルギーの開発・利用と将来	工業技術院	仲井真弘多	6-1 (1985)	19
(4)　原子力開発政策と将来	科学技術庁	雨村　博光	6-1 (1985)	25
(5)　資源の総合的利用策と将来	科学技術庁	平山量三郎	6-1 (1985)	30
(6)　海洋資源・エネルギー開発の現状と展望	科学技術庁	宇都宮　誠	6-1 (1985)	35
(7)　資源・エネルギーと環境	環境庁	山岡　通宏	6-1 (1985)	40
(8)　世界におけるエネルギー需給の現状と予測	(財)電力中央研究所	斎藤　雄志	6-1 (1985)	45
(9)　生物資源の現状と研究の方向	農林水産省	田口　俊郎	6-1 (1985)	50
(10)　人工衛星と資源探査	地質調査所	小野　吉彦	6-1 (1985)	54
	〃	津　宏治		
(11)　核燃料開発と将来	動力炉・核燃料開発事業団	松原　伸一	6-1 (1985)	59
(12)　我が国における石油資源開発の現状と展望	石油公団	若園　正夫	6-1 (1985)	65

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(13) 我が国における金属鉱物資源調査（広域調査・精密調査）の現状と展望				
	金属鉱業事業団	中馬　猛順	6-1 (1985)	71
(14) 資源開発と国際協力－その現状と将来展望－	国際協力事業団	堀内　伸介	6-1 (1985)	78
(15) 新素材の開発と将来	大阪工業技術試験所	速水　諒三	6-1 (1985)	83
(16) 太陽光発電の現状と展望	東京工業大学	高橋　清	6-1 (1985)	88
(17) 高温熱エネルギーによる直接発電―クローズドサイクルMHD発電―	東京工業大学	塩田　進	6-1 (1985)	92
(18) 核融合の開発と将来	日本原子力研究所	礒　康彦	6-1 (1985)	98
(19) 新しい電池とその応用	大阪市立大学	平井　竹次	6-1 (1985)	103
(20) ヒートパイプとその省エネルギー技術への応用	古河電気工業(株)	贄川　潤	6-1 (1985)	109
	〃	古谷　修一		
	〃	小泉　達也		
(21) 舶用ディーゼル主機に関する省エネルギー技術	川崎重工業(株)	中野　英明	6-1 (1985)	114
(22) ガスタービン複合発電の動向	三菱重工業(株)	舟津　正之	6-1 (1985)	120
(23) 超電導発電機と超電導エネルギー貯蔵	三菱電機(株)	岩本　雅民	6-1 (1985)	125
	〃	中村　史朗		
[特集]燃料電池				
(1) 燃料電池開発の現状と動向	ムーンライト計画推進室	成松　佑輔	6-2 (1985)	25
(2) リン酸燃料電池の要素開発	新エネルギー総合開発機構	伊藤　登	6-2 (1985)	32
(3) リン酸型燃料電池の1,000kW級デモプラント	新エネルギー総合開発機構	永島　正明	6-2 (1985)	38
(4) オンサイト型燃料電池の開発	東京ガス(株)	菊地　謙一	6-2 (1985)	43
(5) 溶融炭酸塩型燃料電池とその開発状況	大阪工業技術試験所	児玉　皓雄	6-2 (1985)	49
(6) 固体電解質型燃料電池	電子技術総合研究所	佐藤　弘之	6-2 (1985)	55
(7) 燃料電池の排熱利用技術	東京電力(株)	真壁　輝男	6-2 (1985)	62
[特集]気体の膜分離技術				
(1) 気体分離用高分子膜の素材設計と特色	明治大学	仲川　勤	6-3 (1985)	20
(2) プリズム・セパレーターによる水素の分離・回収	日本モンサント(株)	坂田　勝	6-3 (1985)	27
(3) 酸素富化膜とその産業分野への応用	日本酸素(株)	今福　実	6-3 (1985)	33
(4) 新規高分子複合膜による酸素の濃縮	九州大学	梶山　千里	6-3 (1985)	41
(5) 促進輸送膜による気体分離	長崎大学	鹿川　修一	6-3 (1985)	48
	〃	川上　満泰		
(6) 固体電解質による気体分離	鳥取大学	岩原　弘育	6-3 (1985)	54
(7) 気体分離膜の医用への展開－人工肺－	京都大学	筏　義人	6-3 (1985)	60
(8) ポリイミド樹脂膜による気体分離	宇部興産(株)	中村明日丸	6-3 (1985)	67
[特集]食糧資源				
(1) 世界の食糧資源の現状と将来	京都大学	辻井　博	6-4 (1985)	23
(2) 我が国の食料生産とエネルギー	農林水産省	宇田川武俊	6-4 (1985)	31
(3) 食糧生産と環境	農林水産省	内嶋善兵衛	6-4 (1985)	37
(4) バイオテクノロジーと作物育種	農林水産省	志賀　敏夫	6-4 (1985)	43
(5) 遺伝資源	(社)農林水産技術情報協会	熊谷甲子夫	6-4 (1985)	50
(6) 食料のポストハーベスト技術とエネルギー問題	農林水産省	梅田　圭司	6-4 (1985)	57
	〃	田島　眞		
(7) 未利用炭水化物資源	農林水産省	貝沼　圭二	6-4 (1985)	61
(8) 家魚化システムのための新しいアプローチ	九州農業試験場	竹澤　武春	6-4 (1985)	67
[特集]レアメタルの製造と利用				
(1) ニオブ・タンタルの製造と用途	関西大学	西村　山治	6-5 (1985)	23
(2) モリブデン材料の製造とその利用例	東京タングステン(株)	中尾智三郎	6-5 (1985)	31
	〃	島谷　幸治		
(3) ジルコニウム・ハフニウム	日本鉱業(株)	高橋　光男	6-5 (1985)	37
	〃	宮崎　英男		

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(4)　アンチモンについて	日本精鉱(株)	安達　肇	6-5 (1985)	43
(5)　リチウム	本荘ケミカル(株)	小林　正夫	6-5 (1985)	50
(6)　チタン	大阪チタニウム製造(株)	井関　順吉	6-5 (1985)	58
	〃	守屋　惇郎		
(7)　希土類金属	新日本金属化学(株)	西村　新一	6-5 (1985)	64
(8)　シリコン	信越半導体(株)	安部　靖彦	6-5 (1985)	71
(9)　バナジウム―製造と用途―	太陽鉱工(株)	須藤　欽吾	6-5 (1985)	78
[特集]大型プロジェクト－自然エネルギー利用(国内・国外)の現状と将来－				
(1)　太陽熱発電	電子技術総合研究所	谷　辰夫	6-6 (1985)	15
(2)　太陽光発電	(財)電力中央研究所	武田　行弘	6-6 (1985)	21
(3)　海水淡水化	名古屋大学	外山　茂樹	6-6 (1985)	27
(4)　海洋温度差発電	電子技術総合研究所	梶川　武信	6-6 (1985)	31
(5)　風力発電	東京大学	東　昭	6-6 (1985)	37
(6)　波浪発電の現状	東京大学	前田　久明	6-6 (1985)	45
(7)　地熱発電	電気通信大学	森　康夫	6-6 (1985)	51
[特集]世界のエネルギー需給と各国のエネルギー政策				
(1)　IIASAによる長期エネルギー需給予測の比較	埼玉大学	室田　泰弘	7-1 (1986)	44
(2)　世界エネルギー需給の構造分析	(財)電力中央研究所	熊倉　修	7-1 (1986)	48
(3)　サウジアラビアの石油政策とOPEC	(財)日本エネルギー経済研究所	岩﨑　徹也	7-1 (1986)	55
(4)　米国・カナダのエネルギー政策	(財)電力中央研究所	廿日出芳郎	7-1 (1986)	63
(5)　ソ連の原油生産と石油政策	(財)日本エネルギー経済研究所	湯浅　俊昭	7-1 (1986)	69
(6)　西欧諸国のエネルギー政策	(社)海外電力調査会	浅賀　幸平	7-1 (1986)	75
(7)　中国のエネルギー事情	アジア経済研究所	小島　麗逸	7-1 (1986)	82
[特集]資源・エネルギーから見たバイオテクノロジー先端技術				
(1)　バイオテクノロジー研究開発の現状と展望	通商産業省	佐々木修一	7-2 (1986)	29
	〃	江口　信彦		
(2)　バイオリアクターの基礎的研究	繊維高分子材料研究所	山内　愛造	7-2 (1986)	35
	〃	一條　久夫		
(3)　酸化反応プロセス代替バイオリアクター	京都大学	田中　渥夫	7-2 (1986)	42
(4)　細胞大量培養技術	協和発酵工業(株)	藤吉　宣男	7-2 (1986)	49
(5)　組換えDNA利用技術	東京大学	高橋　秀夫	7-2 (1986)	57
(6)　固定化酵母によるアルコールの連続発酵	宝酒造(株)	花井　四郎	7-2 (1986)	62
[特集]金属廃棄物の資源としてのサイクル化				
(1)　特殊金属のリサイクリングの現状	(財)クリーン・ジャパン・センター	三藤　利雄	7-3 (1986)	26
(2)　金・銀再利用の現状と将来	京都大学	中廣　吉孝	7-3 (1986)	32
(3)　アルミニウムリサイクルの現状と今後	(株)大紀ｱﾙﾐﾆｳﾑ工業所	山本龍太郎	7-3 (1986)	40
(4)　鉛の再利用の現状と回収	(株)大阪鉛錫精錬所	広瀬　恪二	7-3 (1986)	50
(5)　乾電池からの水銀回収問題とその処理	野村興産(株)	兼丸　敞	7-3 (1986)	55
(6)　自動車のスクラップからの金属回収	豊田メタルスクラップ(株)	熊谷　正克	7-3 (1986)	63
(7)　タングステン系使用済触媒からタングステンの回収	日清鋼業(株)	山内　晃吉	7-3 (1986)	70
[特集]熱交換技術				
(1)　高性能対流熱交換技術	東京大学	棚澤　一郎	7-4 (1986)	38
(2)　高性能沸騰凝縮熱交換技術	九州大学	藤田　恭伸	7-4 (1986)	44
	東京工業大学	土方　邦夫		
(3)　高性能高温ガス輻射伝熱技術	東京工業大学	越後　亮三	7-4 (1986)	52
(4)　空調用熱交換技術	(株)日立製作所	伊藤　正昭	7-4 (1986)	60
	〃	千秋　隆雄		
(5)　蒸気発生器における熱交換技術	三菱重工業(株)	岩渕　牧男	7-4 (1986)	69
	〃	羽田　寿夫		

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(6)　スターリング機関における熱交換技術	機械技術研究所	山田　幸生	7-4 (1986)	76
(7)　プレート式熱交換器とその応用製品	(株)日阪製作所	駒野　宣夫	7-4 (1986)	83
[特集]エネルギーの複合利用技術				
(1)　コージェネレーションシステムの現状と展望	(財)日本システム開発研究所	垣田　行雄	7-5 (1986)	28
(2)　コンビナートにおけるエネルギー複合体	大阪大学	鈴木　胖	7-5 (1986)	34
(3)　石炭ガス化複合サイクル発電	(財)石炭技術研究所	穂積　重友	7-5 (1986)	42
(4)　内燃機関によるコージェネレーション	東京工業大学	垂水　弘夫	7-5 (1986)	49
	〃	藤井　修二		
	(株)フォルム設計事務所	早川　一也		
(5)　燃料電池によるコジェネレーション	東京ガス(株)	高橋　弘文	7-5 (1986)	35
(6)　都市ごみエネルギーの有効利用	東京都立大学	平山　直道	7-5 (1986)	60
(7)　畜産廃棄物のメタン醗酵によるエネルギー有効利用	大機ゴム工業(株)	小暮　忠宏	7-5 (1986)	66
	日立造船(株)	安藤　晃		
[特集]海洋エネルギー利用技術				
(1)　波浪エネルギーの利用技術と将来性	東京大学	前田　久明	7-6 (1986)	34
(2)　タンデムウエルズタービンの実機性能試験	(株)緑星社	益田　善雄	7-6 (1986)	39
(3)　波力発電ケーソン防波堤の特性	港湾技術研究所	高橋　重雄	7-6 (1986)	44
(4)　航路標識用波力発電システム	海上保安庁	築貫　義人	7-6 (1986)	50
	(株)緑星社	矢作　勝		
(5)　沿岸固定式波力発電システム	富士電機(株)	平本　暠	7-6 (1986)	58
	〃	竹内　孝行		
(6)　海洋温度差エネルギー利用技術と将来性	電子技術総合研究所	梶川　武信	7-6 (1986)	64
(7)　海洋温度差発電に関するフィールドル実験	長崎大学	栗須　正登	7-6 (1986)	71
[特集]エネルギー・資源と高度情報化				
(1)　高度情報化社会の展望	(財)電力中央研究所	阿波田禾積	8-1 (1987)	43
(2)　情報産業の発展と電気事業の役割	学習院大学	南部　鶴彦	8-1 (1987)	49
(3)　原子力発電所における情報化	東京電力(株)	野々村誠一	8-1 (1987)	54
(4)　資源探査と高度情報処理	日本シュルンベルジェ(株)	森　俊二	8-1 (1987)	63
(5)　都市ガス事業における高度情報化	オージー情報システム(株)	寺村　三郎	8-1 (1987)	70
(6)　石油業における高度情報化	出光興産(株)	石上　尚希	8-1 (1987)	78
[特集]大型プロジェクト(2)				
(1)　高効率ガスタービン	高効率ガスタービン技術研究組合	辻　高弘	8-2 (1987)	34
(2)　汎用スターリングエンジン―中間評価を終えて―	機械技術研究所	山下　巖	8-2 (1987)	40
(3)　実用原子力発電施設作業ロボットの研究開発	極限作業ロボット技術研究組合	安藤　弘昭	8-2 (1987)	47
(4)　マンガン団塊採鉱システム―開発の現状―	技術研究組合	飯沼　孝雄	8-2 (1987)	53
(5)　地球資源衛星の研究開発／超先端加工技術の研究開発	工業技術院	中島　一郎	8-2 (1987)	61
(6)　新型電池電力貯蔵システム―開発の現状―	ムーンライト計画推進室	大高　英司	8-2 (1987)	67
	〃	岡崎　進		
(7)　褐炭液化－新技術と50t／日パイロットプラント－	日本褐炭液化(株)	中子　敬夫	8-2 (1987)	74
[特集]有機超薄膜とその機能展開				
(1)　人工分子膜の構築と機能展開	九州大学	東　信行	8-3 (1987)	18
(2)　高分子化リポソームの合成と利用	京都大学	北野　博巳	8-3 (1987)	25
(3)　プラズマ重合薄膜の合成と利用	茨城大学	長田　義仁	8-3 (1987)	32
	〃	山田　勝幸		
(4)　縮合系高分子の超薄膜化技術	東京工業大学	柿本　雅明	8-3 (1987)	40
	〃	今井　淑夫		
(5)　自己支持型液晶薄膜の作製ﾌﾟﾛｾｽと機能性への展開	九州大学	梶山　千里	8-3 (1987)	46
(6)　液体膜による分離法の最新の開発動向と展開	大阪府立大学	片岡　健	8-3 (1987)	52
	〃	西機　忠昭		

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(7)　先端産業における薄膜材料の活用	日本板硝子(株)	青木　裕一	8-3 (1987)	58
[特集]新型電池・・・開発の現状と展望				
(1)　新しい電池の開発と動向	京都大学	竹原善一郎	8-4 (1987)	29
(2)　電力貯蔵用電池の開発の現状	大阪工業技術試験所	高橋　祥夫	8-4 (1987)	36
(3)　燃料電池の開発の現状	大阪工業技術試験所	児玉　皓雄	8-4 (1987)	43
(4)　リチウム電池の開発の現状	山口大学	松田　好晴	8-4 (1987)	52
	〃	森田　昌行		
(5)　ポリマー電池の開発の現状	大阪大学	米山　宏	8-4 (1987)	58
(6)　新しい鉛蓄電池の開発とその展開	湯浅電池(株)	渕田　京	8-4 (1987)	65
(7)　新しいアルカリ電池とその展開	日本電池(株)	下村　信夫	8-4 (1987)	71
[特集]エネルギー統計				
(1)　我が国のエネルギー統計	専修大学	齋藤　雄志	8-5 (1987)	22
(2)　エネルギーバランス表	(財)日本エネルギー経済研究所	松井　賢一	8-5 (1987)	30
(3)　我が国の石油統計	シェル興産(株)	久保　弘美	8-5 (1987)	36
(4)　電力統計	(財)電力中央研究所	植木　滋之	8-5 (1987)	43
(5)　民生用エネルギー統計－家庭用を中心として－	(株)住環境計画研究所	中上　英俊	8-5 (1987)	51
[特集]エネルギー関係のセラミックス				
(1)　イオン導電性セラミックスとその応用	松下電器産業(株)	近藤　繁雄	8-6 (1987)	17
(2)　MHD発電用絶縁壁および耐アーク性電極	大阪工業技術試験所	速水　諒三	8-6 (1987)	23
(3)　エンジニアリングセラミックス	(株)東芝	米屋　勝利	8-6 (1987)	28
(4)　セラミックス超電導材料	東京大学	北沢　宏一	8-6 (1987)	37
	〃	笛木　和雄		
(5)　大出力レーザーガラス	HOYA(株)	泉谷　徹郎	8-6 (1987)	42
(6)　強誘電性セラミックス	東京大学	柳田　博明	8-6 (1987)	46
	〃	五十嵐　香		
(7)　アモルファス熱電材料	山口大学	松原　覚衛	8-6 (1987)	50
[特集]21世紀のエネルギー像				
(1)　21世紀エネルギー需給展望－「長期エネルギー需給見通し」の改定	資源エネルギー庁	川嶋　温	9-1 (1988)	42
(2)　21世紀のエネルギーシナリオ―世界と日本―	(財)日本エネルギー経済研究所	藤目　和哉	9-1 (1988)	47
(3)　電気事業の21世紀ビジョン	東京電力(株)	山田　耕太	9-1 (1988)	54
(4)　21世紀に至る都市ガス事業の展望	大阪ガス(株)	小西　利広	9-1 (1988)	61
(5)　21世紀の自然エネルギー技術	(株)太陽エネルギー研究所	押田　勇雄	9-1 (1988)	67
(6)　核融合発電の具体像－概念設計から商用発電への道－	日本原子力研究所	田村　早苗	9-1 (1988)	74
(7)　21世紀の民生エネルギー技術	(株)大林組	酒井　寛二	9-1 (1988)	82
(8)　宇宙空間利用のエネルギー技術・システム	(株)東芝	城上　保	9-1 (1988)	88
[特集]NEDO事業				
(1)　NEDO事業の概要	新エネルギー総合開発機構	内村　理史	9-2 (1988)	18
(2)　産業用等ソーラーシステム	新エネルギー総合開発機構	深沢　和則	9-2 (1988)	21
	〃	渡部　信		
(3)　太陽光発電システム	新エネルギー総合開発機構	天野　正喜	9-2 (1988)	26
(4)　瀝青炭液化―250t/日　パイロットプラントの概要	日本コールオイル(株)	北岡　洋治	9-2 (1988)	33
	〃	田辺　正紀		
(5)　地熱水用ダウンホールポンプの開発	(株)荏原製作所	小泉　淳	9-2 (1988)	38
(6)　メタノール改質型発電の要素研究	新エネルギー総合開発機構	村上　英之	9-2 (1988)	47
(7)　全国地熱資源総合調査	新エネルギー総合開発機構	高木慎一郎	9-2 (1988)	54
(8)　スーパーヒートポンプ・エネルギー集積システム	新エネルギー総合開発機構	植田　稔	9-2 (1988)	61
[特集]エネルギー輸送と貯蔵				
(1)　エネルギーの輸送	(財)日本エネルギー経済研究所	藤目　和哉	9-3 (1988)	21

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(2) 一般炭の安定供給（特に中小口ユーザ向け）	(社)シーシーエス振興協会	坂本　徳長	9-3 (1988)	24
(3) 石油製品の輸送と貯蔵	石油連盟	奥村　和光	9-3 (1988)	30
(4) 電力の輸送と貯蔵	関西電力(株)	末定　泰彦	9-3 (1988)	36
(5) 燃料ガスの輸送と貯蔵	大阪ガス(株)	住友　宏	9-3 (1988)	44
(6) 海水を利用するエネルギー貯蔵	名古屋大学	堀井　憲爾	9-3 (1988)	49
	愛知工業大学	宮地　巖		
(7) 宇宙太陽発電システムにおけるﾏｲｸﾛ波エネルギー伝送	京都大学	松本　紘	9-3 (1988)	54
[50号記念特集]エネルギー・資源の現状と将来				
(1) エネルギー需給の予測は当るか？	(財)日本エネルギー経済研究所	佐川　直人	9-4 (1988)	8
(2) 新・省エネルギー	工業技術院	向　準一郎	9-4 (1988)	13
	サンシャイン計画推進本部	神門　正雄		
	ムーンライト計画推進室	塚本　直也		
(3) 世界のエネルギー資源と我が国のエネルギー利用動向	資源エネルギー庁	山田　英司	9-4 (1988)	19
(4) 持続的繁栄への挑戦－重みを増す環境教育－	環境庁	清水　浩	9-4 (1988)	27
(5) 原子力発電の現状と将来	東京大学	秋山　守	9-4 (1988)	29
(6) MHD発電の現状と将来	京都大学	石川　本雄	9-4 (1988)	36
	〃	卯本　重郎		
(7) 核融合の開発	大阪大学	中井　貞雄	9-4 (1988)	42
(8) バイオテクノロジーと一次エネルギー創造	(株)野村総合研究所	村野　文男	9-4 (1988)	48
(9) エネルギー需要端の将来展望	松下住設機器(株)	山田　正	9-4 (1988)	54
(10) エネルギー技術と新材料	東京理科大学	笛木　和雄	9-4 (1988)	59
(11) わが国の陸上バイオマス資源	神戸大学	津川　兵衛	9-4 (1988)	64
[特集]遺伝資源の収集，保存，利用				
(1) 植物遺伝資源の探索・収集とその意義	(財)木原記念横浜生命科学振興財団	田中　正武	9-5 (1988)	31
(2) 植物遺伝資源の収集・保存	筑波大学	菊池　文雄	9-5 (1988)	37
(3) 植物遺伝資源の利用	国立遺伝学研究所	井山　審也	9-5 (1988)	44
(4) 微生物遺伝資源の収集，保存，利用	理化学研究所	中瀬　崇	9-5 (1988)	49
(5) 水産生物遺伝資源の収集，保存，利用	水産庁	鈴木　亮	9-5 (1988)	56
[特集]非金属廃棄物の再資源化				
(1) 廃棄物の再資源化システムと技術開発	京都大学	平岡　正勝	9-6 (1988)	11
(2) 非金属廃棄物の再資源化の現状	(財)クリーン・ジャパン・センター	加藤　博明	9-6 (1988)	18
(3) ガラスびん類のリサイクリング	山村硝子(株)	松本　巖	9-6 (1988)	28
(4) フライアッシュの有効利用について	公害資源研究所	浜田　善久	9-6 (1988)	34
(5) 紙類のリサイクル	早稲田大学	原田　種臣	9-6 (1988)	40
(6) 都市ごみ・汚泥処理の実施例① ―京都市清掃局東清掃工場，京都市下水道局石田処理場（熱相互利用）	京都大学	武田　信生	9-6 (1988)	46
(7) 都市ごみ・汚泥処理の実施例② ―東京都光が丘清掃工場のごみ焼却と余熱利用―	東京都	松本　保幸	9-6 (1988)	52
(8) 都市ごみ・汚泥処理の実施例③ ―東京都分別ごみ処理センターの稼動状況―	東京都	白畑　完二	9-6 (1988)	58
[特集]人工知能(AI)とエネルギー・資源				
(1) AI技術の将来展望	東京工業大学	小林　重信	10-1 (1989)	39
(2) 発電プラント分野におけるAI	東京電力(株)	穐本　能彬	10-1 (1989)	46
	(株)東芝	小暮洋一郎		
(3) 電力系統分野におけるAI	関西電力(株)	湯木　勝	10-1 (1989)	57
	〃	松浦　敏之		
	三菱電機(株)	渡辺　進		
(4) 都市ガス分野におけるAI	大阪ガス(株)	奥田　浩二	10-1 (1989)	64
	〃	宮阪　信次		

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(5)　鉄鋼プラント分野におけるAI	(株)神戸製鋼所	小西　正躬	10-1 (1989)	70
(6)　地下資源探査におけるエキスパートシステム	動力炉・核燃料開発事業団	石堂　昭夫	10-1 (1989)	76
(7)　エキスパートシステム構築ツールとエンジニアリング	横河電機(株)	平田　康郎	10-1 (1989)	83
	〃	山本　重彦		
[特集]核エネルギー利用技術の進歩				
(1)　高速増殖炉技術	動力炉・核燃料開発事業団	高橋　忠男	10-2 (1989)	21
(2)　軽水炉技術の高度化(ABWR)	東京電力(株)	板野　清司	10-2 (1989)	27
(3)　軽水炉技術の高度化(改良型PWR)	関西電力(株)	西村　健	10-2 (1989)	34
(4)　原子力発電所のマン・マシン・システム	三菱重工業(株)	北村　哲男	10-2 (1989)	40
	(株)東芝	早川　博康		
	(株)日立製作所	渡辺　孝雄		
(5)　原子燃料サイクルと燃料再処理	日本原燃サービス(株)	平田　禎也	10-2 (1989)	46
(6)　磁気閉じ込め核融合	東京大学	桂井　誠	10-2 (1989)	52
(7)　慣性核融合	大阪大学	山中　龍彦	10-2 (1989)	58
(8)　炉工学	東京工業大学	井上　晃	10-2 (1989)	65
[特集]エネルギー技術評価法				
(1)　総論―エネルギー技術の評価手法	(財)電力中央研究所	内山　洋司	10-3 (1989)	23
(2)　経済性評価	久留米大学	鈴木　岑二	10-3 (1989)	32
(3)　エネルギー効率の評価	(財)政策科学研究所	伊東慶四郎	10-3 (1989)	37
(4)　GERTによる研究開発評価	(財)未来工学研究所	神前　康次	10-3 (1989)	43
(5)　エネルギーシステムのリスク評価―その方法と課題―	東京大学	近藤　駿介	10-3 (1989)	48
(6)　モデルの役割	日本原子力研究所	安川　茂	10-3 (1989)	55
(7)　エネルギー分析	(財)電力中央研究所	辻　明宏	10-3 (1989)	61
[特集]ニューマテリアルが拓く世界				
(1)　ファインスティール	新日本製鐵(株)	中村　元治	10-4 (1989)	26
(2)　金属複合材料	京都大学	乾　晴行	10-4 (1989)	33
	〃	山口　正治		
(3)　有機化合物超電導材料―その展望―	大阪大学	松林　玄悦	10-4 (1989)	40
(4)　エネルギー変換と触媒	大阪工業技術試験所	春田　正毅	10-4 (1989)	46
(5)　電子材料としてのニューガラス	日本電気硝子(株)	和田　正道	10-4 (1989)	52
(6)　繊維素材の高機能化―分離膜―	旭化成工業(株)	上出　健二	10-4 (1989)	57
	〃	飯嶋　秀樹		
(7)　スーパーエンプラフィルムの開発動向	住友ベークライト(株)	斉藤　正治	10-4 (1989)	65
[特集]都市とエネルギーシステム				
(1)　都市とエネルギー問題	日本環境管理学会	木村　宏	10-5 (1989)	22
(2)　都市と水資源	芝浦工業大学	高橋　裕	10-5 (1989)	29
(3)　都市と電力・ガス	大阪大学	鈴木　胖	10-5 (1989)	36
(4)　都市交通とエネルギー	大阪大学	紙野　桂人	10-5 (1989)	43
	大阪市交通局	伊藤　仁		
(5)　都市廃棄物とエネルギー	京都大学	平岡　正勝	10-5 (1989)	51
(6)　省エネルギー都市建築	(株)大林組	塚越　東男	10-5 (1989)	58
(7)　都市地下の利用	清水建設(株)	根上　義昭	10-5 (1989)	66
[特集]高度エネルギー源としての光				
(1)　自由電子レーザーの開発動向	大阪大学	三間　圀興	10-6 (1989)	32
(2)　トカマクプラズマの自由電子レーザ加熱計画	日本原子力研究所	志甫　諒	10-6 (1989)	39
(3)　レーザー核融合と新型ハイパワー固体レーザーの進歩	大阪大学	中塚　正大	10-6 (1989)	45
	〃	中井　貞雄		
(4)　産業基盤技術としての高度レーザーの利用	(財)レーザー技術総合研究所	今崎　一夫	10-6 (1989)	54
(5)　シンクロトロン放射光による科学技術の発展	大阪府立放射線中央研究所	北川　通治	10-6 (1989)	59

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(6)　産業用小型SOR装置の開発動向	住友電気工業(株)	江村　勝治	10-6 (1989)	65
	〃	高田　博史		
(7)　大型シンクロトロン放射光施設計画	理化学研究所	上坪　宏道	10-6 (1989)	71
[特集]自然エネルギーの現状を探る				
(1)　太陽光発電の問題点と将来展望	東京工業大学	高橋　　清	11-1 (1990)	27
(2)　失速中のソーラーシステムと今面白いパッシブソーラーハウス	早稲田大学	木村　建一	11-1 (1990)	32
(3)　太陽熱エネルギー	九州大学	藤井　　哲	11-1 (1990)	37
(4)　地熱エネルギー	秋田大学	本多　朔郎	11-1 (1990)	40
	〃	高島　　勲		
(5)　海洋熱エネルギー	室蘭工業大学	渡部　富治	11-1 (1990)	45
(6)　波浪発電	船舶技術研究所	北村　文俊	11-1 (1990)	53
(7)　風力発電	機械技術研究所	松宮　　煇	11-1 (1990)	60
[特集]エネルギー価格の動向とその影響				
(1)　1980年代の国際石油価格	(財)日本エネルギー経済研究所	岩﨑　徹也	11-2 (1990)	31
(2)　石炭価格の動向―その歴史的推移と展望―	(財)日本エネルギー経済研究所	千村　　明	11-2 (1990)	38
(3)　新エネルギーコストのモデル化とシミュレーション	東京ガス(株)	早野　拓朗	11-2 (1990)	46
	〃	槌屋　治紀		
(4)　原子力開発と化石燃料価格	(財)電力中央研究所	熊倉　　修	11-2 (1990)	54
(5)　エネルギー価格の変動とエネルギー需要	神戸大学	斉藤　光雄	11-2 (1990)	60
	〃	得津　一郎		
(6)　エネルギー価格の変動と我が国産業の国際競争力	慶応義塾大学	黒田　昌裕	11-2 (1990)	65
	〃	新保　一成		
	〃	河井　啓希		
(7)　世界のLNGプロジェクト―期待される市場拡大―	大阪ガス(株)	中野　文彦	11-2 (1990)	73
[特集]燃焼と環境				
(1)　燃焼と環境	豊橋技術科学大学	大竹　一友	11-3 (1990)	16
(2)　クリーン燃焼技術	群馬大学	定方　正毅	11-3 (1990)	22
(3)　触媒燃焼による窒素酸化物の低減法	九州大学	荒井　弘道	11-3 (1990)	30
	〃	町田　正人		
(4)　省エネルギーと環境改善	中部電力	石原　　幸	11-3 (1990)	35
(5)　内燃機関の環境対策技術	北海道大学	村山　　正	11-3 (1990)	40
(6)　燃焼におけるエアロゾルの生成と防除	豊橋技術科学大学	岡崎　　健	11-3 (1990)	46
(7)　燃焼による環境影響	群馬県衛生公害研究所	関口　恭一	11-3 (1990)	53
[特集]冷熱技術の新展開				
(1)　吸収冷凍機の最新技術―空冷化技術を中心として―	大阪ガス(株)	閑納　真一	11-4 (1990)	27
(2)　極低温技術―磁気冷凍を中心として―	(株)東芝	荻原　宏康	11-4 (1990)	34
	〃	中込　秀樹		
(3)　サーモモジュールの応用と高性能化技術	熱電変換技術研究所	上村　欣一	11-4 (1990)	41
	科学技術庁	西田　勲夫		
(4)　宇宙用ヴィルマイヤ冷凍機	三菱電機(株)	吉村　秀人	11-4 (1990)	48
	電子技術総合研究所	川田　正国		
(5)　大空間の空調・熱環境計画	鹿島建設(株)	戸河里　敏	11-4 (1990)	53
(6)　氷蓄熱利用の空調システムについて	東京電力(株)	大久保　進	11-4 (1990)	59
(7)　生物の急速冷却による保存	大阪大学	高野　光男	11-4 (1990)	65
[特集]廃棄物のリサイクル				
(1)　環境と資源の保全のためのリサイクリング	大阪市立大学	本多　淳裕	11-5 (1990)	25
(2)　建設廃材のリサイクル	大阪市立大学	山田　　優	11-5 (1990)	34
	〃	本多　淳裕		

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(3) 重金属廃棄物のリサイクル	日本電気環境エンジニアリング(株)	辻　俊郎	11-5 (1990)	41
	〃	榊原　直孝		
(4) 一般廃棄物(燃えないごみ)リサイクル	西宮市環境衛生局	森下　淳	11-5 (1990)	48
(5) 有機物の処理と資源化	京都大学	小林　達治	11-5 (1990)	54
(6) 下水汚泥の緑農地への利用	富士見工業(株)	松崎　敏英	11-5 (1990)	62
(7) 都市ごみの緑農地への利用	東京都農業試験場	伊達　昇	11-5 (1990)	66
(8) コンポスティングをめぐる「環境」と「資源」	公害防止事業団	藤田　成吉	11-5 (1990)	69
	フジ微生物研究所	藤井　義則		
[特集]インテリジェントビル(IB)				
(1) インテリジェントビルとファシリティマネジメント	名古屋大学	月尾　嘉男	11-6 (1990)	30
(2) FMと関連する諸問題	建設省	森　正志	11-6 (1990)	34
(3) インテリジェントビルの動向と都市へのインパクト	(株)三菱総合研究所	平本　一雄	11-6 (1990)	40
(4) エネルギーとIB	関西電力(株)	瀬島　康雄	11-6 (1990)	46
(5) 情報化社会におけるインテリジェントビル	日本電気(株)	小野田勝洋	11-6 (1990)	56
(6) 「全環境都市」を目指した第一歩—アークヒルズ—	(株)森ビル設計研究所	大森　一郎	11-6 (1990)	62
(7) IBの空調現状と将来	(株)竹中工務店	井上　良則	11-6 (1990)	68
	〃	杉浦　修史		
[特集]地球環境の変容と保全				
(1) フロンガス等によるオゾン層破壊と国際的取り組み	国立環境研究所	秋元　肇	12-1 (1991)	39
(2) 地球の温暖化傾向とCO_2排出低減策	電子技術総合研究所	恩田　和夫	12-1 (1991)	48
(3) 酸性雨の発生機構とその防止策	九州大学	植田　洋匡	12-1 (1991)	56
(4) 海洋汚染の現状とその防止策	東海大学	杉森　康宏	12-1 (1991)	62
(5) 地球の砂漠化傾向と緑化の課題	京都大学	光田　寧	12-1 (1991)	72
(6) 地球環境保全に向けての様々な主体による取組	環境庁	竹内　恒夫	12-1 (1991)	79
(7) 地球環境産業技術研究機構の計画と役割について	(財)地球環境産業技術研究機構	山口　務	12-1 (1991)	85
[特集]輸送とエネルギー				
(1) 輸送手段とエネルギー	大阪大学	赤木　新介	12-2 (1991)	19
(2) 船舶とエネルギー技術	三菱重工業(株)	糸山　直之	12-2 (1991)	26
	〃	友井　武人		
	〃	湯浅　和昭		
(3) 自動車とエネルギー技術	トヨタ自動車(株)	伊藤　亮三	12-2 (1991)	34
(4) 鉄道のエネルギー技術	(財)鉄道総合研究所	野末　尚次	12-2 (1991)	40
(5) 新交通システム(中量軌道輸送システム)その経済性と省エネルギー対策				
	(株)新潟鉄工所	矢崎　芳直	12-2 (1991)	46
(6) 航空機とエネルギー技術	川崎重工業(株)	平岡　康一	12-2 (1991)	53
(7) ビル内移動システムとエネルギー経済	三菱電機(株)	渡辺　英紀	12-2 (1991)	60
[特集]多様なエネルギー資源の利用における新展開				
(1) 石炭の複合的変換プロセスの開発	京都大学	橋本　健治	12-3 (1991)	17
(2) 石炭変換用の高性能触媒の開発	埼玉工業大学	冨永　博夫	12-3 (1991)	24
(3) マイクロ波によるリグノセルロースの酵素糖化促進	近畿大学	越島　哲夫	12-3 (1991)	30
(4) リグノセルローズ直接発酵菌の育種	熊本工業大学	岡田　弘輔	12-3 (1991)	37
(5) 太陽光エネルギーの資源化	九州大学	松尾　拓	12-3 (1991)	44
(6) 吸着法による海水からのウランの採取	東京大学	古崎新太郎	12-3 (1991)	50
	〃	斎藤　恭一		
(7) 能動的地熱抽出システムの開発	東北大学	阿部　博之	12-3 (1991)	55
[特集]エネルギーシステムの計装制御				
(1) エネルギーシステム計装制御技術の展望	京都大学	吉川　榮和	12-4 (1991)	19
(2) 火力発電プラントの計装制御	九州電力(株)	片山　修造	12-4 (1991)	26

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(3) 電力系統の監視制御	中部電力(株)	高木　久夫	12-4 (1991)	33
(4) 核燃料再処理プラントにおける計装システム	動力炉・核燃料開発事業団	福有　義裕	12-4 (1991)	41
	〃	立原　富夫		
(5) 都市ガス供給管理システム	東京ガス(株)	太田　末吉	12-4 (1991)	47
(6) コージェネレーション設備の計装制御	大阪ガス(株)	清水　武	12-4 (1991)	54
(7) 燃料電池プラントの計装制御	富士電機(株)	古澤　明	12-4 (1991)	61
[特集]宇宙空間利用				
(1) 宇宙産業とエネルギー	三菱重工業(株)	岸本　健治	12-5 (1991)	23
(2) 商業衛星の現状と今後の計画	宇宙開発事業団	三浦　秀一	12-5 (1991)	26
(3) ロケットの現状	宇宙開発事業団	宮沢　政文	12-5 (1991)	26
(4) 微小重力化の材料科学	(株)三菱総合研究所	石川　正道	12-5 (1991)	37
(5) 月面基地，火星基地構想とそのエネルギー，物質的な側面	(株)大林組	石川　洋二	12-5 (1991)	44
(6) 宇宙用太陽電池の現状と今後の展開	シャープ(株)	鈴木　皓夫	12-5 (1991)	52
	〃	佐賀　達男		
	〃	久松　正		
[特集(1)]森林資源と環境				
(1) 森林資源の現状と動態	京都大学	有木　純善	12-6 (1991)	7
(2) 熱帯の森林	京都大学	山田　勇	12-6 (1991)	13
(3) 森林と酸性雨－スギ林の衰退を中心として－	農林水産省林野庁	堀田　庸	12-6 (1991)	18
(4) 森林資源の再造成	大阪市立大学	内村　悦三	12-6 (1991)	24
[特集(2)]建築における省エネルギー				
(1) 住宅・建築における省エネルギー対策	建設省	野津　敏紀	12-6 (1991)	30
(2) 空調システム，蓄熱システム計画と省エネルギー効果	(株)日建設計	加藤　晃	12-6 (1991)	37
(3) ビルディングオートメーションと省エネルギー	山武ハネウェル(株)	成瀬　彰彦	12-6 (1991)	42
(4) 省エネルギービルの実例―伊藤忠横浜港北ビル―	(株)日建設計	松縄　堅	12-6 (1991)	50
	〃	伊香賀俊治		
(5) 日本アイ・ビー・エム大和研究所における省エネルギーシステムの概要	(株)竹中工務店	内田　孝	12-6 (1991)	55
(6) 省エネルギービルの実例―東京生命芝ビル―	清水建設(株)	秋田　一彦	12-6 (1991)	62
[特集]核燃料サイクル技術の開発動向と将来				
(1) 総論	京都大学	東　邦夫	13-1 (1992)	23
(2) 原子燃料の設計・製造①ウラン燃料の設計・製造	原子燃料工業(株)	森　一麻	13-1 (1992)	25
(3) 原子燃料の設計・製造②ﾌﾟﾙﾄﾆｳﾑ燃料の設計・製造	動力炉・核燃料開発事業団	樫原英千世	13-1 (1992)	30
(4) 使用済燃料の再処理―軽水炉燃料の再処理―	日本原燃サービス(株)	松岡　伸吾	13-1 (1992)	35
(5) 使用済燃料の再処理―高速炉燃料の再処理―	動力炉・核燃料開発事業団	林　正太郎	13-1 (1992)	42
(6) ウラン濃縮―遠心分離法―	日本原燃産業(株)	玉井　浄	13-1 (1992)	48
(7) ウラン濃縮技術―レーザー法―	理化学研究所	武内　一夫	13-1 (1992)	54
	〃	岡田　芳樹		
(8) 化学法ウラン濃縮技術と濃縮工場	旭化成工業(株)	武田　邦彦	13-1 (1992)	60
(9) 高レベル放射性廃液のガラス固化体への処理技術	動力炉・核燃料開発事業団	坪谷　隆夫	13-1 (1992)	66
	〃	虎田真一郎		
(10) 原子炉の解体処理技術	原子力施設デコミッショニング研究協会	小松　純治	13-1 (1992)	74
(11) 高レベル廃棄物の地層処分	動力炉・核燃料開発事業団	増田　純男	13-1 (1992)	80
	〃	石黒　勝彦		
[特集]未利用エネルギー				
(1) 未利用エネルギー活用の背景と展望	東京大学	平田　賢	13-2 (1992)	19
(2) 未利用エネルギーの種類と特質，賦存量とその省エネルギー効果	大阪大学	朴　炳植	13-2 (1992)	23
(3) 未利用エネルギーの活用技術とその課題	東京農工大学	柏木　孝夫	13-2 (1992)	31
(4) 下水汚泥焼却処理施設の廃熱利用システム	大阪ガス(株)	中村　秀行	13-2 (1992)	38

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(5)　都市ごみ焼却廃熱の利用について	(株)クボタ	井上　芳郎	13-2 (1992)	47
(6)　都市排熱(地下鉄等)の利用システム	三菱重工業(株)	角谷　修二	13-2 (1992)	55
(7)　海水，河川水の未利用エネルギー活用による地域冷暖房	関西電力(株)	草　　隆	13-2 (1992)	62
[特集]燃料電池				
(1)　燃料電池技術の開発動向	大阪工業技術試験所	宮崎　義憲	13-3 (1992)	14
	〃	奥山　博信		
(2)　リン酸型燃料電池の商用化	リン酸型燃料電池発電技術研究組合	小川　善朗	13-3 (1992)	21
(3)　溶融炭酸塩型燃料電池の技術開発動向	MCFC研究組合	堀内　長之	13-3 (1992)	29
	〃	寺田　誠二		
(4)　固体電解質型燃料電池の開発状況	化学技術研究所	土器屋正之	13-3 (1992)	36
	電子技術総合研究所	恩田　和夫		
(5)　ナフサ燃料電池の開発状況	(財)石油産業活性化センター	吉岡　一誠	13-3 (1992)	44
(6)　常温型燃料電池の開発状況	大阪工業技術試験所	竹中　啓恭	13-3 (1992)	50
(7)　高温固体電解質型燃料電池に関する基礎研究	京都大学	竹原善一郎	13-3 (1992)	56
[特集]パルスパワー(その制御と関連現象)				
(1)　総論	東京大学	上野　　勲	13-4 (1992)	25
	京都大学	林　　宗明		
(2)　過渡的電力制御	(財)電力中央研究所	稲葉　次紀	13-4 (1992)	28
(3)　パルスパワー電源の現状と動向	電子技術総合研究所	竹田　昭平	13-4 (1992)	34
	(株)指月電機製作所	井上　訓一		
(4)　爆薬:高密度化学エネルギー	化学技術研究所	藤原　修三	13-4 (1992)	40
(5)　レーザーにおけるパルスパワー技術	電子技術総合研究所	大和田野芳郎	13-4 (1992)	47
(6)　自由電子レーザー	電子技術総合研究所	山田家和勝	13-4 (1992)	51
(7)　高エネルギークラスター	電子技術総合研究所	岩田　康嗣	13-4 (1992)	57
[特集]砂漠緑化システム				
(1)　砂漠の現状と動向－自然環境から－	東京大学	大森　博雄	13-5 (1992)	12
(2)　沙漠環境とその開発の社会経済的諸問題	日本沙漠学会・明治大学	小堀　　巌	13-5 (1992)	20
(3)　砂漠化と農業	京都大学	久馬　一剛	13-5 (1992)	26
(4)　水資源の利用	鳥取大学	矢野　友久	13-5 (1992)	32
(5)　乾燥地の緑化システム	京都府立大学	大手　桂二	13-5 (1992)	38
(6)　砂漠緑化のケーススタディ① シェルケア州カッターラ地区総合農業開発－エジプト－	(株)クボタ	平賀　義彦	13-5 (1992)	45
(7)　砂漠緑化のケーススタディ② 中国内蒙古自治区毛烏素砂漠の緑化に関する諸問題	京都大学	小橋　澄治	13-5 (1992)	50
(8)　砂漠緑化のケーススタディ③ メキシコ沙漠地域農業開発計画	鳥取大学	河野　　洋	13-5 (1992)	54
(9)　砂漠緑化都市	清水建設(株)	前垣内正記	13-5 (1992)	60
[特集]エネルギーの長距離輸送				
(1)　総論	東京農工大学	堀米　　孝	13-6 (1992)	23
(2)　電気の形態での輸送	東京電力(株)	一原　嘉昭	13-6 (1992)	30
(3)　電磁波形態によるエネルギーの長距離輸送	京都大学	松本　　紘	13-6 (1992)	38
(4)　液体水素の形態での輸送	テイサン(株)	花田　卓爾	13-6 (1992)	46
(5)　金属水素化物の形態での輸送	化学技術研究所	秋葉　悦男	13-6 (1992)	54
(6)　有機水素化物の形態での輸送	大阪工業技術試験所	若林　　昇	13-6 (1992)	61
(7)　水素ガスの形態での輸送	東京ガス(株)	津留　義通	13-6 (1992)	69
[特集]分散型都市エネルギーシステム				
(1)　都市のエネルギー需要と供給システム	大阪大学	辻　毅一郎	14-2 (1993)	20
(2)　都市におけるエネルギー代替の評価	京都大学	手塚　哲央	14-2 (1993)	27
	〃	喜多　　一		
	〃	西川　禕一		

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(3)　都市型コージェネレーションの最適計画	大阪府立大学	伊東　弘一	14-2 (1993)	34
(4)　リン酸型燃料電池	富士電機(株)	山川　嘉之	14-2 (1993)	40
(5)　ガスタービン・ガスエンジン	東京ガス(株)	山岸　一夫	14-2 (1993)	46
(6)　電源構成における分散型システム	東京理科大学	森　俊介	14-2 (1993)	52
(7)　都市の電力供給システムと電力貯蔵設備	東北大学	豊田　淳一	14-2 (1993)	59
[特集]スーパーエネルギーテクノロジー				
(1)　亜光速ロケットの可能性	東京大学	荒川　義博	14-3 (1993)	21
(2)　二酸化炭素を酸化剤とする燃焼―火星大気用推進機関の可能性―	東京都立大学	湯浅　三郎	14-3 (1993)	28
(3)　常温核融合－過剰熱・核反応生成物と反応モデル－	大阪大学	高橋　亮人	14-3 (1993)	38
(4)　高温酸化物超伝導体の将来	大阪大学	河合　七雄	14-3 (1993)	43
(5)　筋肉運動とエネルギー	千葉大学	丸山　工作	14-3 (1993)	52
(6)　マリンバイオマスとクリーンエネルギー生産	マイアミ大学	三井　旭	14-3 (1993)	58
(7)　高温熱電変換材料の新展開	名古屋大学	河本　邦仁	14-3 (1993)	67
[特集]自然災害とエネルギー				
(1)　自然災害とエネルギー:総論	京都大学	山元龍三郎	14-4 (1993)	26
(2)　地震とそのエネルギー	早稲田大学	笠原　慶一	14-4 (1993)	30
(3)　津波	元東京大学	羽鳥徳太郎	14-4 (1993)	36
(4)　火山噴火のエネルギーと災害	東京農業大学	下鶴　大輔	14-4 (1993)	42
(5)　土石流災害とエネルギー	(財)砂防・地すべり技術センター	鈴木　宏	14-4 (1993)	50
(6)　洪水の諸相とエネルギー	京都大学	藤田裕一郎	14-4 (1993)	58
(7)　台風による災害	気象大学	村松　照男	14-4 (1993)	65
[特集]太陽電池実用化の取り組み				
(1)　総論―太陽電池の現状と今後の展望―　(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構		中川　興史	14-5 (1993)	12
(2)　セル高効率化技術の開発動向				
①結晶系シリコンセル	東京農工大学	齋藤　忠	14-5 (1993)	19
②薄膜太陽電池の開発動向	東京工業大学	小長井　誠	14-5 (1993)	24
③化合物半導体系セル	NTT	山口　真史	14-5 (1993)	30
(3)　太陽電池用低コストシリコン基板製造技術の開発動向				
①太陽電池用シリコン製造技術の開発動向	川崎製鉄(株)	荒谷　復夫	14-5 (1993)	37
②太陽電池のための結晶化法と電磁鋳造法	住友シチックス(株)	金子恭二郎	14-5 (1993)	43
(4)　太陽光発電システムの系統連系制御技術	(財)電力中央研究所	滝川　清	14-5 (1993)	49
(5)　太陽光発電普及促進施策「新エネルギー発電フィールドテスト事業」				
(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構		向山　光幸	14-5 (1993)	57
[特集]デマンドサイド・マネジメント				
(1)　デマンドサイド・マネジメントの展望と課題	東京大学	浅野　浩志	14-6 (1993)	12
(2)　米国におけるデマンドサイド・マネジメントの動向	(株)三菱総合研究所	諸住　哲	14-6 (1993)	17
(3)　日本型デマンドサイド・マネジメントの模索	名古屋学院大学	木船　久雄	14-6 (1993)	23
(4)　負荷遮断料金によるデマンドサイド・マネジメント	(財)電力中央研究所	松川　勇	14-6 (1993)	30
(5)　電力系統から見たデマンドサイド・マネジメント	横浜国立大学	大山　力	14-6 (1993)	36
(6)　負荷集中制御システム実証試験	九州電力(株)	柿本　仁司	14-6 (1993)	41
(7)　都市ガス冷房による電力ピークカット	東京ガス(株)	渡辺　尚生	14-6 (1993)	50
(8)　デマンドサイド・マネジメント実現のための最新技術	三菱電機(株)	鈴木　浩	14-6 (1993)	54
	〃	伊与田　功		
[特集]資源リサイクル問題				
(1)　リサイクル社会に向けて	大阪大学	鈴木　胖	15-1 (1994)	39
(2)　リサイクル問題の経緯と今後の方向	(財)クリーン・ジャパン・センター	本多　淳裕	15-1 (1994)	49
(3)　廃棄物処理・リサイクルを考慮した製品アセスメントについて	早稲田大学	永田　勝也	15-1 (1994)	56
(4)　建設廃棄物(建設副産物)とリサイクル	武蔵工業大学	大井　昭夫	15-1 (1994)	64
(5)　プラスチック製品とリサイクル	住友化学工業(株)	原田　紘一	15-1 (1994)	71

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(6)　家電製品とリサイクル	(株)日立製作所	福島　哲郎	15-1 (1994)	79
(7)　自動車とリサイクリング	日産自動車(株)	羽鳥　之彬	15-1 (1994)	86
[特集]石炭利用研究の現状と展望				
(1)　米国における石炭利用の現状と展望	ペンシルバニア大学	Chunshan Song	15-2 (1994)	20
		Harold H. Schobert		
		Alan W. Scaroni		
翻訳者	大阪大学	野村　正勝		
	〃	貴傳名　甲		
	〃	小久保　研		
(2)　1983～1993年におけるオーストラリアの石炭産業の概観	ペンシルバニア大学	David E. Mainwarning	15-2 (1994)	32
翻訳者	大阪大学	村田　聡		
	〃	野村　正勝		
(3)　カナダにおける石炭利用の現状と展望	ペンシルバニア大学	W. Pawlak	15-2 (1994)	35
	〃	J. Kramer		
	〃	K. Szymocha		
	〃	B. Ignasiak		
翻訳者	大阪大学	川上　英治		
	〃	中川　真一		
	〃	野村　正勝		
(4)　中国での石炭利用技術の現状と展望	大連理工大学	郭　樹才	15-2 (1994)	39
翻訳者		蘇　燕		
(5)　日本の石炭利用技術の開発の現状	(財)石炭利用総合センター	志鷹　義明	15-2 (1994)	44
(6)　エネルギーとしての石炭資源の再評価―持続可能なエネルギーシステムへの転換に向けて―	大阪大学	朴　炳植	15-2 (1994)	48
(7)　石炭構造研究最前線	大阪大学	野村　正勝	15-2 (1994)	55
	東北大学	飯野　雅		
	北海道大学	真田　雄三		
	〃	熊谷　治夫		
(8)　石炭利用と環境調和	東北大学	張　戦国	15-2 (1994)	63
	〃	富田　彰		
[特集]天然ガスの新展開				
(1)　天然ガス導入に関する内外の動向	(財)日本エネルギー経済研究所	森田　浩仁	15-3 (1994)	13
(2)　天然ガス資源の探査技術の現状とその地球物理学アクティヴィティ	(財)石油開発情報センター	岡野　正	15-3 (1994)	19
	京都大学	菅野　強		
(3)　天然ガス開発と生産の技術動向	帝国石油(株)	田村嘉三郎	15-3 (1994)	28
	〃	井上　望		
(4)　天然ガスの精製・液化・気化に関する技術的動向	三菱商事(株)	南　浩一	15-3 (1994)	35
	京都大学	若松　貴英		
(5)　ガスハイドレート	地質調査所	奥田　義久	15-3 (1994)	40
(6)　コールベッドメタン	(財)エネルギー総合工学研究所	松沢　忠弘	15-3 (1994)	47
(7)　液体燃料転換技術開発－天然ガスからメタノールへ－	(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構	武澤　義高	15-3 (1994)	53
[特集]文明の発達と動力エネルギー				
(1)　文明と動力エネルギーの私的総論	東京工業大学	一色　尚次	15-4 (1994)	25
(2)　動力としての人力と蓄力	元 (財)石炭技術研究所	野原　博	15-4 (1994)	31
(3)　風力	足利工業大学	牛山　泉	15-4 (1994)	38
(4)　水力利用の昔と今	(株)東芝	田中　宏	15-4 (1994)	45
(5)　蒸気動力	神戸大学	赤川　浩爾	15-4 (1994)	50

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(6)　内燃機関	金沢工業大学	佐藤　豪	15-4 (1994)	57
(7)　核エネルギー	東京大学	鈴木　篤之	15-4 (1994)	63
[特集]クリーン自動車をめざして				
(1)　総説:クリーン自動車をめざして	早稲田大学	大聖　泰弘	15-5 (1994)	26
(2)　ガソリン車のエミッション低減技術の現状と将来	トヨタ自動車(株)	小西　正己	15-5 (1994)	31
(3)　ディーゼルエンジン車はどこまでクリーンか	北海道大学	村山　正	15-5 (1994)	37
(4)　電気自動車の現状と将来	東京電力(株)	森下　眞夫	15-5 (1994)	44
(5)　ハイブリッド自動車の現状と将来	日野自動車工業(株)	鈴木　孝	15-5 (1994)	53
(6)　天然ガス自動車の現状と将来	大阪ガス(株)	井上　英郎	15-5 (1994)	62
(7)　メタノール自動車の現状と将来	(財)日本自動車研究所	金　栄吉	15-5 (1994)	68
(8)　水素自動車の現状と将来	機械技術研究所	濱　純	15-5 (1994)	77
[特集]アジアのエネルギー情勢と環境問題				
(1)　アジアにおける持続的な成長とは	(財)電力中央研究所	新田　義孝	15-6 (1994)	22
(2)　アジアのエネルギー事情	(財)日本エネルギー経済研究所	小川　芳樹	15-6 (1994)	28
(3)　深刻化するアジアの環境問題－東アジアの大気汚染と酸性雨－	埼玉大学	坂本　和彦	15-6 (1994)	38
(4)　中国の経済発展と環境問題	慶応義塾大学	吉岡　完治	15-6 (1994)	45
	〃	早見　均		
	東海大学	池田　明由		
(5)　中国の環境政策に関する一考察	聖学院大学	秋吉　祐子	15-6 (1994)	52
(6)　途上国への環境保全技術移転のあり方	(株)石井鐵工所	松村　正雄	15-6 (1994)	59
[特集]未来展望(随想)				
(1)　新しき明日が永遠に来るように―農業の持つ力を信じて―	東北農業試験所	伊澤　敏彦	16-1 (1995)	38
(2)　これからのエネルギー	東京電力(株)	伊藤　文夫	16-1 (1995)	40
(3)　バイオマス	資源環境技術総合研究所	小木　知子	16-1 (1995)	42
(4)　エネルギー・資源学会事情―15年が過ぎて，今―	エネルギー・資源学会	川上佳寿子	16-1 (1995)	45
(5)　食料と土壌	京都大学	久馬　一剛	16-1 (1995)	47
(6)　未来都市「エコ・エネルギー都市」を目指して	物質工学工業技術研究所	佐藤　眞士	16-1 (1995)	49
(7)　今後のエネルギー・資源政策の課題について	カリフォルニア大学	榊原磨理子	16-1 (1995)	52
(8)　建築におけるエネルギー消費の実態と未来	三重大学	相良　和伸	16-1 (1995)	54
(9)　エネルギー資源と地球環境	地球化学研究協会	猿橋　勝子	16-1 (1995)	57
(10)　政策決定ゲームに参加して―特に環境・資源問題を中心として―	神戸大学	庄司　浩一	16-1 (1995)	59
(11)　通産省のエネルギー開発への取り組み―太陽光発電を中心に―	ニューサンシャイン計画推進本部	杉上　孝二	16-1 (1995)	61
(12)　21世紀における石炭の高効率利用を目指して	ペンシルバニア州立大学	宋　春山	16-1 (1995)	63
(13)　大気環境について考える	学位授与機構	田中　郁三	16-1 (1995)	65
(14)　今，私たちに出来る事―エネルギー確保の為に―	(財)原子力発電技術機構	手塚　広子	16-1 (1995)	67
(15)　自然が好きでない人間の自然保護論	東京大学	中西　準子	16-1 (1995)	69
(16)　ｴﾈﾙｷﾞ文明開化の思い出と今後のｴﾈﾙｷﾞ材料開発	(株)東芝	中橋　昌子	16-1 (1995)	71
(17)　不確実性下の選択問題へ向けて	(財)電力中央研究所	長野　浩司	16-1 (1995)	73
(18)　水力エネルギーへの期待	東北大学	西澤　潤一	16-1 (1995)	75
(19)　深海底鉱物資源の開発時期はいつか	京都大学	八田　夏夫	16-1 (1995)	77
(20)　果たせるか？クリーンエネルギー革命	大阪大学	浜川　圭弘	16-1 (1995)	79
(21)　ミクロな視点から見たCO_2の海洋処理	東京工業大学	平井秀一郎	16-1 (1995)	81
(22)　建築における省エネルギーの一つの方向	(株)日建設計	牧　英二	16-1 (1995)	84
(23)　エネルギーと環境問題で思うこと	三菱石油(株)	松枝　正門	16-1 (1995)	86
(24)　地熱資源の使いみち	地質調査所	水垣　桂子	16-1 (1995)	88
(25)　エネルギー・燃焼・大気汚染に関する環太平洋協議会(PARCON)	大阪大学	水谷　幸夫	16-1 (1995)	90
(26)　地球への太陽入射光量の制御	三菱電機(株)	光田　憲朗	16-1 (1995)	92

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(27) 一次地金の再生を目指す省エネルギー・環境調和型アルミリサイクル	(財)大阪科学技術センター	村上陽太郎	16-1 (1995)	94
(28) エコテクノロジーに必要なもの	資源環境技術総合研究所	四元　弘毅	16-1 (1995)	96
(29) 自然エネルギーの利用	慶應義塾大学	米沢富美子	16-1 (1995)	98
(30) 電力機器の超電導化	(株)東芝	米田えり子	16-1 (1995)	100
(31) 地球環境問題―自然科学と政治の融合	三菱化学生命科学研究所	米本　昌平	16-1 (1995)	103
[特集]水熱反応による有機廃棄物の資源化処理				
(1) 水熱反応を利用した有機廃棄物の資源化処理―その処置づけと特徴―	東北大学	榎本　兵治	16-2 (1995)	23
(2) 塩化ビニリデン―塩化ビニル共重合体の液相酸化法によるケミカルリサイクリング	東北大学	吉岡　敏明	16-2 (1995)	27
	ミノルタ(株)	古川　慶一		
	東北大学	佐藤　次雄		
	〃	奥脇　昭嗣		
(3) 加硫ゴム廃棄物の資源化	西川ゴム工業(株)	天王　俊成	16-2 (1995)	32
(4) バイオマスの廃棄物の資源化	東北大学	新井　邦夫	16-2 (1995)	37
(5) 下水汚泥の資源化処理	資源環境技術総合研究所	横山　伸也	16-2 (1995)	43
	オルガノ(株)	鈴木　　明		
(6) 有害廃棄物の水熱分解処理	高知大学	山崎　仲道	16-2 (1995)	49
[特集]環境監査				
(1) 環境監査の理念と目的	環境資源科学研究所	池田　　豊	16-3 (1995)	26
(2) 環境管理・監査の国際標準化	(財)日本規格協会	寺田　　博	16-3 (1995)	31
(3) 欧米における環境監査の動向	豊橋技術科学大学	大竹　一友	16-3 (1995)	38
(4) 環境管理・監査と日本企業の対応	(株)日本環境認証機構	福島　哲郎	16-3 (1995)	43
(5) ライフサイクル分析	東京大学	石谷　　久	16-3 (1995)	50
(6) 環境配慮型経営を目指して	シャープ(株)	佐藤　勝年	16-3 (1995)	56
[特集]熱電変換－エネルギー基幹技術への脱皮を目指して－				
(1) 熱電材料の新展開	電子技術総合研究所	太田　敏隆	16-4 (1995)	35
(2) 熱電発電技術の何処が問題か	東京工業大学	越後　亮三	16-4 (1995)	42
(3) 熱電冷却システムのブレークスルー	北海道大学	小川　吉彦	16-4 (1995)	48
(4) 傾斜構造形成による高効率熱電エネルギー変換材料	金属材料技術研究所	西田　勲夫	16-4 (1995)	54
(5) 磁場中の熱電発電－核融合研究における熱電変換－	核融合科学研究所	山口作太郎	16-4 (1995)	58
(6) 熱電モジュール製造技術の革新とコスト低減	コマツエレクトロニクス(株)	木林　靖忠	16-4 (1995)	64
(7) 熱電変換応用技術の未来像	湘南工科大学	梶川　武信	16-4 (1995)	68
[特集]フロン対策				
(1) 総論-各種規制，代替フロンの種類，実用化のプロセス-	ダイキン工業(株)	泉谷　直昭	16-5 (1995)	12
(2) 代替フロンの用途別実用化状況				
a)カーエアコンにおけるフロン規制対策	日本電装(株)	藤原　健一	16-5 (1995)	20
b)家庭用電気冷蔵庫	松下冷機(株)	瀧　　勝彦	16-5 (1995)	25
c)家庭用・業務用空調機の代替フロン技術の開発状況	(株)東芝	佐野　哲夫	16-5 (1995)	31
(3) 代替冷媒用冷凍機油の開発について	出光興産(株)	高木　　実	16-5 (1995)	37
(4) ヘテロ原子を含むフッ素系のフロン代替物の開発	物質工学工業技術研究所	関屋　　章	16-5 (1995)	45
	(財)地球環境産業技術研究機構	三崎　　進		
[特集]エネルギーと社会的リスク				
(1) エネルギーシステムのリスク評価	(財)電力中央研究所	谷口　武俊	16-6 (1995)	16
(2) 地球温暖化問題における損害コスト評価および費用便益分析について	(財)電力中央研究所	杉山　大志	16-6 (1995)	23
	〃	長野　浩司		
(3) アジアにおける環境リスクマネージメント	東京大学	明日香壽川	16-6 (1995)	30

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(4)　自然災害と人工災害のリスク比較	(財)電力中央研究所	内山　洋司	16-6 (1995)	36
	(財)政策科学研究所	林部　尚		
(5)　事故リスクと安全評価	(株)三菱総合研究所	高橋　英明	16-6 (1995)	41
(6)　リスク・コミュニケーション:リスク研究への社会科学的アプローチ	慶應義塾大学	浅見　政江	16-6 (1995)	47
[特集]深海底資源				
(1)　国連海洋法条約と深海底鉱物資源開発	資源エネルギー庁	菊池　英弘	17-1 (1996)	35
(2)　深海底鉱物資源の地質学的鉱物学的特徴	地質調査所	臼井　朗	17-1 (1996)	41
(3)　マンガン団塊揚鉱システムの流体力学的検討と問題点	京都大学	八田　夏夫	17-1 (1996)	50
(4)　深海鉱物資源の採鉱にかかる環境影響調査	金属鉱業事業団	森脇　久光	17-1 (1996)	57
(5)　マンガン団塊の精錬技術:海外の研究とわが国の現状	住友金属鉱山(株)	甲賀　哲義	17-1 (1996)	64
(6)　資源社会論から見た深海底鉱物資源	京都大学	西山　孝	17-1 (1996)	73
[特集]資源リサイクルの現状と展望				
(1)　総論:資源リサイクルの現状と展望	(財)クリーン・ジャパン・センター	元田　欽也	17-2 (1996)	13
(2)　飲料容器のリサイクル	東京水産大学	石川　雅紀	17-2 (1996)	19
(3)　プラスチックのリサイクル	EEP研究所	冨川　昌美	17-2 (1996)	25
(4)　金属材料のリサイクル	金属材料技術研究所	原田　幸明	17-2 (1996)	23
(5)　廃棄物のエネルギー・リサイクル	(財)政策科学研究所	伊東慶四郎	17-2 (1996)	41
(6)　持続可能リサイクル設計	金属材料技術研究所	長井　寿	17-2 (1996)	47
(7)　リサイクル社会形成のための制度	(株)ダイヤリサーチ	早崎　胖	17-2 (1996)	53
[特集]エネルギー産業と規制緩和				
(1)　総論:経済的規制と社会的規制	学習院大学	南部　鶴彦	17-3 (1996)	19
(2)　電気事業の規制緩和－国際比較	(財)電力中央研究所	矢島　正之	17-3 (1996)	23
(3)　電気料金と規制緩和	武蔵大学	松川　勇	17-3 (1996)	29
(4)　石油産業の規制緩和とその影響	(株)大和総研	伊藤　敏憲	17-3 (1996)	35
(5)　ガス産業の規制緩和に関する理論面の分析と課題	武蔵大学	横倉　尚	17-3 (1996)	41
(6)　鉄鋼業のエネルギーと規制緩和	新日本製鐵(株)	村田　稔	17-3 (1996)	47
(7)　LPガス産業と規制緩和	日本LPガス協会	吉田　稔	17-3 (1996)	54
[特集]産業別エネルギーフロー				
(1)　総論	専修大学	齋藤　雄志	17-4 (1996)	19
(2)　エネルギー供給事業				
①電力供給のエネルギーフロー	(財)電力中央研究所	浅野　浩志	17-4 (1996)	25
②都市ガスエネルギーフロー	(社)日本ガス協会	鈴木　耕三	17-4 (1996)	31
③わが国石油産業のエネルギーフロー	(財)日本エネルギー経済研究所	小川　芳樹	17-4 (1996)	37
(3)　鉄鋼業におけるエネルギーフロー	(財)日本エネルギー経済研究所	坂田　直起	17-4 (1996)	44
(4)　紙パルプ産業のエネルギーフロー	日本製紙連合会	高橋　確	17-4 (1996)	50
(5)　セメントにおけるエネルギーフロー	三菱マテリアル(株)	増永　元彦	17-4 (1996)	55
(6)　運輸におけるエネルギーフロー	(財)日本エネルギー経済研究所	佐川　直人	17-4 (1996)	59
[特集]建築とライフスタイル				
(1)　総論:建築とライフスタイル	京都大学	中村　泰人	17-5 (1996)	14
(2)　建物におけるエネルギーの有効利用	北海道大学	落藤　澄	17-5 (1996)	18
(3)　ビルの蓄熱式空調システム	三重大学	相良　和伸	17-5 (1996)	24
(4)　住宅における電力負荷平準化	熊本大学	石原　修	17-5 (1996)	30
(5)　建築におけるソーラーシステム標準化	工学院大学	中島　康孝	17-5 (1996)	35
(6)　環境負荷軽減の建築	(株)日建設計	伊香賀俊治	17-5 (1996)	43
(7)　住宅のエネルギー消費―暖房用を中心として―	東北大学	吉野　博	17-5 (1996)	48
	〃	長谷川兼一		
(8)　エネルギー消費とヒューマンファクター―住宅における居住者の意識・住まい方―	京都府立大学	松原　斎樹	17-5 (1996)	53
(9)　実験集合住宅NEXT21の居住実験評価　その1 設備研究サイドから	大阪ガス(株)	志波　徹	17-5 (1996)	58

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(10) 実験集合住宅NEXT21の居住実験評価　その2 生活研究サイドから	大阪ガス(株)	加茂みどり	17-5 (1996)	63
[特集]ライフサイクルアセスメント(LCA)－環境調和型社会の新手法－				
(1) LCA手法	(財)電力中央研究所	内山　洋司	17-6 (1996)	19
(2) LCA用データとソフトウエア	資源環境技術総合研究所	稲葉　敦	17-6 (1996)	25
(3) ライフサイクルアセスメント国際標準化の動向	(社)産業環境管理協会	中山　哲男	17-6 (1996)	32
(4) 各論				
①家電製品のリサイクルへのLCAの適用―冷蔵庫を例としたケーススタディ―	関西大学	和田　安彦	17-6 (1996)	38
②LCAに取り組むための課題と方向性―事務機械へのLCAの応用―	キヤノン(株)	伊藤　健司	17-6 (1996)	43
③自動車のLCAの現状	日産自動車(株)	小林　紀	17-6 (1996)	50
④石油製品	(株)環境マネジメント研修センター	桑原　脩	17-6 (1996)	55
⑤建築物のLCA―(株)竹中工務店におけるLCA及びLCCへの取り組み―	(株)竹中工務店	奥田　清明	17-6 (1996)	61
[特集]ガスタービン・コンバイドプラント				
(1) 高温ガスタービンによる「システムエネルギー」開発	芝浦工業大学	平田　賢	18-1 (1997)	32
(2) コンバインドサイクル発電の現状と動向	東京電力(株)	宮本　忠	18-1 (1997)	41
(3) 大型ガスタービンの高温・高効率化，低NO_X化への取り組み	(財)電力中央研究所	佐藤　幹夫	18-1 (1997)	47
(4) 小型ガスタービンによる熱電可変	東京ガス(株)	三浦千太郎	18-1 (1997)	53
(5) 200t/日噴流床石炭ガス化発電パイロットプラントでの研究成果概要	石炭ガス化複合発電技術研究組合	森光　康宏	18-1 (1997)	63
(6) 超高温水素燃焼タービンの研究開発	機械技術研究所	濱　純	18-1 (1997)	71
(7) コジェネレーション用セラミックガスタービンの研究開発	新エネルギー・産業技術総合開発機構	田村　茂	18-1 (1997)	77
[特集]光エネルギー利用技術				
(1) 総論:エネルギー分野への光利用技術	(社)レーザー学会	霜田　光一	18-2 (1997)	11
(2) レーザー核融合の開発動向と将来展望	大阪大学	三間　圀興	18-2 (1997)	17
(3) 原子レーザー法・ウラン濃縮技術の開発	レーザー濃縮技術研究組合	森岡　昇	18-2 (1997)	22
(4) 放射光のエネルギー関連分野への応用	新居浜工業高等専門学校	川崎　宏一	18-2 (1997)	28
(5) レーザー利用計測技術の現状－燃焼を中心にして－	石川島播磨重工業(株)	山口　滋	18-2 (1997)	33
	〃	小原　正孝		
(6) レーザー誘雷技術の開発動向	(財)電力中央研究所	新藤　孝敏	18-2 (1997)	41
(7) エネルギー輸送光技術の将来展望	(財)レーザー技術総合研究所	今崎　一夫	18-2 (1997)	47
[特集]エネルギー分野における新材料				
(1) 電力技術の中の材料技術	東京電力(株)	富山朔太郎	18-3 (1997)	8
(2) 高温超電導材料の開発現状	ISTEC超電導工学研究所	腰塚　直己	18-3 (1997)	14
(3) 耐熱材料の高温ガスタービンへの適用	三菱重工業(株)	河合　久孝	18-3 (1997)	20
	〃	岡田　郁生		
(4) 高分子系複合材料の構造物への用途とインテリジェント化	大阪大学	座古　勝	18-3 (1997)	27
	〃	倉敷　哲生		
(5) 電解質材料:燃料電池などに適用	大阪工業技術研究所	宮崎　義憲	18-3 (1997)	34
(6) 高次機能調和材料の開発―セラミックス系ナノコンポジットを中心にして―	大阪大学	新原　晧一	18-3 (1997)	41
	〃	上田　智		
	〃	関野　徹		
	〃	左　容昊		
(7) 触媒―天然ガス変換用触媒技術開発の最近の動向―	広島大学	竹平　勝臣	18-3 (1997)	50
	物質工学工業技術研究所	浜川　聡		
[特集]蓄熱空調システムの現状と将来				
(1) 総論:蓄熱技術とは	東京農工大学	亀山　秀雄	18-4 (1997)	32

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(2) 電力事情と蓄熱式空調システム	東京電力(株)	柳原　隆司	18-4 (1997)	36
(3) 蓄熱空調システムの特徴	(株)竹中工務店	久保田　滋	18-4 (1997)	41
(4) 熱供給システムのライフサイクル分析—蓄熱式空調システムのCO_2排出量—	(財)電力中央研究所	内山　洋司	18-4 (1997)	47
(5) 水蓄熱空調システムの適用例	中部電力(株)	渡邊　澂雄	18-4 (1997)	51
(6) 氷蓄熱システムの導入事例	高砂熱学工業(株)	小此木時雄	18-4 (1997)	56
(7) 蓄熱空調システムの将来の普及規模	京都大学	永田　豊	18-4 (1997)	61
[特集]人工鉱物:その製法と応用				
(1) ゼオライト—特に蓄熱およびヒートポンプへの応用—	山口大学	溝田　忠人	18-5 (1997)	15
(2) 人工粘土	名古屋工業技術研究所	芝崎　靖雄	18-5 (1997)	22
(3) ダイヤモンド	大阪ダイヤモンド工業(株)	冨森　紘	18-5 (1997)	28
(4) 酸化チタン	堺化学工業株	仲辻　忠夫	18-5 (1997)	34
(5) フェライト系磁性材料の製造と応用	同和鉱業(株)	上田　俊雄	18-5 (1997)	40
(6) 高強度・高靭性ジルコニア	東ソー(株)	大貝　理治	18-5 (1997)	46
(7) 人工アパタイトーバイオセラミックー	神戸大学	加藤　功一	18-5 (1997)	53
	京都大学	筏　義人		
[特集]各種副産物のリサイクル技術				
(1) 総論:大量副産物の資源化・リサイクル	京都大学	武田　信生	18-6 (1997)	14
(2) 石炭火力における副産物の有効利用技術—石炭灰の有効利用—	電気事業連合会	岸本　勝美	18-6 (1997)	20
	電源開発(株)	渡部　正道		
(3) 重油火力における燃焼灰の資源化・有効利用—重油燃焼灰からバナジウム回収—	新興化学工業(株)	塚越　邦光	18-6 (1997)	26
(4) 流動層石炭燃焼灰の路盤材への有効利用	川崎重工業(株)	堤　香津雄	18-6 (1997)	31
(5) 都市ごみ焼却灰の資源化	(株)クボタ	阿部　清一	18-6 (1997)	36
(6) 鉄鋼スラグとその資源化—製鉄工場副産物のリサイクル—	鐵鋼スラグ協会技術委員会	竹田　重三	18-6 (1997)	42
(7) 食品産業における廃棄物とその再資源化	愛知工業大学	佐田　榮三	18-6 (1997)	49
	食品産業エコ・プロセス技術研究組合	横川　龍鳳		
(8) 紙パルプ産業におけるサーマル・リサイクル技術	日本製紙(株)	窪田　光昭	18-6 (1997)	55
[特集]大ドーム建築のエネルギー・環境保全				
(1) 大ドーム建築の省エネルギー計画	鹿島建設(株)	早川　真	19-1 (1998)	29
(2) 大ドーム建築の環境保全計画	(株)竹中工務店	高井　啓明	19-1 (1998)	32
(3) 大阪ドームの省エネルギー計画	(株)日建設計	大高　一博	19-1 (1998)	40
	〃	橋本　直樹		
(4) ナゴヤドームにおけるエネルギーの有効利用	(株)竹中工務店	小西　栄	19-1 (1998)	47
	〃	萩原　武治		
	〃	有吉　淳		
(5) 長野オリンピック冬季競技大会アイスホッケーA会場 長野市若里多目的アリーナ「ビッグハット」	(株)山下設計	中島　正人	19-1 (1998)	53
	〃	安藤　俊一		
長野オリンピック冬季競技大会アイスホッケーB会場「アクアウイング」	(株)山下設計	中島　正人		
	〃	大湯　満晴		
(6) ホワイトリング	(株)日建設計	青木　七郎	19-1 (1998)	62
	〃	湯澤　秀樹		
(7) 地域に密着したサンドーム福井の建設	京都大学	岡崎　甚幸	19-1 (1998)	68
[特集]地球環境を計測する				
(1) 衛星を用いたリモートセンシングの現状	(財)リモート・センシング技術センター	向井　幸男	19-2 (1998)	13
(2) 成層圏オゾン及びオゾン層破壊関連物質の観測	国立環境研究所	中根　英昭	19-2 (1998)	19
(3) 二酸化炭素の計測と濃度変動	東北大学	田中　正之	19-2 (1998)	25

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(4)　地球環境汚染の時系列変化を探る—環境汚染のタイムカプセル樹木入皮—	国立環境研究所	佐竹　研一	19-2 (1998)	31
(5)　気象の観測	東京大学	住　明正	19-2 (1998)	36
(6)　海洋の観測	北海道大学	竹内　謙介	19-2 (1998)	42
(7)　植生の観測	東京大学	恒川　篤史	19-2 (1998)	48
[特集]開発が進む二次電池				
(1)　総論:開発が進む二次電池	大阪工業技術研究所	石川　博	19-3 (1998)	15
(2)　民生用小型ニッケルカドミウム電池	三洋電機(株)	淡路谷隆久	19-3 (1998)	18
(3)　民生用小型ニッケル水素蓄電池	松下電池工業(株)	松本　功	19-3 (1998)	23
	〃	森脇　良夫		
(4)　民生用小型リチウムイオン電池	ジーエス・メルコテック(株)	中満　和弘	19-3 (1998)	29
	日本電池(株)	水谷　実		
(5)　EV&HEV用ニッケル・水素蓄電池の開発	パナソニックEVエナジー(株)	生駒　宗久	19-3 (1998)	35
(6)　EV&HEV用鉛蓄電池	(株)ユアサコーポレーション	高嶋皓一郎	19-3 (1998)	41
(7)　EV用リチウムイオン二次電池	(株)ソニー・エナジー・テック	古賀　靖信	19-3 (1998)	46
	〃	片山喜代志		
	ソニー(株)	西　美緒		
(8)　EV用亜鉛空気電池—海外の状況—	京都大学	金村　聖志	19-3 (1998)	51
(9)　電力貯蔵用ナトリウム－硫黄電池	東京電力(株)	佐藤　晃一	19-3 (1998)	57
(10)　ニューサンシャイン計画におけるリチウム二次電池の開発状況	リチウム電池電力貯蔵技術研究組合	岩堀　徹	19-3 (1998)	61
[特集]民生・運輸部門における省エネルギーの方向				
(1)　総論:日本の民生および運輸用エネルギー消費対策—市場を活用した措置の展望—	(財)地球環境戦略研究機関	松尾　直樹	19-4 (1998)	28
(2)　エネルギー消費効率の高い設計，待機時消費電力	(株)住環境計画研究所	村越　千春	19-4 (1998)	33
	〃	田中　昭雄		
(3)　建築物の省資源・省エネルギー	神戸芸術工科大学	小玉祐一郎	19-4 (1998)	40
(4)　コンシューマ部門に対する省エネルギー推進のアプローチ	(財)省エネルギーセンター	小松崎　薫	19-4 (1998)	45
(5)　自動車の省エネルギー	(財)日本自動車研究所	岩井　信夫	19-4 (1998)	52
(6)　省エネルギーに向けての交通施策	京都大学	北村　隆一	19-4 (1998)	63
[特集]エクセルギーとエネルギー有効利用				
－文部省重点領域研究「エクセルギー」班（平成6～9年度）の成果から－				
(1)　まえがき	東京大学	吉田　邦夫	19-5 (1998)	14
(2)　エクセルギーからみた伝熱技術	東京農工大学	亀山　秀雄	19-5 (1998)	15
(3)　エクセルギー再生燃焼—等温膨張燃焼過程を有するガスタービンサイクルを中心に—	芝浦工業大学	越後　亮三	19-5 (1998)	20
	東京工業大学	吉田　英生		
(4)　エネルギー変換における熱化学サイクルと水素エネルギー	東京大学	堤　敦司	19-5 (1998)	25
(5)　CH_4の部分酸化を用いた燃料電池のエクセルギー評価	大分大学	石原　達己	19-5 (1998)	31
(6)　触媒反応のエクセルギー評価	東京理科大学	斉藤　泰和	19-5 (1998)	37
(7)　非平衡プラズマによる直接物質変換	豊橋技術科学大学	水野　彰	19-5 (1998)	42
(8)　水素のエンジン内燃焼	京都大学	塩路　昌宏	19-5 (1998)	47
(9)　無機膜による高温気体分離技術	九州大学	諸岡　成治	19-5 (1998)	52
	〃	草壁　克己		
(10)　熱化学水素製造プロセスUT-3環境における高温耐食材料	東京大学	篠原　正	19-5 (1998)	56
	〃	高平　史郎		
	〃	辻川　茂男		

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
[特集]地域熱供給の新動向				
(1)　地域熱供給事業の将来展望	(社)日本熱供給事業協会	立田　修	19-6 (1998)	16
(2)　特定電気事業制度下での地域熱供給事業	(株)竹中工務店	茂呂　隆	19-6 (1998)	22
(3)　未利用エネルギー活用地域熱供給システム	関西電力(株)	江川　和彦	19-6 (1998)	29
(4)　大型火力発電所排熱活用地域熱供給システム	和歌山マリーナシティ熱供給(株)	井川　広之	19-6 (1998)	36
(5)　都市ガス圧力エネルギー回収発電活用地域熱供給システム	大阪ガス(株)	杉山　修	19-6 (1998)	41
(6)　マレーシアクアラルンプール新国際空港のコージェネレーション・地域冷房システム	東京ガス(株)	中根　伸一	19-6 (1998)	46
(7)　ふゆ未来2010プロジェクト―新北方型都市整備プラン広域熱供給システム―	北海道大学	落藤　澄	19-6 (1998)	54
	(財)北海道地域総合振興機構	古道　宣行		
	(株)藤原環境科学研究所	藤原　陽三		
[特集]ダイオキシンーその問題点と対策の方向ー				
(1)　ダイオキシン類によるリスクの評価	第一薬科大学	増田　義人	20-1 (1999)	37
(2)　ダイオキシンの健康影響	広島大学	安田　峯生	20-1 (1999)	44
(3)　ダイオキシン類による環境汚染とリスク	摂南大学	宮田　秀明	20-1 (1999)	47
(4)　ダイオキシン類の生成機構と物性	国立環境研究所	安原　昭夫	20-1 (1999)	55
(5)　ダイオキシン等の分析法の進歩とモニタリング	国立環境研究所	森田　昌敏	20-1 (1999)	61
(6)　ダイオキシン類の発生源と生成抑制対策	京都大学	酒井　伸一	20-1 (1999)	70
(7)　ダイオキシン類の分解技術	関東学院大学	川本　克也	20-1 (1999)	78
[特集]発電技術の最近の動向				
(1)　発電技術の高効率化に向けた技術動向	(財)電力中央研究所	内山　洋司	20-2 (1999)	21
(2)　超微粒水噴霧によるガスタービン増出力システム	(株)日立製作所	宇多村元昭	20-2 (1999)	27
(3)　燃料電池複合発電技術の開発	三菱重工業(株)	高塚　汎	20-2 (1999)	32
(4)　石炭ガス化複合発電システム	東京電力(株)	寺田　斉	20-2 (1999)	37
(5)　LNG冷熱利用発電の現状と将来システム	大阪ガス(株)	久角　喜徳	20-2 (1999)	43
(6)　MHD発電の動向	筑波大学	石川　本雄	20-2 (1999)	49
[特集]エネルギー教育				
(1)　教育現場からの声―小・中学校におけるエネルギー教育の現状―	大阪府教育センター	秦　健吾	20-3 (1999)	16
(2)　教育現場からの声―教科書にみる高等学校におけるエネルギー教育の現状―	日本基礎化学教育学会	宮田　光男	20-3 (1999)	20
(3)　大学におけるエネルギー教育―京都大学エネルギー科学研究科における取り組み―	京都大学	伊藤　靖彦	20-3 (1999)	25
(4)　イギリスにおけるエネルギー教育の現状	東京女学館中・高等学校	柄山　正樹	20-3 (1999)	32
(5)　米国におけるエネルギー教育の新しい方向	筑波大学	長洲南海男	20-3 (1999)	37
(6)　電力関連のエネルギー教育への取り組み	東京電力(株)	大浦　宗敏	20-3 (1999)	42
(7)　石油関連のエネルギー教育への取り組み	(社)石油学会	南谷　弘	20-3 (1999)	46
(8)　石炭関連のエネルギー教育への取り組み	(財)石炭利用総合センター	今井　隆	20-3 (1999)	50
(9)　天然ガス関連のエネルギー教育への取り組み	大阪ガス(株)	町井　令尚	20-3 (1999)	56
[特集]原子燃料サイクルの新動向				
(1)　総論	京都大学	東　邦夫	20-4 (1999)	19
(2)　エネルギー資源としての原子力	(財)電力中央研究所	池本　一郎	20-4 (1999)	25
(3)　軽水路におけるMOX燃料の利用(プルサーマル)	関西電力(株)	後藤　健	20-4 (1999)	32
(4)　高速増殖炉ーFBR	日本原子力発電(株)	植田　正弘	20-4 (1999)	39
(5)　使用済燃料の中間貯蔵	東京電力(株)	鈴木　一弘	20-4 (1999)	45
(6)　使用済み燃料の再処理	日本原燃(株)	陶山　尚宏	20-4 (1999)	53
(7)　高レベル放射性廃棄物の処分に向けての現状	核燃料サイクル開発機構	虎田真一郎	20-4 (1999)	58

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
[特集]生命を守るオゾン				
(1)　はじめに	東京大学	小田　哲治	20-5 (1999)	20
(2)　オゾンとは何か	徳山大学	杉光　英俊	20-5 (1999)	25
(3)　オゾンナイザーの最前線	三菱電機(株)	葛本　昌樹	20-5 (1999)	29
(4)　オゾンによる水浄化	京都大学	宗宮　　功	20-5 (1999)	34
(5)　オゾンによる空気浄化	石川島播磨重工業(株)	釜瀬　幸広	20-5 (1999)	39
(6)　オゾンホールの現状と今後	福井県立大学	川平　浩二	20-5 (1999)	45
	気象庁気象研究所	牧野　行雄		
(7)　紫外線－皮膚への影響	筑波大学	大塚　藤男	20-5 (1999)	51
(8)　オゾン層は修復できるか？	佐賀大学	山部長兵衛	20-5 (1999)	58
[特集]動き出したエネルギーサービス事業(ESCO)				
(1)　ESCO事業の過去・現在・未来	(株)住環境計画研究所	中上　英俊	20-6 (1999)	14
	〃	村越　千春		
(2)　わが国のESCO事業政策	(財)省エネルギーセンター	中村　邦彦	20-6 (1999)	20
(3)　米国の電力産業再編とESCO市場動向	University of California Berkeley	Charles A. Goldman	20-6 (1999)	25
	(訳) デューク大学	斯波　　敬		
(4)　ESCO事業と規制緩和	藤井・山本法律事務所	山本　卓也	20-6 (1999)	31
(5)　電気事業とESCO	東京電力(株)	田中　俊彦	20-6 (1999)	36
(6)　ガス事業とESCO	大阪ガス(株)	速水　英樹	20-6 (1999)	41
(7)　ESCO事業へのメーカーの取り組み	(株)日立製作所	坂内　正明	20-6 (1999)	46
(8)　ESCO事業における計測と評価	山武ビルシステム(株)	須田　文隆	20-6 (1999)	52
[特集]水素エネルギー社会を目指して				
(1)　WE-NETプロジェクト第Ⅰ期研究開発成果の総括	(財)エネルギー総合工学研究所	福田　健三	21-1 (2000)	26
(2)　学振:未来開拓研究プロジェクトの展開	京都大学	塩路　昌宏	21-1 (2000)	33
(3)　固体高分子電解質水電解技術の開発	(株)富士電機総合研究所	山口　幹昌	21-1 (2000)	38
(4)　高温水蒸気電解のための材料開発	京都大学	八尾　　健	21-1 (2000)	44
(5)　重質炭素資源を利用する熱化学エネルギー変換による水素製造	北海道大学	林　潤一郎	21-1 (2000)	50
	〃	千葉　忠俊		
	東京大学	堤　　敦司		
(6)　水素供給ステーションの検討とその課題	岩谷産業(株)	松岡　美治	21-1 (2000)	56
(7)　高性能水素エンジンの開発	京都大学	石山　拓二	21-1 (2000)	62
	〃	塩路　昌宏		
(8)　水素燃料電池自動車の導入シナリオの研究	(財)エネルギー総合工学研究所	蓮池　　宏	21-1 (2000)	68
(9)　水素燃焼タービンの設計と要素技術開発	三菱重工業(株)	上松　一雄	21-1 (2000)	73
[特集]地球温暖化問題と京都メカニズム				
(1)　総論-地球温暖化防止に向けた国際的枠組み	慶應義塾大学	山口　光恒	21-2 (2000)	18
(2)　気候変動に関する国際交渉の現状と各国の取組―京都メカニズムを中心として―	環境庁	関谷　毅史	21-2 (2000)	24
(3)　IPCC(政府間気候変動パネル)の最近の活動について	東京理科大学	森　　俊介	21-2 (2000)	31
(4)　京都議定書上の排出量取引等に対するEUの数量制約提案の経済的帰結	資源エネルギー庁	戒能　一成	21-2 (2000)	38
	大阪大学	西條　辰義		
	東京都立大学	大和　毅彦		
(5)　国際技術協力によるCO_2排出削減の可能性について ―産業連関表を用いた経済学的アプローチ―	慶應義塾大学	早見　　均	21-2 (2000)	43
(6)　世界エネルギーモデルによる温暖化対策の定量的評価 ―世界エネルギーモデルによる評価へのアプローチ―	東京大学	藤井　康正	21-2 (2000)	50

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(7) 植林活動における国際協力の状況—東部アマゾン荒廃地での植林への取組み—	ブラジル永大木材(株)	佐藤　卓司	21-2 (2000)	56
[特集]環境共生建築と省エネルギー				
(1) 環境共生建築の現状と展望	大阪産業大学	松本　衛	21-3 (2000)	12
(2) 寒冷地における環境共生建築	北海道大学	繪内　正道	21-3 (2000)	18
(3) 温暖地における住宅の高断熱化と環境負荷低減	東京理科大学	井上　隆	21-3 (2000)	23
(4) 環境共生住宅における建築物緑化の居住者および周辺住民による評価 —NEXT21における住居実験を通じて—	京都大学	髙田　光雄	21-3 (2000)	28
(5) 業務用建築への環境共生手法の導入とその省エネルギー効果—建築の自然エネルギー利用—	(株)日建設計	大高　一博	21-3 (2000)	35
(6) 環境共生建築の海外における動向	神戸芸術工科大学	小玉祐一郎	21-3 (2000)	43
[特集]環境型社会と包装技術				
(1) 最近の包装技術—98, 99日本パッケージングコンテストから	(社)日本包装技術協会	佐々木春夫	21-4 (2000)	19
(2) 家電製品の包装技術	三菱電機(株)	前澤　英一	21-4 (2000)	25
(3) 複合包装材の接着技術	藤森工業(株)	髙橋　亨	21-4 (2000)	29
(4) プラスチック容器リサイクルの現状	プラスチック容器包装リサイクル推進協議会	日向寺昭夫	21-4 (2000)	34
(5) 紙製容器包装の再資源化	紙製容器包装リサイクル推進協議会	荒木　享	21-4 (2000)	41
(6) 容器・包装のLCA	東洋製罐(株)	沖　慶雄	21-4 (2000)	46
(7) 容器包装リサイクル法	(財)日本容器包装リサイクル協会	土居　敬和	21-4 (2000)	52
[特集]進歩する燃料電池技術				
(1) 燃料電池の今後	横浜国立大学	太田健一郎	21-5 (2000)	17
(2) りん酸形燃料電池の新用途	(株)東芝	木村　正	21-5 (2000)	23
(3) 溶融炭酸塩形燃料電池—パイロットプラントから実用化—	溶融炭酸塩型燃料電池発電システム技術研究組合	幹　淳	21-5 (2000)	28
(4) 高効率発電をねらう固体電解質型燃料電池	新エネルギー・産業技術総合開発機構	鈴木　稔	21-5 (2000)	33
(5) 各種燃料による燃料電池自動車(FCEV)の総合効率評価	東京大学	石谷　久	21-5 (2000)	38
	〃	馬場　康子		
	(財)エネルギー総合工学研究所	小林　紀		
(6) 固体高分子形燃料電池による家庭用コージェネレーション	(社)日本ガス協会	伊中　秀樹	21-5 (2000)	47
(7) メタノール直接型燃料電池の未来	大阪工業技術研究所	安田　和明	21-5 (2000)	53
[特集]エネルギーシステムの外部性研究—広域環境影響と重大事故の外部費用—				
(1) 総論:エネルギー外部性研究の概要	(財)政策科学研究所	伊東慶四郎	21-6 (2000)	10
(2) 環境影響評価の方法論	筑波大学	内山　洋司	21-6 (2000)	16
(3) 外部性費用評価の理論的側面:環境の経済的評価手法	立正大学	關　哲雄	21-6 (2000)	21
	〃	庭田　文近		
(4) 外部費用評価の実証的側面:公衆の健康損害に関するエネルギー外部性の評価手法	武蔵大学	松川　勇	21-6 (2000)	26
(5) 各発電システムの外部費用:化石燃料	(財)政策科学研究所	林部　尚	21-6 (2000)	30
原子力発電システム	〃	勝木　知里		
再生可能発電システム	(財)電力中央研究所	西村　一彦		
(6) 重大事故リスクの評価	(財)政策科学研究所	川島　啓	21-6 (2000)	39
(7) わが国における発電システムの外部性評価の実施に向けて	(財)電力中央研究所	谷口　武俊	21-6 (2000)	44
[特集]21世紀への世界からのメッセージ				
(1) 21世紀におけるエネルギー資源と環境に関するメッセージ	大韓民国	孫　宰翼	22-1 (2001)	19
	〃	申　鉉東		
(2) 韓国における建設産業と環境	大韓民国	金　會瑞	22-1 (2001)	22
(3) 中国における持続可能なエネルギー開発への道	中華人民共和国	Zou Ji	22-1 (2001)	25
(4) エネルギーと環境:クリーンエネルギー利用をめざすインドネシア	インドネシア共和国	J.R Primana	22-1 (2001)	28
(5) 再生エネルギーと発電:タイ国の理解と現実	タイ王国	Krissanapong Kirtikara	22-1 (2001)	31

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(6) インドエネルギー産業における問題点と可能性	インド	Ritu Mathur	22-1 (2001)	34
	〃	Rekha Krishnan		
(7) 21世紀のジョルダンにおけるエネルギー・資源・環境　ジョルダン・ハシェミット王国		Ibrahim O.I Mango	22-1 (2001)	38
(8) エネルギーと環境面から見た電気自動車とハイブリッド車―21世紀に向けて―				
	イスラエル国	Yoram Zvirin	22-1 (2001)	42
	〃	Michel Parent		
(9) 南アフリカにおける持続可能なエネルギーの開発：中長期的なエネルギー・社会・環境関係の最適化				
	南アフリカ共和国	Mark I. Howells	22-1 (2001)	46
(10) 熱的および動力学的非平衡システムによるメタンの転換	ベラルーシ共和国	Serguei.A.Zhdanok	22-1 (2001)	51
(11) 省エネルギーと健康な室内環境―きたるべき時代へのヴィジョン―	スウェーデン王国	Ingemar.Samuelson	22-1 (2001)	54
(12) 新世紀初頭のイタリアにおけるエネルギー，資源，環境，および芸術	イタリア共和国	Fabio Gori	22-1 (2001)	57
(13) 21世紀における分散型電源	オランダ王国	J.van Liere	22-1 (2001)	61
(14) 電池用負極材料として有望な炭素材料	フランス共和国	Serge Flandrois	22-1 (2001)	64
(15) 持続可能な発展下での効率的エネルギー利用への挑戦	フランス共和国	J. Labeyrie	22-1 (2001)	67
(16) 分散型エネルギー指向へのパイオニアーコージェネレーション	英国	Simon Minett	22-1 (2001)	70
(17) 21世紀に向けたエネルギーと環境への挑戦―ブラジル	ブラジル連邦共和国	J.M.Maeda	22-1 (2001)	74
	〃	T.Morokawa		
(18) 21世紀のクリーンエネルギーおよび超クリーン燃料に関わる触媒研究の将来像				
	アメリカ合衆国	Chunshan Song	22-1 (2001)	77
(19) 21世紀に向けた化石燃料	アメリカ合衆国	J.W.Larsen	22-1 (2001)	82
(20) 21世紀におけるエネルギー需要のインパクト	アメリカ合衆国	F.A.Williams	22-1 (2001)	85
(21) アメリカ的生活：その省エネルギー，環境，健康への思考	アメリカ合衆国	山本　儀子	22-1 (2001)	88
[特集]エネルギー貯蔵技術のフロンティアー地下空間ー				
(1) エネルギー貯蔵と地下空間の利用	京都大学	青木　謙治	22-2 (2001)	10
(2) 電力エネルギーの貯蔵施設―新しい揚水発電システム	電源開発(株)	堀　正幸	22-2 (2001)	15
(3) 電力エネルギーの貯蔵施設―圧縮空気貯蔵（CAES）	(財)電力中央研究所	中川加明一郎	22-2 (2001)	19
(4) 燃料の地下貯蔵―原油岩盤タンク	日本地下石油備蓄(株)	岡本　明夫	22-2 (2001)	25
(5) 燃料の地下貯蔵―液化石油ガス，LNG―	鹿島建設(株)	阿部　裕	22-2 (2001)	30
(6) 低温および高温物質の地山岩盤内貯蔵	愛媛大学	稲田　善紀	22-2 (2001)	35
[特集]廃棄物の資源化・エネルギー化				
(1) 廃棄物の資源化・エネルギー化	京都大学	武田　信生	22-3 (2001)	10
(2) 廃棄物発電技術の現状	(財)ｴﾈﾙｷﾞｰ総合工学研究所	小川紀一郎	22-3 (2001)	15
(3) 下水汚泥の資源化	豊橋技術科学大学	笠倉　忠夫	22-3 (2001)	20
(4) 家畜ふん尿のコンポスト化	大阪府立農林技術センター	崎元　道男	22-3 (2001)	26
(5) 建設廃材の再利用	東京大学	野口　貴文	22-3 (2001)	32
(6) 廃家電処理の取り組み	元 松下電器産業(株)	中本　充慶	22-3 (2001)	39
(7) 厨芥類を中心とする今後のごみ処理システムの方向性について	京都市環境局	中村　一夫	22-3 (2001)	44
[特集]ヒートアイランド				
(1) ヒートアイランドの現状と課題	東北大学	齋藤　武雄	22-4 (2001)	18
(2) ヒートアイランドのメカニズムとモデリング	京都大学	植田　洋匡	22-4 (2001)	23
	〃	石川　裕彦		
	〃	堀口　光章		
(3) 都市の人口排熱とヒートアイランド―江戸と現在の都市気候の比較を通じて―				
	東北大学	持田　灯	22-4 (2001)	30
	東北工業大学	渡辺　浩文		
(4) 広域気象とヒートアイランド「環八雲」	名古屋大学	甲斐　憲次	22-4 (2001)	36
(5) ヒートアイランドと地球環境問題「地方自治体における取り組み」	(独)国立環境研究所	一ノ瀬俊明	22-4 (2001)	41
(6) ヒートアイランドの緩和方策「風の道とクリマアトラス」	神戸大学	森山　正和	22-4 (2001)	46

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(7)　ヒートアイランドの緩和方策―地域熱供給システム，地盤蓄熱，地下ヒートシンク―	(独)産業技術総合研究所	玄地　裕	22-4 (2001)	50
[特集]エネルギー市場の自由化				
(1)　諸外国における電力市場自由化の動向				
①英国―10年の運用を経て再び大改革へ―	(社)海外電力調査会	奈良　長寿	22-6 (2001)	9
②フランス―最低限の自由化にEUから開放圧力―	(社)海外電力調査会	高井　幹夫	22-6 (2001)	12
③ドイツ―英・米・北欧諸国と異なる自由化形態―	(社)海外電力調査会	伊勢　公人	22-6 (2001)	15
④北欧―国際自由電力市場の成り立ち―	(社)海外電力調査会	栗村　卓弥	22-6 (2001)	18
⑤米国―混迷する小売自由化，総合される卸電力市場―	(社)海外電力調査会	高橋　直子	22-6 (2001)	20
(2)　日本における電力市場自由化の動向	(財)電力中央研究所	矢島　正之	22-6 (2001)	23
(3)　電力自由化に伴う電力システムの技術的課題	(財)電力中央研究所	林　敏之	22-6 (2001)	27
(4)　諸外国におけるガス市場自由化の動向				
①アメリカ	(財)日本エネルギー経済研究所	土屋　義幸	22-6 (2001)	31
②アジア（韓国・台湾・オーストラリア）	(財)日本エネルギー経済研究所	青山　明	22-6 (2001)	35
③ヨーロッパ	(財)日本エネルギー経済研究所	長阪　伸哉	22-6 (2001)	38
(5)　日本におけるガス市場自由化の動向	(財)日本エネルギー経済研究所	鈴木　健雄	22-6 (2001)	42
(6)　ガス自由化に伴うガスシステムの技術課題	(財)日本エネルギー経済研究所	佐野　智	22-6 (2001)	47
	〃	森本　和彦		
(7)　エネルギー業界の再編と新ビジネスの展開	(財)日本エネルギー経済研究所	小川　芳樹	22-6 (2001)	52
[特集] 環境調和型社会を支えるエコマテリアル				
(1)　エコマテリアルとは何か	(独)物質・材料研究機構	原田　幸明	23-1 (2002)	21
(2)　EcoMaterialsの社会・経済要素	北九州市立大学	村田　朋美	23-1 (2002)	27
(3)　人間環境にやさしいエネルギーシステムのためのエコマテリアル	東海大学	内田　裕久	23-1 (2002)	30
(4)　環境適合型マニュファクチャリングシステムへの転換とエコマテリアル	東京大学	相沢　龍彦	23-1 (2002)	35
(5)　環境浄化のための機能系エコマテリアル	(独)物質・材料研究機構	渡辺　遵	23-1 (2002)	40
(6)　自動車に用いられるエコマテリアルとしての燃結部品	日産自動車(株)	藤木　章	23-1 (2002)	44
	熊本大学	三浦　秀士		
(7)　建築素材におけるエコマテリアルの使用	北九州市立大学	福島　敏夫	23-1 (2002)	48
[特集] 海洋資源・エネルギー				
(1)　深海底資源の開発と経済的採算	日本文理大学	八田　夏夫	23-2 (2002)	9
	〃	笠井　利浩		
	〃	古屋仲秀樹		
(2)　マンガン団塊およびコバルトリッチクラストの開発	金属鉱業事業団	増田　信行	23-2 (2002)	17
(3)　日本周辺海域の海洋鉱物資源に対する主権的権利―国連海洋法条約に照らして―	鹿児島大学	志賀　美英	23-2 (2002)	22
(4)　深海底熱水鉱床の探査	(独)産業技術総合研究所	飯笹　幸吉	23-2 (2002)	27
(5)　ガスハイドレートの化学組成と物理的性質	(独)産業技術総合研究所	内田　努	23-2 (2002)	31
(6)　メタンハイドレートの探査と開発の動向	東京大学	藤田　和男	23-2 (2002)	35
(7)　海水中のウラン回収の動向	日本原子力研究所	須郷　高信	23-2 (2002)	42
(8)　海洋温度差発電の現状と将来展望	佐賀大学	上原　春男	23-2 (2002)	46
(9)　波力発電の現状と将来	海洋科学技術センター	緒方　輝久	23-2 (2002)	50
[特集] 分散型エネルギーシステム				
(1)　分散型エネルギーシステムの国内外の諸動向	大阪府立大学	伊東　弘一	23-3 (2002)	7
(2)　家庭用1kWガスエンジンコージェネレーションシステムの開発	大阪ガス(株)	栢原　義孝	23-3 (2002)	12
(3)　マイクロガスタービン－背景，現状，将来－	京都大学	吉田　英生	23-3 (2002)	16
	三菱重工業(株)	武石賢一郎		
(4)　ガスタービン・燃料電池ハイブリッドシステムの展望	東京大学	笠木　伸英	23-3 (2002)	22
	芝浦工業大学	君島　真仁		

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(5)　定置用固体高分子形燃料電池の普及基盤整備事業	(社)日本ガス協会	大村　俊哉	23-3 (2002)	27
	〃	寿美　心道		
(6)　分散型電源の連系状況と電力系統への影響	関西電力(株)	藤井　裕三	23-3 (2002)	31
	〃	山口　寿士		
[特集]涼を求めて				
(1)　人類が冷熱を獲得するまで	元 日本冷凍空調学会	千葉　孝男	23-4 (2002)	7
(2)　吸収式冷凍機の最新動向	(株)荏原製作所	井上　修行	23-4 (2002)	12
(3)　圧縮式冷凍機の最新動向	(株)ダイキン空調技術研究所	矢嶋龍三郎	23-4 (2002)	17
	ダイキン工業(株)	芝本　祥孝		
(4)　自然冷媒の最新動向	東京大学	飛原　英治	23-4 (2002)	23
(5)　雪を利用した冷房	室蘭工業大学	媚山　政良	23-4 (2002)	28
(6)　沖縄における暮らしの中の知恵	琉球大学	堤　純一郎	23-4 (2002)	31
(7)　アイスクリーム―その役割，歴史と技術動向―	江崎グリコ(株)	田中　道高	23-4 (2002)	36
[特集]クリーン燃料の開発動向				
(1)　クリーン液体燃料の意義：種類と利用分野	(財)日本エネルギー経済研究所	小川　芳樹	23-5 (2002)	11
(2)　期待される原料：中小天然ガス田，石炭，バイオマス	東京ガス(株)	兼子　弘	23-5 (2002)	17
(3)　軽油のクリーン化	日揮(株)	永松　茂樹	23-5 (2002)	22
(4)　メタノール燃料の合成と利用	(財)地球環境産業技術研究機構	松村　安行	23-5 (2002)	26
(5)　GTL-FT合成の世界における最新動向	(財)石油産業活性化センター	幾島　賢治	23-5 (2002)	30
(6)　DMEの開発と将来の展望	NKK	大野陽太郎	23-5 (2002)	35
(7)　燃料電池用水素の製造技術	大阪ガス(株)	岡田　治	23-5 (2002)	39
(8)　水素エネルギーシステムの実証：国内外の動向	水素エネルギー協会	岡野　一清	23-5 (2002)	43
[特集]実用化に向けた原子力新技術の開発				
(1)　これからの原子力開発	国際協力事業団	森本　英雄	23-6 (2002)	11
(2)　低減速スペクトルBWRの技術開発	(株)東芝	師岡　慎一	23-6 (2002)	15
(3)　一体型モジュラー軽水炉の技術開発	三菱重工業(株)	牧原　義明	23-6 (2002)	19
(4)　小型熱供給炉の活用技術開発	(財)若狭湾エネルギー研究センター	島村　和雄	23-6 (2002)	23
(5)　小型高速炉の技術開発	(財)電力中央研究所	魚谷　正樹	23-6 (2002)	27
(6)　高温ガス炉システムの研究開発の現状	日本原子力研究所	小川　益郎	23-6 (2002)	32
	〃	塩沢　周策		
	〃	数土　幸夫		
(7)　フッ化物揮発法と溶媒抽出法のハイブリッド再処理技術 ―軽水炉燃料用先進再処理システム，FLUOREX法の開発―	(株)日立製作所	河村　文雄	23-6 (2002)	37
[特集]世界の水資源を考える				
(1)　世界水ヴィジオンが提起する世界の水資源問題	京都大学	松井　三郎	24-1 (2003)	18
(2)　地球温暖化と水資源	京都大学	池淵　周一	24-1 (2003)	22
(3)　物質循環と水資源―水系を中心として	文部科学省	和田英太郎	24-1 (2003)	27
	〃	陀安　一郎		
	〃	兵藤不二夫		
(4)　都市水環境と水資源	九州大学	楠田　哲也	24-1 (2003)	34
(5)　河川の環境修復―生態工学の役割	国土交通省	島谷　幸宏	24-1 (2003)	39
(6)　総合的水管理／流域管理と日本の国際貢献	東京大学	虫明　功臣	24-1 (2003)	43
[特集]二酸化炭素吸収と植林				
(1)　二酸化炭素排出・吸収と温暖化見通し	京都大学	松岡　譲	24-2 (2003)	9
(2)　森林における二酸化炭素吸収の測定	大阪府立大学	文字　信貴	24-2 (2003)	14
(3)　森林の二酸化炭素吸収と森林火災影響のモデリング	北海道大学	近久　武美	24-2 (2003)	19
(4)　海外植林とそのバイオマスとしての評価について	王子製紙(株)	神田　憲二	24-2 (2003)	24
(5)　都市環境における緑化の意義	京都大学	吉田　治典	24-2 (2003)	29
(6)　バイオマスからのエネルギー生産技術	大阪ガス(株)	山下　信彦	24-2 (2003)	34

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(7)　バイオマスエネルギー施策と社会構築	大阪府立大学	宮武　和孝	24-2 (2003)	38
[特集]地域のエネルギーとリサイクル				
(1)　未来開拓学術研究プロジェクト「環境負荷低減を目的とした新しい自律分散型都市エネルギーシステム」の概要	大阪大学	辻　毅一郎	24-3 (2003)	12
	京都大学	笠原三紀夫		
(2)　住宅におけるエネルギー消費の実態	大阪大学	佐伯　修	24-3 (2003)	14
	〃	辻　毅一郎		
(3)　分散電源と電気エネルギー流通システム	大阪大学	伊瀬　敏史	24-3 (2003)	19
	北海道大学	長谷川　淳		
(4)　都市エネルギーシステムの最適化	大阪大学	辻　毅一郎	24-3 (2003)	23
	大阪府立大学	伊東　弘一		
(5)　超臨界水によるバイオマスの分散処理システム	京都大学	坂　志朗	24-3 (2003)	29
	〃	江原　克信		
(6)　自己粉砕ねじと家電リサイクルへの応用	京都大学	石原　慶一	24-3 (2003)	34
	〃	山末　英嗣		
(7)　リサイクル導入による一般廃棄物処理システムの環境負荷低減効果の評価	京都大学	笠原三紀夫	24-3 (2003)	39
	〃	東野　達		
	〃	岩渕　善美		
[特集]本格化する地球温暖化対策－①技術編				
(1)　地球温暖化対策の技術開発動向	京都大学	手塚　哲央	24-4 (2003)	10
(2)　産業分野の地球温暖化対策技術-熱と物質循環システム-	東京大学	堤　敦司	24-4 (2003)	15
(3)　民生分野の地球温暖化対策技術-ヒートカスケーディング都市エネルギーシステム-	東京農工大学	秋澤　淳	24-4 (2003)	21
(4)　燃料電池車の開発状況	トヨタ自動車(株)	中村　徳彦	24-4 (2003)	26
(5)　新エネルギーによる地球温暖化対策-事業化が進む風力発電-	電源開発(株)	三保谷　明	24-4 (2003)	30
(6)　京都議定書における吸収源対策:マラケシュ合意と中長期的課題	(独)国立環境研究所	山形与志樹	24-4 (2003)	35
(7)　二酸化炭素の分離，回収，貯蔵技術の現状と将来展望	(財)地球環境産業技術研究機構	松宮　紀文	24-4 (2003)	39
[特集]本格化する地球温暖化対策－②制度編				
(1)　京都メカニズムの意義と活用法	東京大学	松橋　隆治	24-5 (2003)	14
(2)　共同実施等による地球環境問題への貢献-NEDO の取組みと今後の方向-	新エネルギー・産業技術総合開発機構	久留島守広	24-5 (2003)	20
(3)　ブラジル鉄鋼会社とのCDM プロジェクト実現の背景	豊田通商(株)	佐々木誠之介	24-5 (2003)	23
(4)　排出量取引の動向	(株)三菱総合研究所	中村　秀臣	24-5 (2003)	27
(5)　地球温暖化対策税制の動向	(独)国立環境研究所	日引　聡	24-5 (2003)	33
(6)　環境自主行動計画と関連法制度	(社)日本経済団体連合会	高橋　秀夫	24-5 (2003)	38
	日本電気(株)	吉田　孝志		
(7)　欧州における地球温暖化対策に関わる制度の動向と今後の展望	(財)日本エネルギー経済研究所	工藤　拓毅	24-5 (2003)	42
[特集]水素エネルギー社会				
(1)　国内外の水素エネルギー施策	(財)エンジニアリング振興協会	小関　和雄	24-6 (2003)	13
(2)　水素製造技術の開発動向	新エネルギー・産業技術総合開発機構	西村　靖雄	24-6 (2003)	17
(3)　水素貯蔵技術の動向	(独)産業技術総合研究所	栗山　信宏	24-6 (2003)	23
(4)　燃料電池自動車の実証試験	(財)日本自動車研究所	丹下　昭二	24-6 (2003)	28
(5)　定置用燃料電池の市場導入に向けた取り組み	(社)日本ガス協会	菊沢　央忠	24-6 (2003)	34
(6)　水素の爆燃と火炎実験	(財)エネルギー総合工学研究所	佐藤　保和	24-6 (2003)	39

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(7)　燃料電池の実用化に向けたソフトインフラの整備	燃料電池実用化推進協議会	赤松　英昭	24-6 (2003)	44
[特集]競争市場におけるエネルギーセキュリティ				
(1)　世界のエネルギー需給の動向と日本のエネルギー市場への影響	(財)日本エネルギー経済研究所	小川　芳樹	25-1 (2004)	23
(2)　北東アジアにおけるエネルギー市場の展望とエネルギーセキュリティ ー天然ガスパイプラインを活用したエネルギーアライアンスの構築ー	(株)三菱総合研究所	平石　和昭	25-1 (2004)	29
(3)　エネルギー市場リスクと金融技術	慶應義塾大学	前田　章	25-1 (2004)	34
(4)　電力自由化とエネルギー・セキュリティ	(財)電力中央研究所	矢島　正之	25-1 (2004)	40
(5)　信頼性・環境性・経済性のバランスを目指して―ソニーに於けるエネルギーマネジメント―	ソニー(株)	桑原　康浩	25-1 (2004)	46
(6)　IT分野における電力供給システム	(株)エヌ・ティ・ティ・建築総合研究所	杉浦　利之	25-1 (2004)	51
[特集]地方自治体のエネルギービジョンとその現況				
(1)　地域新エネルギービジョン策定等事業について	(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構	田中　博	25-2 (2004)	10
(2)　茨城県エネルギープランについて	茨城県企画部企画課	浦崎　宏幸	25-2 (2004)	15
(3)　三鷹市地域新エネルギー・省エネルギービジョンについて	三鷹市生活環境部環境対策課	岩崎　好高	25-2 (2004)	19
(4)　岐阜県におけるエネルギー安定供給に向けた取り組み	岐阜県商工局	中原　吉博	25-2 (2004)	23
(5)　宮津市地域省エネルギービジョンについて	宮津市市民部環境衛生課	中山　康成	25-2 (2004)	27
(6)　兵庫県グリーンエネルギー推進プログラムについて	兵庫県健康生活部環境局大気課	園田　竹雪	25-2 (2004)	31
(7)　福岡市地域新エネルギービジョンについて	福岡市環境局環境都市推進部	平居　秀児	25-2 (2004)	35
(8)　沖縄県新エネルギービジョンについて	沖縄県商工労働部	仲村　卓之	25-2 (2004)	39
[特集]産業と暮らしを支える熱交換器技術ー現状・開発・保全ー				
(1)　熱交換器を特集するにあたって	東京大学	吉田　邦夫	25-3 (2004)	6
(2)　熱交換器についての断片的キーポイント	京都大学	吉田　英生	25-3 (2004)	7
(3)　工場地域の熱共有	千代田化工建設(株)	松田　一夫	25-3 (2004)	10
(4)　水冷式熱交換器の腐食と汚れの防止	(有)鈴木技術事務所	鈴木　隆	25-3 (2004)	16
(5)　熱交換器の非破壊検査技術	非破壊検査(株)	横野　泰和	25-3 (2004)	21
(6)　電子機器冷却	富山県立大学	石塚　勝	25-3 (2004)	26
(7)　天然ガスパイプラインの熱交換器	新日本製鐵(株)	大場　昭雄	25-3 (2004)	31
(8)　新しい蒸留技術ー内部熱交換型蒸留塔	木村化工機(株)	中西　俊成	25-3 (2004)	34
[特集]屋上緑化で街を涼しく				
(1)　住宅・建築分野における屋上緑化に係る国の取り組みについて	国土交通省	大島　敦仁	25-4 (2004)	10
(2)　大阪市の屋上緑化に関する取り組み	大阪市住宅局	薄木　三男	25-4 (2004)	12
	〃	高村　聡		
(3)　屋上緑化　その分析と評価	東京都立大学	石野　久彌	25-4 (2004)	16
(4)　複合緑化都市「なんばパークス」の屋上公園の熱的効果	(株)大林組	市川　和男	25-4 (2004)	20
	〃	久保田孝幸		
(5)　ｱｸﾛｽ福岡―都市に立体的な緑地を創出し熱環境を改善―	(株)竹中工務店	三輪　隆	25-4 (2004)	24
(6)　都市の自然回帰をめざして	鹿島建設(株)	長沼　寛	25-4 (2004)	28
(7)　共生微生物を活用した屋上緑化システム	関西電力(株)	波多野眞司	25-4 (2004)	32
	大阪ガス(株)	松下　功		
(8)　屋上緑化の将来展望;解析・評価ツール，政策判断ツールの整備を	慶應義塾大学	村上　周三	25-4 (2004)	36
[特集]家電機器のトップランナー技術の現状とエネルギー使用実態				
(1)　家電機器のトップランナー技術の現状	(財)省エネルギーセンター	佐藤　文廣	25-5 (2004)	15
(2)　主要個別機器の効率改善状況				
1)超省エネノンフロン冷蔵庫	松下電器産業(株)	石王　治之	25-5 (2004)	20
	〃	広瀬　謙司		
2)エアコン	(株)東芝キヤリア	井上　常俊	25-5 (2004)	24

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
3)蛍光灯器具	日立ライティング(株)	渡辺　寿秋	25-5 (2004)	28
4)液晶テレビーバックライト低消費電力化への取り組みー	シャープ(株)	井上　裕	25-5 (2004)	31
(3)　家電機器のエネルギー使用実態				
1)実測調査に基づく家庭用エアコン，冷蔵庫，待機電力の実態	新潟大学	赤林　伸一	25-5 (2004)	35
	県立新潟女子短期大学	坂口　淳		
	新潟大学	石山　洋平		
2)住宅のエネルギー消費と種々の要因との関係	東京理科大学	井上　隆	25-5 (2004)	40
[特集]電力貯蔵技術の最新動向				
(1)　電力貯蔵技術の役割と展望	筑波大学	内山　洋司	25-6 (2004)	12
(2)　電力会社における電力貯蔵への取り組み				
1)NAS電池による電力貯蔵システム適用例	東京電力(株)	田中　晃司	25-6 (2004)	16
2)レドックスフローー電池の多機能化と適用例	関西電力(株)	大野　和彦	25-6 (2004)	20
3)風力発電電力系統安定化等技術開発について	電源開発(株)	小林　康一	25-6 (2004)	24
4)SMESおよびフライホイールの開発と応用展開	中部電力(株)	長屋　重夫	25-6 (2004)	28
(3)　蓄電装置の高性能化とその応用展望				
1)電力貯蔵用鉛蓄電池	(株)ジーエス・ユアサマニュファクチュアリング	畠山　好也	25-6 (2004)	34
2)リチウムイオン電池	新神戸電機(株)	野村　洋一	25-6 (2004)	38
3)大容量電気二重層キャパシタと蓄電システム	(株)岡村研究所	岡村　廸夫	25-6 (2004)	42
[特集]農業とエネルギー・資源				
(1)　農業とエネルギー・資源を特集するにあたって	東京農業大学	玉木　浩二	26-1 (2005)	21
(2)　農業とゼロエミッション	放送大学・国連大学	鈴木　基之	26-1 (2005)	22
(3)　農業へのエネルギー投入	和光大学	ｱﾝﾄﾆｰF. F. ﾎﾞｰｲｽﾞ	26-1 (2005)	27
(4)　梅産業におけるゼロエミッション化	(株)東農園	平　知明	26-1 (2005)	33
(5)　太陽光による農業廃液処理	神奈川県農業総合研究所	深山　陽子	26-1 (2005)	37
	東京大学	橋本　和仁		
(6)　ゼロエミッション型農業生産システム	(株)荏原製作所	大塚　秀光	26-1 (2005)	41
(7)　農業ロボット—21世紀のわが国の農と食を支えるのは—	東京農業大学	玉木　浩二	26-1 (2005)	46
[特集]資源循環・エネルギーミニマム型システム技術(1)—科学技術振興機構大型プロジェクト研究から—				
(1)　研究領域:「資源循環・エネルギーミニマム型システム技術」最終年度を迎えて				
	東京大学	平田　賢	26-2 (2005)	16
(2)　高リサイクル性を有する森林資源の開発	九州大学	小名　俊博	26-2 (2005)	18
(3)　植物系分子素材の高度循環活用システムの構築	三重大学	舩岡　正光	26-2 (2005)	22
(4)　エネルギーミニマム型高分子形成システム技術の開発	(独)農業生物資源研究所	馬越　淳	26-2 (2005)	26
(5)　水を電子源とする人工光合成システムの構築				
—水分子の活性化過程の解明と二酸化炭素還元との共役—	東京都立大学	井上　晴夫	26-2 (2005)	29
(6)　機能環境流体を利用した資源循環・低エミッション型物質製造プロセスの創製				
	(独)産業技術総合研究所	生島　豊	26-2 (2005)	33
	〃	川波　肇		
(7)　コプロダクションによるCO_2フリーなエネルギー・物質生産システムの構築	東京大学	堤　敦司	26-2 (2005)	37
[特集]バイオマスエネルギー				
(1)　わが国における木質バイオマスの現状と課題	東京大学	横山　伸也	26-3 (2005)	14
(2)　バイオマスの新規転換技術	京都大学	前　一廣	26-3 (2005)	18
	〃	長谷川　功		
(3)　バイオマスの水蒸気改質	北海道大学	細貝　聡	26-3 (2005)	23
	〃	林　潤一郎		
(4)　木質系バイオマスによる小規模分散型高効率ガス化発電システムの開発				
	川崎重工業(株)	渡辺　達也	26-3 (2005)	28
	〃	山田　健一		
(5)　豊富な森林バイオ資源を活用するための暫定戦略	島根大学	小池浩一郎	26-3 (2005)	33

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(6)　バイオマス利用による「持続型社会」の形成	東京農工大学	堀尾　正靱	26-3 (2005)	38
[特集]資源循環・エネルギーミニマム型システム技術(2)－科学技術振興機構大型プロジェクト研究から-				
(1)　超小型ガスタービン・高度分散エネルギーシステム	芝浦工業大学	鈴木健二郎	26-4 (2005)	10
	University of Pittsburgh	Li Pei Wen		
	Samsung of Advanced Institute of Technology	Song Tae Won		
(2)　リチウムイオン電池における界面イオン移動	京都大学	小久見善八	26-4 (2005)	15
(3)　電気化学エネルギー変換の擬似三次元界面設計	横浜国立大学	太田健一郎	26-4 (2005)	20
(4)　家庭用燃料電池実現のための新たな高効率天然ガス改質システムの構築				
	東北大学(独)科学技術振興機構	高村　仁	26-4 (2005)	24
(5)　高温運転メタノール直接型燃料電池の開発	山梨大学	内田　裕之	26-4 (2005)	28
	〃	渡辺　政廣		
(6)　新規化学結合を用いるシリコン太陽電池	大阪大学	小林　光	26-4 (2005)	32
(7)　資源回収型の都市廃水・廃棄物処理システム技術の開発	京都大学	津野　洋	26-4 (2005)	36
(8)　温暖化ガスにかかわる永久凍土攪乱の制御技術	北海道大学	福田　正己	26-4 (2005)	40
(9)　乾燥地緑化による炭素固定システムの構築	成蹊大学	山田　興一	26-4 (2005)	45
(10)　社会的受容性獲得のための情報伝達技術の開発	国際連合大学	安井　至	26-4 (2005)	49
	(独)科学技術振興機構	原　美永子		
[特集]新しい電力供給ネットワークシステム				
(1)　新しい電力供給ネットワークシステムの動向	東京大学	横山　明彦	26-5 (2005)	7
(2)　分散電源の系統連系に係る実証研究				
1)NEDOにおける新エネルギー系統連系技術開発への取り組み				
	(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構	田中愁佳夫	26-5 (2005)	11
2)集中連系型太陽光発電システム実証研究	(株)関電工	古屋　一彦	26-5 (2005)	14
3)八戸市　水の流れを電気で返すプロジェクト	三菱電機(株)	合田　忠弘	26-5 (2005)	18
	〃	河野　良之		
	〃	小島　康弘		
	〃	吉田　康夫		
	〃	都留　潔		
4)愛・地球博における新エネルギー等地域集中実証研究				
(新エネルギー，マイクログリッド，燃料電池，太陽光発電，NaS電池，バイオマス)				
	中部電力(株)	田中　雅	26-5 (2005)	22
5) 新エネルギー等地域集中実証研究京都エコエネルギープロジェクト				
	京都エコエネルギープロジェクト研究会	鈴木　智宏	26-5 (2005)	25
6)電力ネットワーク技術実証研究	(財)電力中央研究所	田中　和幸	26-5 (2005)	28
	〃	小林　広武		
7)品質別電力供給システム実証研究	(株)NTTファシリティーズ	武田　隆	26-5 (2005)	32
	〃	廣瀬　圭一		
(3)　柔軟で高信頼性の電気エネルギー流通システムFRIENDS	横浜国立大学	原　亮一	26-5 (2005)	36
	函館工業高等専門学校	長谷川　淳		
(4)　海外の技術動向	(株)三菱総合研究所	諸住　哲	26-5 (2005)	40
[特集]CO_2回収・貯留技術の最新動向				
(1)　CO_2回収・隔離技術－R&Dから政策課題化へ	(独)産業技術総合研究所	赤井　誠	26-6 (2005)	6
(2)　CO_2分離回収技術の動向				
1)化学吸収法	関西電力(株)	小山　博之	26-6 (2005)	10
2)膜分離法	(財)地球環境産業技術研究機構	風間　伸吾	26-6 (2005)	14
	(財)地球環境産業技術研究機構，成蹊大学	山田　興一		
3)その他分離回収技術－酸素燃焼技術開発の現状－	(財)石炭エネルギーセンター	氣駕　尚志	26-6 (2005)	18
	石川島播磨重工業(株)	山田　敏彦		

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(3) CO_2貯留技術の動向				
1)地中(帯水層)貯留技術	東京工業大学	末包　哲也	26-6 (2005)	22
2)CO_2炭層固定技術	東京大学	島田　荘平	26-6 (2005)	26
3)地中貯留技術の利用(EOR)	三菱重工業(株)	飯島　正樹	26-6 (2005)	30
4)二酸化炭素の海洋隔離技術	(財)電力中央研究所	大隅多加志	26-6 (2005)	34
[特集]交通システムと省エネルギー				
(1) はじめに	慶應義塾大学	石谷　久	27-1 (2006)	21
(2) 運輸部門におけるエネルギー政策	経済産業省	大江健太郎	27-1 (2006)	22
(3) 自動車				
1)ディーゼル自動車	北海道大学	小川　英之	27-1 (2006)	26
2)ハイブリッド自動車の性能向上について	トヨタ自動車(株)	阿部　眞一	27-1 (2006)	30
3)渋滞半減へのシナリオ	東京大学	桑原　雅夫	27-1 (2006)	34
(4) 自転車を有効活用したまちづくりと都市交通	(財)ｼﾏﾉ･ｻｲｸﾙ開発ｾﾝﾀｰ	中村　博司	27-1 (2006)	38
(5) 鉄道における省エネルギー技術	(財)鉄道総合技術研究所	寺内　伸雄	27-1 (2006)	43
(6) 航空業界が挑戦する省エネルギー	(株)日本航空	大佐古　晃	27-1 (2006)	47
(7) 船とエネルギー	三菱重工業(株)	湯浅　和昭	27-1 (2006)	52
[特集]気候変化研究の最前線				
(1) 気候変化研究について	東京大学	住　明正	27-2 (2006)	12
(2) 日本，世界の気候変動の現状と予測				
1)気象観測の現状	気象庁気象研究所	高山　陽三	27-2 (2006)	16
2)モデルによる将来の気候変化予測	気象庁気象研究所	鬼頭　昭雄	27-2 (2006)	19
(3) 気候変化要因の分析:現状と課題				
1)雲・エアロゾルと気候の関係	東京大学	中島　映至	27-2 (2006)	24
2)有効な環境政策のための気候モデルとは	横浜国立大学	伊藤　公紀	27-2 (2006)	30
(4) IPCCの位置づけ―その役割と意義	(独)海洋研究開発機構	近藤　洋輝	27-2 (2006)	35
[特集]グローバル化時代における中国のエネルギー問題				
(1) 中国が直面しているエネルギー問題と持続可能なエネルギー戦略				
	中国国家発展改革委員会	戴　彦徳	27-3 (2006)	11
翻訳者	立命館大学	周　瑋生		
〃	(財)日本エネルギー経済研究所	沈　中元		
(2) エネルギー動向と国際戦略	(財)日本エネルギー経済研究所	兼清　賢介	27-3 (2006)	16
(3) 石油需要増大とアジアのエネルギー安全保障	東洋大学	小川　芳樹	27-3 (2006)	21
(4) 原子力発電の現状と未来	上海Tepia総合研究所	邢　輝	27-3 (2006)	26
翻訳者	立命館大学	邱　瑞艶		
〃	〃	保田　祐子		
〃	〃	周　瑋生		
(5) 住宅におけるエネルギー問題	埼玉大学	外岡　豊	27-3 (2006)	31
(6) 業務用エネルギー管理推進に向けた展望	日本貿易振興機構	古谷　寿之	27-3 (2006)	36
(7) 省エネ政策とポテンシャル	立命館大学	周　瑋生	27-3 (2006)	39
	中国国家発展改革委員会	呂　文斌		
[特集]循環型社会におけるマテリアル				
(1) 物質フローのシステム的把握と循環型社会	(独)国立環境研究所	森口　祐一	27-4 (2006)	11
(2) マテリアルフローから見た循環型社会				
1)産業連関分析を用いた製品マテリアル組成推定とMFAへの応用	早稲田大学	中村慎一郎	27-4 (2006)	16
2)e-wasteの国際資源循環と資源性・有害性	(独)国立環境研究所	村上　進亮	27-4 (2006)	21
	〃	吉田　綾		
	〃	村上　理映		
	〃	寺園　淳		
3)日本発の使用済み自動車の国際循環	(独)産業技術総合研究所	布施　正暁	27-4 (2006)	25

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(3)　マテリアルリースと循環型社会				
1)マテリアルリースと社会システムの構築	(独)物質・材料研究機構	原田　幸明	27-4 (2006)	29
2)素材の再生技術の現状とマテリアルリース技術	東北大学	中村　崇	27-4 (2006)	34
3)鉄鋼産業のマテリアルリースが誘導する資源循環システムの設計と資源生産性の向上				
	大阪大学	盛岡　通	27-4 (2006)	38
	〃	山本　祐吾		
[特集]国際LNG市場の動向とLNG冷熱利用の現状と取り組み				
(1)　国際LNG市場の構造変化	(独)石油天然ガス･金属鉱物資源機構	石井　彰	27-5 (2006)	6
(2)　わが国におけるLNG冷熱利用の現状と利用拡大への取り組み				
	(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構	山中　義一	27-5 (2006)	11
(3)　LNG直接噴霧･混合によるガス冷却装置の開発	東京電力(株)	織戸　保成	27-5 (2006)	16
(4)　LNG冷熱利用による液化水素製造方法の開発	岩谷産業(株)	渡辺　聡	27-5 (2006)	19
(5)　LNG-BOG処理技術	東京ガス(株)	白川　裕	27-5 (2006)	22
(6)　蓄冷式BOG再液化技術とLNG冷熱のカスケード利用	大阪ガス(株)	間渕　暢浩	27-5 (2006)	25
(7)　冷熱を利用した超伝導ケーブルシステムの検討	住友電気工業(株)	廣瀬　正幸	27-5 (2006)	25
	古河電気工業(株)	向山　晋一		
[特集]燃料電池自動車実現へのマイルストーン　―JHFC(水素･燃料電池実証)プロジェクトの総括と今後の方向				
(1)　JHFCプロジェクト全体概要	(財)日本自動車研究所	増永　邦彦	27-6 (2006)	6
	〃	平野　出穂		
(2)　燃料電池車の試験結果	(財)日本自動車研究所	井関　英治	27-6 (2006)	10
	〃	平野　出穂		
(3)　JHFC水素ステーションの建設および運用結果	(財)エンジニアリング振興協会	岡本　歩	27-6 (2006)	14
	〃	久保山孝治		
	〃	戸室　仁一		
(4)　総合効率検討結果	(財)日本自動車研究所	荻野　法一	27-6 (2006)	19
	〃	丹下　昭二		
(5)　JHFC水素･燃料電池実証プロジェクト　広報活動	(財)日本自動車研究所	渡邊　知絵	27-6 (2006)	24
	〃	平野　出穂		
(6)　海外におけるFCV実証試験動向	(財)日本自動車研究所	丹下　昭二	27-6 (2006)	28
(7)　今後の課題及び今後の実証試験について	(財)日本自動車研究所	平野　出穂	27-6 (2006)	32
	(財)エンジニアリング振興協会	戸室　仁一		
[特集]エネルギー資源の多面的評価　―生成起源や非在来型を含めて―				
(1)　総論:石油資源量評価問題とその疑念	芝浦工業大学	藤田　和男	28-1 (2007)	19
(2)　石油･天然ガスの資源評価	京都大学	芦田　譲	28-1 (2007)	25
(3)　再び注目を集める石油の無機起源説	前(財)日本エネルギー経済研究所	中島　敬史	28-1 (2007)	29
(4)　石炭の資源評価	京都大学	三浦　孝一	28-1 (2007)	34
(5)　メタンハイドレート資源開発の現状と展望	(独)産業技術総合研究所	成田　英夫	28-1 (2007)	39
(6)　ウランの資源評価	(財)電力中央研究所	鮫島　薫	28-1 (2007)	44
[特集]国家石油備蓄と新管理手法				
(1)　我が国の備蓄事業における課題と定量的管理手法(アベイラビリティ)の試行				
	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構	望田　浩二	28-2 (2007)	10
	〃	織山　純		
	〃	渡辺　正俊		
(2)　LPG地下基地の保安性能評価と国際基準	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構	宇梶　賢一	28-2 (2007)	15
	〃	織山　純		
	〃	岩原　達也		
(3)　リスク解析手法によるLPG地下基地の保安性能評価				
	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構	中島　政明	28-2 (2007)	20
	GEOSTOCK	J. A. Rehby		

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(4)　石油地上基地の定量的機動性評価手法				
	千代田アドバンスト・ソリューションズ(株)	米谷　剛	28-2 (2007)	25
	〃	久郷　信俊		
(5)　苫小牧東部石油地上基地の定量的機動性評価				
	千代田アドバンスト・ソリューションズ(株)	石坂　武司	28-2 (2007)	30
	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構	光田　司		
	苫東石油備蓄(株)	梅田　利一		
(6)　秋田石油備蓄基地(地中式)の建設操業の20年―改善の実践と将来―				
	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構	根岸　洋	28-2 (2007)	34
	(株)秋備	諸武　照幸		
(7)　世界の備蓄事業の変遷と将来の技術動向	GEOSTOCK	Roland Schirtzinger	28-2 (2007)	39
	〃	Jean-Michel Noe		
[特集]都市の地震防災対策				
(1)　地震調査研究の最近の成果―全国を概観した地震動予測地図―				
	(独)防災科学技術研究所	藤原　広行	28-4 (2007)	7
(2)　東京都の地域防災計画	東京都総務局	渡邊　俊夫	28-4 (2007)	12
(3)　水道事業の震災対策	東京都水道局	杉山　芳彦	28-4 (2007)	17
(4)　電気事業の地震防災対策(東京電力(株)の事例)	東京電力(株)	大橋　裕寿	28-4 (2007)	22
	〃	末広　俊夫		
(5)　都市ガス事業の地震防災対策	東京ガス(株)	菜花　健一	28-4 (2007)	27
	〃	萬來　雄一		
(6)　鉄道事業の地震防災対策～JR東日本の取り組み～	東日本旅客鉄道(株)	牛島　雅隆	28-4 (2007)	32
	〃	南雲　敦		
(7)　電気通信事業の地震防災対策	東日本電信電話(株)	山谷　哲美	28-4 (2007)	37
[特集]原子力ルネサンス				
(1)　我が国の原子力進まんとする道	(社)日本原子力産業協会，東京電力(株)	宅間　正夫	28-5 (2007)	15
(2)　原子力をめぐる国際情勢:平和利用と核不拡散の両立を目指して				
	(財)電力中央研究所，東京大学	鈴木達治郎	28-5 (2007)	18
(3)　原子力理解についての最新状況・女性の視点から	日本原子力発電(株)	小川　順子	28-5 (2007)	22
(4)　原子力ルネサンス　―欧米の動向	(財)エネルギー総合工学研究所	松井　一秋	28-5 (2007)	27
	〃	鳥飼　誠之		
(5)　躍動するアジアの原子力開発	(社)日本原子力産業協会	小林　雅治	28-5 (2007)	32
(6)　国際原子力エネルギー・パートナーシップの動向	(財)電力中央研究所	長野　浩司	28-5 (2007)	37
[特集]建築における省エネルギーの現状と展望				
(1)　住宅・建築物における省エネルギー・地球温暖化対策の現状と今後の方向性				
	国土交通省	石井　秀明	28-6 (2007)	9
(2)　建築における省エネルギーと温暖化対策	慶應義塾大学	伊香賀俊治	28-6 (2007)	14
(3)　建築設備のコミッショニング(性能検証)	京都大学	吉田　治典	28-6 (2007)	19
(4)　オフィスビルにおける省エネルギー計画	(株)日建設計	堀川　晋	28-6 (2007)	24
(5)　産業用空調における省エネルギー	清水建設(株)	戸田　芳信	28-6 (2007)	29
(6)　住宅における省エネルギー	近畿大学	岩前　篤	28-6 (2007)	34
[特集]マイクログリッド・分散型エネルギーネットワーク				
(1)　マイクログリッド研究の動向	東京大学	浅野　浩志	29-1 (2008)	15
(2)　民間企業と大学・公的研究機関とによる実証試験への取り組み				
1)ホロニック・エネルギーシステムに向けてのマイクログリッド実証試験	(株)東京ガス	徳本　勉	29-1 (2008)	19
	〃	塚田　龍也		
	〃	田上　誠二		
2)住宅を対象とした分散型エネルギーネットワーク	(独)産業技術総合研究所	安芸　裕久	29-1 (2008)	25
3)集合住宅における分散型エネルギーネットワークの実証実験	大阪ガス(株)	田村　至	29-1 (2008)	30

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
4)パワーエレクトロニクス技術を駆使した高品質電力供給システム	大阪大学	伊瀬　敏史	29-1 (2008)	35
5)複数種類分散型電源によるマイクログリッドの自立運転制御の開発	清水建設(株)	沼田　茂生	29-1 (2008)	40
	〃	下田　英介		
	東京大学	馬場　旬平		
(3)　海外におけるマイクログリッド関連プログラムの動向				
1)米国におけるマイクログリッド研究活動	ローレンスバークレー国立研究所	クリスマルネ	29-1 (2008)	45
	〃	周　南		
2)欧州における分散型エネルギーネットワークプログラム	(独)産業技術総合研究所	近藤　潤次	29-1 (2008)	49
	〃	安芸　裕久		
	東京大学	浅野　浩志		
[特集]時空を超えて熱を操る技術				
(1)　新たな熱活用に向けた技術動向と展望	名古屋大学	小林　敬幸	29-2 (2008)	8
(2)　熱を蓄える―低温蓄熱材料の開発動向―	(株)三菱化学科学技術研究センター	垣内　博行	29-2 (2008)	13
	〃	日高　秀人		
(3)　熱を蓄える―中温蓄熱材料の開発動向―	東京工業大学	加藤　之貴	29-2 (2008)	17
	〃	劉　醇一		
(4)　熱を運ぶ―熱輸送による低温排熱利用の可能性―	(株)栗本鐵工所	四方　一郎	29-2 (2008)	22
	三機工業(株)	岩井　良博		
(5)　熱の質を高める―吸着現象を利用した排熱の質的転換―	ユニオン産業(株)	米澤　泰夫	29-2 (2008)	27
(6)　熱の質を高める―化学反応を利用した排熱の質的転換―	(株)ﾌｧﾝｸｼｮﾅﾙ･ﾌﾙｲｯﾄﾞ	藤岡　恵子	29-2 (2008)	31
	大阪ガス(株)	久角　喜徳		
	〃	竹森　利和		
	〃	岸本　章		
	住友精密工業(株)	我孫子哲夫		
(7)　熱の質を高める―DME化学再生発電システムの開発―	関西電力(株)	佐藤　純一	29-2 (2008)	36
	〃	笹部　和宏		
	〃	渡邊　恒典		
	(株)東芝	高橋　武雄		
	〃	大橋　幸夫		
	〃	山中　矢		
	〃	中垣　隆雄		
[特集]新世代太陽電池の動向				
(1)　新世代太陽電池への期待	東京大学	藤井　康正	29-3 (2008)	10
(2)　薄膜シリコン太陽電池	シャープ(株)	野元　克彦	29-3 (2008)	12
	〃	藤岡　靖		
(3)　球状シリコン太陽電池				
	(株)クリーンベンチャー21	室園　幹男	29-3 (2008)	17
(4)　CIS系薄膜太陽電池の動向	昭和シェル石油(株)	櫛屋　勝巳	29-3 (2008)	22
(5)　集光型の高効率太陽電池	豊田工業大学	山口　真史	29-3 (2008)	28
(6)　色素増感太陽電池の現状と展望	東京大学	瀬川　浩司	29-3 (2008)	33
	〃	内田　聡		
	〃	久保　貴哉		
(7)　有機薄膜太陽電池	大阪大学	松村　道雄	29-3 (2008)	38
[特集]高性能二次電池電気自動車				
(1)　電気自動車，プラグインハイブリッド自動車の普及に向けた政府の取り組み				
	経済産業省	野田　智輝	29-4 (2008)	5
(2)　脱温暖化に向けた電気自動車の性能と可能性	早稲田大学	大聖　泰弘	29-4 (2008)	10
(3)　タウンユースに適した小型電気自動車の開発	三菱自動車工業(株)	吉田　裕明	29-4 (2008)	14
	〃	半田　和功		
(4)　急速充電可能な小型電気自動車の開発	富士重工業(株)	荒井　一真	29-4 (2008)	19

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(5)　電気自動車のための充電インフラ	東京電力(株)	姉川　尚史	29-4 (2008)	24
(6)　次世代自動車用リチウムイオン二次電池の開発動向	(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構	小林　弘典	29-4 (2008)	29
(7)　米国におけるプラグインハイブリッド車の開発動向	(財)日本自動車研究所	福家　　保	29-4 (2008)	34
[特集]バイオマス資源・エネルギー転換技術の最前線				
(1)　バイオマスエネルギー転換技術の多様性	京都大学	坂　　志朗	29-5 (2008)	13
(2)　汚泥炭化燃料の発電利用について	バイオ燃料(株)	田島　　彰	29-5 (2008)	18
(3)　バイオガスの現状と今後の課題	大阪ガス(株)	久米　辰雄	29-5 (2008)	22
(4)　日本における輸送用バイオ燃料の開発	新日本石油(株)	斎藤健一郎	29-5 (2008)	27
(5)　バイオ燃料の評価とサステイナビリティ	(財)電力中央研究所，東京大学	山本　博巳	29-5 (2008)	32
(6)　バイオマス利活用支援システムの構築	復建調査設計(株)	井上　陽仁	29-5 (2008)	37
	〃	縄田　大輔		
	東京大学	山地　憲治		
	(財)電力中央研究所，東京大学	山本　博巳		
	筑波大学	内山　洋司		
	広島大学	松村　幸彦		
[特集]エネルギー転換・多消費産業の需要予測				
(1)　わが国の長期エネルギー需給展望―環境制約と変化するエネルギー市場の下での2030年までの見通し―	(財)日本エネルギー経済研究所	柳澤　　明	29-6 (2008)	13
(2)　電力需要の動向と今後の見通しについて	東京電力(株)	宇賀持　豊	29-6 (2008)	18
(3)　製紙産業における省エネルギーおよび地球温暖化対策	日本製紙連合会	稲田　　治	29-6 (2008)	22
(4)　国内セメント産業の中長期における需給要因	太平洋セメント(株)	市沢　和彦	29-6 (2008)	26
(5)　原料高騰と石油化学の需要	三菱化学(株)	沖　　泰宏	29-6 (2008)	30
(6)　家庭における家電機器の総消費電力量推計の方法	(社)日本電機工業会	齋藤　　潔	29-6 (2008)	33
[特集]水素製造・貯蔵・輸送の現状と展望				
(1)　水素の現状と将来	東京農工大学	桜井　　誠	30-1 (2009)	26
(2)　化石燃料からの水素製造	新日本石油(株)	橋本　康嗣	30-1 (2009)	28
(3)　水からの水素製造1:水電解	元三菱商事(株)	原田　宙幸	30-1 (2009)	32
(4)　水からの水素製造2:熱化学分解法	(独)日本原子力研究開発機構	久保　真治	30-1 (2009)	36
(5)　水素を中心とした微生物によるバイオ燃料製造技術	広島大学	中島田　豊	30-1 (2009)	41
	〃	西尾　尚道		
(6)　高圧水素	岩谷瓦斯(株)	岩下　博信	30-1 (2009)	45
(7)　液体水素	(社)資源協会（元日本エア・リキード(株)）	花田　卓爾	30-1 (2009)	49
(8)　合金および無機材料による水素の固形化	日本大学	西宮　伸幸	30-1 (2009)	54
(9)　有機ハイドライド	東京理科大学	斉藤　泰和	30-1 (2009)	58
[特集]サステイナビリティ学の創生				
(1)　IR3Sによるサステイナビリティ学の創生とグローバル・メタネットワークの形成	東京大学，IR3S機構	小宮山　宏	30-2 (2009)	24
	〃	武内　和彦		
(2)　社会経済システムの改編と技術戦略:課題と展望	京都大学	井合　　進	30-2 (2009)	29
(3)　エコ産業技術の開発と社会システムの研究	大阪大学	盛岡　　通	30-2 (2009)	33
(4)　持続的北方生物生産システムの展望	北海道大学	齋藤　　裕	30-2 (2009)	39
(5)　アジア・太平洋地域に対する気候変動の影響と適応策	茨城大学	三村　信男	30-2 (2009)	44
(6)　サステイナブルな社会構築のための人材育成と大学の役割	東京大学	味埜　　俊	30-2 (2009)	48
	〃	小貫　元治		
	〃	鎗目　　雅		
(7)　低炭素社会実現に向けた挑戦	昭和シェル石油(株)	伊藤　智明	30-2 (2009)	53

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
[特集]排出量の見える化，カーボンフットプリントとオフセット				
(1)　経済産業省におけるカーボンフットプリント制度構築への取組	経済産業省	中村　大紀	30-3 (2009)	7
(2)　歯磨剤でのカーボンフットプリント試行事例	ライオン(株)	岡田　淳吾	30-3 (2009)	9
(3)　コクヨグループのカーボンフットプリント試行事例	コクヨS&T(株)	武内　計憲	30-3 (2009)	14
(4)　「食」におけるCO_2排出量の「見える化」	東北大学	齋藤　雅典	30-3 (2009)	17
(5)　我が国におけるカーボン・オフセットに関する制度構築の動向	(社)海外環境協力センター	加藤　真	30-3 (2009)	21
(6)　日本におけるカーボンオフセットプロバイダーの取組み動向	カーボンオフセット協会	蜂須賀　祐	30-3 (2009)	25
	〃	辻本　大輔		
(7)　“カーボン・オフセットブーム”の中での環境対応―イベント実務の現場から	(株)電通	比留間雅人	30-3 (2009)	30
[特集]需要家サイドからの低炭素社会の実現				
(1)　家庭部門および業務部門の需要構造と省エネルギー技術	(財)電力中央研究所	中野　幸夫	30-4 (2009)	8
(2)　照明省エネルギー技術の変遷と今後の展望	パナソニック(株)	明星　稔	30-4 (2009)	13
(3)　低温排熱を利用した空調技術	東京農工大学	秋澤　淳	30-4 (2009)	19
(4)　自然冷媒CO_2ヒートポンプ給湯器の最新技術	(株)デンソー	川村　進	30-4 (2009)	25
(5)　再生可能エネルギー普及における課題とコージェネレーションの活用	東京ガス(株)	進士　誉夫	30-4 (2009)	29
(6)　低炭素型ライフスタイル実現にむけた省エネ教育と省エネ支援ツールの必要性	東京電力(株)	木方真理子	30-4 (2009)	32
[特集]情報化の進展と省エネルギー・低環境負荷社会への取り組み				
(1)　総論―情報化の進展と低炭素排出社会	東京理科大学	森　俊介	30-5 (2009)	23
(2)　寒冷地の冷熱エネルギーを活用した地域間エネルギー統合によるデータセンターのCO_2排出削減	電気通信大学	津田　邦和	30-5 (2009)	28
	〃	田野　俊一		
	〃	市野　順子		
	東京理科大学	森　俊介		
(3)　携帯電話キャリアの環境負荷低減への取り組み「通信設備の省電力化および携帯リサイクルへの取り組みと課題」	KDDI(株)	安田　豊	30-5 (2009)	34
(4)　ICTの環境負荷低減への取り組み	富士通(株)	端谷　隆文	30-5 (2009)	40
(5)　情報化の進展による我が国の社会・経済の構造的変化と環境影響評価	(独)産業技術総合研究所	松本　光崇	30-5 (2009)	46
(6)　IT革新と世界経済の構造変化	湘南エコノメトリクス	室田　泰弘	30-5 (2009)	50
(7)　情報化の進展と低環境負荷社会へ向けての課題	NTTアドバンステクノロジ(株)	西　史郎	30-5 (2009)	55
[特集]基盤産業としての石油産業の未来				
(1)　石油産業の現状と課題	石油連盟	西川　輝彦	30-6 (2009)	6
(2)　主要産油国の動向～サウジアラビアとロシアの動向を中心に～	(財)日本エネルギー経済研究所	小林　良和	30-6 (2009)	12
(3)　石油資源の確保：素朴地政学と市場原理主義はともに適切でない	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構	石井　彰	30-6 (2009)	18
(4)　石油産業における新燃料の動向	(独)産業技術総合研究所	後藤　新一	30-6 (2009)	24
	〃	小熊　光晴		
(5)　次世代に向けた革新的石油精製技術開発	(財)石油産業活性化センター	酒井　眞人	30-6 (2009)	27
(6)　グリーンリファイナリー(環境対応型製油所)を目指した技術開発	(財)石油産業活性化センター	小林　一典	30-6 (2009)	31
(7)　製油所における水素製造システムと供給システム	(財)石油産業活性化センター	林　宏	30-6 (2009)	35
[特集]普及が始まった家庭用燃料電池				
(1)　燃料電池に関するこれまでの取り組み	経済産業省	堀　琢磨	31-1 (2010)	15
(2)　普及期を迎えた家庭用燃料電池	(財)新エネルギー財団	奥田　誠	31-1 (2010)	19
(3)　家庭用燃料電池エネファームの普及に向けた課題	東京ガス(株)	大塚　勝臣	31-1 (2010)	23

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(4)　燃料電池メーカにおける技術開発	(株)ENEOSセルテック	渡邉　宣彦	31-1 (2010)	26
(5)　燃料電池と太陽光発電を組み合わせたCO_2オフ住宅	積水ハウス(株)	石田　建一	31-1 (2010)	31
(6)　次世代燃料電池へ向けた研究開発	山梨大学	渡辺　政廣	31-1 (2010)	35
[特集]大型火力発電所の革新技術				
(1)　低炭素社会実現に向けての大型火力発電の展望	(株)三菱総合研究所	早稲田　聡	31-2 (2010)	11
(2)　1700℃級ガスタービンの技術開発	三菱重工業(株)	伊藤　栄作	31-2 (2010)	14
(3)　アドバンスト高湿分ガスタービンAHATの開発	(株)日立製作所	小金沢知己	31-2 (2010)	19
(4)　先進超々臨海圧発電(A-USC)の開発	(株)東芝	宮池　潔	31-2 (2010)	24
(5)　石炭ガス化複合発電(IGCC)の開発	東京大学	金子　祥三	31-2 (2010)	29
(6)　IGFCおよび将来のゼロエミッション火力発電技術	(財)電力中央研究所	麦倉　良啓	31-2 (2010)	35
[特集]住宅における省エネルギー技術の現状と展望				
(1)　住宅分野の省エネルギーにおける歩みと展望	東京大学	坂本　雄三	31-3 (2010)	7
(2)　住宅における省エネルギー施策	国土交通省住宅局	住宅生産課	31-3 (2010)	11
(3)　住宅躯体の高断熱化―省エネと環境の質の両立	北海道立総合研究機構	鈴木　大隆	31-3 (2010)	14
(4)　住宅設備・機器の省エネルギー手法	国土交通省	三浦　尚志	31-3 (2010)	19
(5)　住宅における再生可能エネルギーの利用とネットワーク化	三洋ホームズ(株)	細井　昭宏	31-3 (2010)	23
(6)　住宅におけるエネルギーの消費とコミッショニング	京都大学	鉾井　修一	31-3 (2010)	28
	国土交通省	三浦　尚志		
[特集]地方自治体による環境調和型都市づくり				
(1)　地方自治体による低炭素型まちづくりに向けて	環境省	土谷　譲	31-4 (2010)	6
(2)　「つくば環境スタイル」つくば市の環境都市への挑戦	つくば市	本位田　拓	31-4 (2010)	10
(3)　横浜が目指す低炭素都市構造への転換について	横浜市	信時　正人	31-4 (2010)	15
(4)　畜産バイオマス資源を活用した環境調和型の地域づくり ～「あいちゼロエミッション・コミュニティ構想」の推進～	愛知県	橋本　博巳	31-4 (2010)	20
(5)　低炭素社会に向けた「環境モデル都市・京都」の取組	京都市	弓削　貴義	31-4 (2010)	25
	〃	浦　哲治		
(6)　堺市都心地域における低炭素地域づくり	堺市	山路　政克	31-4 (2010)	30
[特集]持続可能な産業形成：サービス化とリユース促進				
(1)　製品リユースとサービス化による省エネ・省資源の可能性	(独)産業技術総合研究所	松本　光崇	31-5 (2010)	15
(2)　リユース製品・サービス化のマーケティング戦略	(株)ア・ソッカ	中村　信夫	31-5 (2010)	20
(3)　自動車パーツのリビルド	信越電装(株)	小松　信吾	31-5 (2010)	25
(4)　電気電子製品のリユースの現状と課題	(独)国立環境研究所	田崎　智宏	31-5 (2010)	29
	〃	吉田　綾		
(5)　欧州におけるリユース・サービス化の研究事例	デルフト工科大学	高本　仁志	31-5 (2010)	34
(6)　レアメタル資源制約とリユース・リサイクルの重要性	(独)産業技術総合研究所	森本慎一郎	31-5 (2010)	39
	東京大学	醍醐　市朗		
	東北大学	松八重一代		
[特集]クリーン開発メカニズム(CDM)の最新情報				
(1)　CDM理事会の最近の活動	(財)日本エネルギー経済研究所	黒木　昭弘	31-6 (2010)	3
(2)　CDM指定運営機関から見たCDM/JIの活動状況	(独)日本品質保証機構	山本　重成	31-6 (2010)	7
(3)　硝酸プラントN_2O分解プロジェクトのCDMの特徴	(有)クライメート・エキスパーツ	上野　訓弘	31-6 (2010)	11
(4)　中国の石炭火力発電所を対象とした方法論開発とCDM	(株)三菱総合研究所	西村　邦幸	31-6 (2010)	16
	〃	佐藤　景子		
(5)　水力発電プロジェクトのCDM活動	三菱商事(株)	中村　剛	31-6 (2010)	20
(6)　バイオガス発電プロジェクトのCDM活動	住友商事(株)	野田　英史	31-6 (2010)	24
(7)　高効率石炭火力発電とCDM	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	吉高　まり	31-6 (2010)	29
	〃	志村　幸美		
[特集]スマートグリッド実現に向けた国内外の取組み				
(1)　スマートグリッド概論	早稲田大学	林　泰弘	32-1 (2011)	22

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(2) 次世代エネルギー・社会システムの構築に向けて	資源エネルギー庁	飯田　健太	32-1 (2011)	27
(3) NEDOにおけるスマートグリッドの取組み	(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構	諸住　哲	32-1 (2011)	30
(4) スマートグリッドの国際標準化を巡る動向	九州大学	合田　忠弘	32-1 (2011)	35
(5) 電力会社におけるスマートグリッドへの取組み	東京電力(株)	岡本　浩	32-1 (2011)	41
(6) スマートグリッド先端技術開発の取組み	(株)東芝	林　秀樹	32-1 (2011)	46
(7) 次世代グリッド技術の開発	(財)電力中央研究所	小林　広武	32-1 (2011)	50
[特集]地球温暖化対策と経済				
(1) 温室効果ガス削減がもたらす日本経済への影響:経済モデルの役割について	上智大学	有村　俊秀	32-2 (2011)	9
(2) COP16の評価と今後の課題―日本の環境外交の挑戦―	21世紀政策研究所	澤　昭裕	32-2 (2011)	14
(3) 環境制約は商機にも，市場生かす枠組み作りを	日本経済研究センター	猿山　純夫	32-2 (2011)	18
	〃	小林　辰男		
(4) 環境と経済生き残りのための積極的環境経済政策	京都大学	一方井誠治	32-2 (2011)	22
(5) 再生可能エネルギー政治・政策と産業競争力	環境エネルギー政策研究所	飯田　哲也	32-2 (2011)	27
[特集]省エネルギー照明技術の最新動向				
(1) 持続可能な社会における照明システム	高知工科大学	八田　章光	32-3 (2011)	10
	分析工房(株)	籔本　周邦		
	(株)インネクスト	服部　寿		
	(社)照明学会	竜子　雅俊		
(2) LED照明製品の設計技術	東芝ライテック(株)	別所　誠	32-3 (2011)	15
(3) 電球形LEDランプの商品化動向	パナソニック(株)	明星　稔	32-3 (2011)	20
(4) 直管形LEDランプと専用照明器具の商品化動向	パナソニック電工(株)	増子　史彦	32-3 (2011)	25
(5) 有機EL照明の技術開発の現状	NECライティング(株)	川島　康貴	32-3 (2011)	30
(6) 材料・資源の観点からの環境配慮型光源の考え方	(独)産業技術総合研究所	赤井　智子	32-3 (2011)	35
(7) 照明ソフト面からみた省エネルギーの実践方法	国土交通省	三木　保弘	32-3 (2011)	40
[特集]天然ガス資源開発と関連技術				
(1) 天然ガスとLNGの国際需給動向	(財)日本エネルギー経済研究所	橋本　裕	32-4 (2011)	9
(2) 非在来型天然ガス資源(シェール・ガス，CBM)の開発状況	エネルギー・環境問題研究所	石井　彰	32-4 (2011)	14
(3) メタンハイドレートの開発状況	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構	浮田　利康	32-4 (2011)	19
(4) 洋上液化技術(LNG-FPSO)の現状と展望	(株)海洋工学研究所	佐尾　邦久	32-4 (2011)	23
(5) Gas to Liquid(GTL)の開発状況	国際石油開発帝石(株)	中村　新	32-4 (2011)	30
(6) LNG船の技術動向	日本郵船(株)	米澤　挙志	32-4 (2011)	36
(7) 国内のLNG供給インフラについて	東京ガス(株)	木原　和行	32-4 (2011)	41
	〃	坂口　秀樹		
	〃	内野　整一		
	大阪ガス(株)	高畑　昌義		
[特集]環境共生社会における森林				
(1) 森林の維持に貢献する伝統文化	東京大学	月尾　嘉男	32-5 (2011)	22
(2) 我が国の森林管理と林業の将来像～国民的ニーズにいかに応えていくべきか～	東京大学	白石　則彦	32-5 (2011)	26
(3) 森林の多元的価値の実現のためのアプローチとしてのPES(生態系サービスへの支払い)	文部科学省	柴田　晋吾	32-5 (2011)	30
(4) REDD+(途上国における森林減少等に由来する排出の削減等)への取組と熱帯林の保全	林野庁	赤堀　聡之	32-5 (2011)	36
(5) 森林対策と生物多様性の六次産業化	名古屋市立大学	香坂　玲	32-5 (2011)	41
(6) 森林バイオマス資源の活用による地域振興策―北海道下川町の取り組み―	北海道下川町	高橋　祐二	32-5 (2011)	46
(7) 世界の里山イニシアチブ	バードライフ・インターナショナル	鈴江　恵子	32-5 (2011)	51

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
[特集]新たな柔軟性メカニズムによる炭素クレジットの創出				
(1)　新しい炭素クレジットの動向と展望	東京大学	松橋　隆治	32-6 (2011)	11
(2)　二国間オフセット・クレジット制度による炭素クレジットの創出	経済産業省	村上　敬亮	32-6 (2011)	17
	〃	山家　洋志		
(3)　二国間クレジット制度におけるREDD+の位置付け	(独)森林総合研究所	松本　光朗	32-6 (2011)	22
(4)　インドネシアにおける泥炭管理によるCO_2排出制御可能性調査	清水建設(株)	栗田　弘幸	32-6 (2011)	27
(5)　国内クレジット制度の概要と今後の展望	日本商工会議所	宮城　勉	32-6 (2011)	31
(6)　創エネ・省エネ設備の導入によるクレジット認証	ミサワホーム(株)	上　浩之	32-6 (2011)	36
[特集]原子力発電に関する国外の動き				
(1)　世界のエネルギー需給における原子力エネルギー	東京大学	吉田　好邦	33-1 (2012)	21
(2)　原子力推進国(アメリカ, フランス, ロシア等)の動向	(財)エネルギー総合工学研究所	松井　一秋	33-1 (2012)	25
(3)　脱原子力国の動向	(社)日本原子力産業協会	小林　雅治	33-1 (2012)	31
(4)　新規導入国の動向	(社)日本原子力産業協会	小林　雅治	33-1 (2012)	37
(5)　原子力関連企業の対応と動向	(財)日本エネルギー経済研究所	村上　朋子	33-1 (2012)	43
(6)　IAEAにおける核燃料供給保証の新たなメカニズム	外務省	小笠原一郎	33-1 (2012)	48
[特集]原子力事故を受けたエネルギー選択とその影響				
(1)　わが国のエネルギー選択をめぐる視点	(財)電力中央研究所	永田　豊	33-2 (2012)	6
(2)　震災影響を踏まえた2030年に向けた電力需給	東京大学	荻本　和彦	33-2 (2012)	11
(3)　中長期観点からの国内エネルギー需給構造のあり方と太陽光発電の役割	(財)エネルギー総合工学研究所	森山　亮	33-2 (2012)	17
	〃	都筑　和泰		
	〃	石本　祐樹		
	〃	時松　宏治		
	〃	萩原　直人		
(4)　震災後のエネルギー選択のあり方と課題	(財)日本エネルギー経済研究所	末広　茂	33-2 (2012)	22
(5)　太陽光発電への代替が日本経済に及ぼす影響	東京大学	茂木　源人	33-2 (2012)	27
(6)　福島原発事故から学ぶ科学者の責任と役割	東京大学	笠木　伸英	33-2 (2012)	32
[特集]海からのエネルギー				
(1)　新しい海洋温度差発電の展開と課題	佐賀大学	池上　康之	33-3 (2012)	6
	〃	門出　政則		
(2)　海流発電の研究開発の動向と戦略課題について	ネットフォース(株)	梅田　厚彦	33-3 (2012)	11
(3)　潮流発電	九州大学	経塚　雄策	33-3 (2012)	17
(4)　微細藻類からのバイオ燃料製造	東京農工大学	田中　剛	33-3 (2012)	22
(5)　海水濃度差発電	東京工業大学	谷岡　明彦	33-3 (2012)	27
(6)　洋上風力発電	東京大学	鈴木　英之	33-3 (2012)	31
[特集]植物工場の現状と将来展望				
(1)　植物工場発展の方向性	大阪府立大学	村瀬治比古	33-4 (2012)	4
(2)　太陽光型植物工場	千葉大学	古在　豊樹	33-4 (2012)	9
(3)　完全人工光型植物工場について	大阪府立大学	西浦　芳史	33-4 (2012)	13
(4)　ハイブリッドエコエネルギーシステムの植物工場への適用について	(株)ダイキンアプライドシステムズ	伊能　利郎	33-4 (2012)	18
(5)　植物工場の経済学—農業・環境・地域の視点から—	桃山学院大学	竹歳　一紀	33-4 (2012)	22
(6)　植物工場野菜の第三者評価	特定非営利活動法人イー・ビーイング	井上　健雄	33-4 (2012)	27
[特集]国内実証試験の段階に入ったCCS				
(1)　総論—国内外におけるCCSの技術開発と政策の動向	電力中央研究所	下田　昭郎	33-5 (2012)	16
(2)　苫小牧地点におけるCCS大規模実証試験の概要	日本CCS調査(株)	川島　文治	33-5 (2012)	21
(3)　化学吸収法によるCO_2分離・回収技術の開発状況	関西プラント(株)	辰巳　雅彦	33-5 (2012)	27
	関西電力(株)	角野　光治		
(4)　CO_2燃焼前回収技術の現状	日揮(株)	大野　拓也	33-5 (2012)	31

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(5) 日豪酸素燃焼実証プロジェクトの概要と現況	電源開発(株)	伊藤　正紀	33-5 (2012)	35
(6) 新規CO_2分離回収技術開発の動向	地球環境産業技術研究機構	余語　克則	33-5 (2012)	39
	〃	甲斐　照彦		
(7) CCSのためのCO_2船舶輸送への期待	東京大学	尾崎　雅彦	33-5 (2012)	44
(8) CO_2貯蓄技術開発の取り組み	地球環境産業技術研究機構	白垣　修	33-5 (2012)	49
[特集]国内外のエネルギー管理制度の現状と最新動向				
(1) 日本のエネルギー管理制度の概要と今後の方向	経済産業省	高木　聡	33-6 (2012)	7
(2) 工場におけるエネルギー管理制度の実態	日本エネルギー経済研究所	小川　順子	33-6 (2012)	12
(3) エネルギー管理者の役割と活動実態	(有)野田エネルギー管理事務所	野田　冬彦	33-6 (2012)	16
(4) エネルギー管理の推進に於けるESCO事業の役割～群栄化学工業ESCO事例に学ぶ～				
	ESCO推進協議会	古賀　裕司	33-6 (2012)	23
(5) 主要国のエネルギー管理制度の概要	省エネルギーセンター	小林　智子	33-6 (2012)	28
(6) ISO50001の概要と最新動向	省エネルギーセンター	石原　明	33-6 (2012)	33
(7) エネルギー管理に関する国際協力	日本エネルギー経済研究所	山下ゆかり	33-6 (2012)	38
[特集]地熱エネルギー利用の拡大				
(1) 地熱エネルギー開発の概要と最近の動向	国際科学技術財団	松永　烈	34-1 (2013)	20
(2) 最近の海外地熱開発技術	東北大学	浅沼　宏	34-1 (2013)	25
(3) 地熱資源の調査と評価	西日本技術開発(株)	田篭　功一	34-1 (2013)	29
	〃	副田　宣男		
(4) 地熱発電技術について	富士電機(株)	山田　茂登	34-1 (2013)	34
(5) 日本の低温熱水系資源のエネルギー利用とその将来像	弘前大学	村岡　洋文	34-1 (2013)	39
(6) 秋田県湯沢市山葵沢・秋ノ宮地域の地熱開発	電源開発(株)	中西　繁隆	34-1 (2013)	44
(7) 鹿児島県白水越地域　地熱開発について	日鉄鉱コンサルタント(株)	藤貫　秀宣	34-1 (2013)	49
[特集]大震災におけるエネルギー流通・供給施設被災と復旧対応				
(1) エネルギー施設の新たなリスク	筑波大学	岡島　敬一	34-2 (2013)	5
(2) 東日本大震災以後の地震動評価(想定)の変化	(株)構造計画研究所	西條　裕介	34-2 (2013)	10
(3) 東日本大震災における新地発電所の被災・復旧状況	相馬共同火力発電(株)	阿部　芳重	34-2 (2013)	15
(4) 東日本大震災と都市ガス	日本ガス協会	下茂　貴博	34-2 (2013)	21
(5) 東日本大震災における製油所の被害と復旧	JX日鉱日石エネルギー(株)	宮越　一市	34-2 (2013)	26
(6) 電力流通設備の早期復旧支援技術―東日本大震災時の事例検討―				
	電力中央研究所	朱牟田善治	34-2 (2013)	30
(7) 施設のリスクマネジメント	(株)竹中工務店	奥野　智久	34-2 (2013)	34
[特集]再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に対する取り組み				
(1) 固定価格買取制度施行後の状況と再生可能エネルギー導入拡大に向けた今後の課題				
	経済産業省	北村　貴志	34-3 (2013)	7
(2) 各国の買取制度の概要	(株)三菱総合研究所	井上　裕史	34-3 (2013)	12
	〃	渡邊裕美子		
(3) 地方自治体がエネルギー政策に取り組む意味～熊本県のエネルギー政策の考え方と具体的取組～				
	熊本県	正木　祐輔	34-3 (2013)	17
(4) 太陽光発電の特別措置法に対する取り組み	(株)NTTファシリティーズ	田中　良	34-3 (2013)	22
	〃	工藤　満		
(5) 小形風力発電装置市場の現状	シンフォニアテクノロジー(株)	西小野寛明	34-3 (2013)	27
	〃	塩崎　明		
(6) 中小水力発電の特措法に対する取り組み	(株)東芝	戸田　一典	34-3 (2013)	32
(7) 固定価格買取制度における木質バイオマス発電の動向	(株)タクマ	宮島　欣幸	34-3 (2013)	37
[特集]スマートハウス				
(1) これからのスマートハウスのエネルギー管理	早稲田大学	林　泰弘	34-4 (2013)	13
(2) 公知で標準的なインターフェイスによるスマートハウス設計	慶應義塾大学	梅嶋　真樹	34-4 (2013)	18
(3) 次世代自動車とスマートコミュニティー	トヨタ自動車(株)	岡島　博司	34-4 (2013)	23

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(4)　住宅メーカーから見たスマートハウスの技術，課題	積水化学工業(株)	塩　将一	34-4 (2013)	29
(5)　スマートハウスにおけるHEMS技術の開発と実証	三菱電機(株)	坂本　忠昭	34-4 (2013)	33
	〃	丸山　一郎		
	〃	矢部　正明		
	〃	峯澤　聡司		
(6)　海外におけるスマートハウス開発の状況	(株)野村総合研究所	山内　朗	34-4 (2013)	38
[特集]ヒートポンプ技術の進展と応用				
(1)　NEDOによるヒートポンプ技術開発	新エネルギー・産業技術総合開発機構	甘利　猛	34-5 (2013)	16
(2)　冷媒の規制と動向	日本冷凍空調工業会	松田　憲兒	34-5 (2013)	22
(3)　グローバル冷凍空調市場の動向	日本冷凍空調工業会	岸本　哲郎	34-5 (2013)	26
(4)　家庭用ヒートポンプの現状と展望	パナソニック(株)	西脇　文俊	34-5 (2013)	31
(5)　地中熱利用ヒートポンプの現状と展望	北海道大学	長野　克則	34-5 (2013)	36
(6)　ビル用マルチエアコンの現状と展望	三菱電機(株)	青山　豊	34-5 (2013)	43
(7)　産業用ヒートポンプの現状と課題	中部電力(株)	渡邉　澂雄	34-5 (2013)	48
[特集]熱エネルギーの高効率利用				
(1)　廃熱利用と展望	産業技術総合研究所	角口　勝彦	34-6 (2013)	12
(2)　熱を逃がさない　高性能真空断熱材の開発	パナソニック(株)	湯淺　明子	34-6 (2013)	17
(3)　熱電変換で進む未利用熱エネルギーの有効活用	産業技術総合研究所	太田　道広	34-6 (2013)	22
	〃	山本　淳		
(4)　鉄鋼プロセスにおける省エネと熱利用	JFEスチール(株)	斉間　等	34-6 (2013)	27
(5)　化学会社におけるエネルギー管理―(株)カネカの省エネルギー活動について―				
	(株)カネカ	古川　直樹	34-6 (2013)	32
	〃	森角　良作		
(6)　電気自動車における熱損失マネージメント	日産自動車(株)	門田　英稔	34-6 (2013)	37
(7)　中小製造の熱・エネルギー利用	(株)ファンクショナル・フルイッド	藤岡　惠子	34-6 (2013)	42
[特集]水素エネルギー利用社会に向けた取り組み				
(1)　将来エネルギーとしての水素の可能性	地球環境産業技術研究機構	山地　憲治	35-1 (2014)	19
	エネルギー総合工学研究所	笹倉　正晴		
(2)　高効率な液化水素製造及び輸送・貯蔵技術	岩谷産業(株)	中島　康広	35-1 (2014)	25
(3)　2015年に向けて動き出した燃料電池車	トヨタ自動車(株)	広瀬　雄彦	35-1 (2014)	29
(4)　商用モデル水素ステーションにおけるHySUTの最近の実証				
	水素供給・利用技術研究組合	石川　洋一	35-1 (2014)	33
(5)　水素供給インフラ整備のための規制見直しの動向	日本ガス協会	西井　匠	35-1 (2014)	38
	〃	浦辺　安彦		
(6)　CO_2フリー水素の導入構想	川崎重工業(株)	西村　元彦	35-1 (2014)	43
	〃	吉野　泰		
	〃	吉村　健二		
	〃	原田　英一		
(7)　水素キャリアとしてのアンモニア利用	工学院大学	雑賀　高	35-1 (2014)	47
(8)　日本のエネルギーミックスにおける輸入水素導入の意義	日本エネルギー経済研究所	松尾　雄司	35-1 (2014)	52
[特集]放射性物質と放射線―その基礎から除染まで―				
(1)　総論：福島第一原子力発電所事故の影響	東京大学	森口　祐一	35-2 (2014)	4
(2)　核分裂炉における放射性物質の生成及び燃料サイクルの基礎	京都大学	森山　裕丈	35-2 (2014)	10
(3)　放射線・放射能の発見・利用の歴史と放射線衛生学	国立保健医療科学院	欅田　尚樹	35-2 (2014)	16
(4)　放射性物質の陸域への影響	筑波大学	若月　泰孝	35-2 (2014)	23
	〃	青山　智夫		
(5)　放射性核種の海洋環境への影響	東京海洋大学	神田　穣太	35-2 (2014)	28
(6)　福島の環境回復―事故後3年の除染	日本原子力研究開発機構	中山　真一	35-2 (2014)	33
(7)　放射能汚染廃棄物の中間貯蔵及び処理処分における技術的課題	国立環境研究所	大迫　政浩	35-2 (2014)	38

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
[特集]都市内の分散型エネルギーシステム				
(1)　都市のエネルギーシステムの現状と課題，今後の展望	横浜国立大学	佐土原　聡	35-3 (2014)	5
(2)　ESCO事業の現状と効果	(株)住環境計画研究所	村越　千春	35-3 (2014)	9
	〃	辻丸　達憲		
	〃	山本　高広		
	ESCO推進協議会	布施　征男		
(3)　横浜市のESCO事業について	横浜市建築局	本田　裕一	35-3 (2014)	14
	〃	横野　幸一		
	〃	塚越　理文		
(4)　地域におけるエネルギー有効利用計画制度とエネルギー効率の向上	東京都環境局	植木　博章	35-3 (2014)	20
(5)　新宿新都心地域冷暖房の新しい展開	(株)エネルギーアドバンス	田中　一史	35-3 (2014)	25
(6)　六本木ヒルズにおける自立型エネルギーシステムの取り組み	六本木エネルギーサービス(株)	古島　　潔	35-3 (2014)	29
(7)　集合住宅団地におけるエネルギーマネジメント	(株)ファミリーネット・ジャパン	内田　鉄平	35-3 (2014)	33
	野村不動産(株)	石田　恭子		
[特集]非在来型化石燃料を取り巻く状況				
(1)　非在来型化石燃料の将来性	京都大学	松岡　俊文	35-4 (2014)	4
	〃	本田　博巳		
(2)　石油・天然ガスのマーケット情勢	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	野神　隆之	35-4 (2014)	13
(3)　北米の非在来型天然ガス・石油の開発状況	大阪ガス(株)	久米　辰雄	35-4 (2014)	20
(4)　米国におけるLNG輸出の動向	住友商事(株)	瀬長　恵梨	35-4 (2014)	26
(5)　豪州のCSG(コールシームガス)開発状況	東京ガス(株)	奥井　智治	35-4 (2014)	31
	〃	八尾祐美子		
(6)　カナダにおけるシェールガス採掘技術の最新動向	国際石油開発帝石(株)	浦野　　剛	35-4 (2014)	36
(7)　凝集磁気分離システムの随伴水処理への展開	(株)日立製作所	滑川　　隆	35-4 (2014)	41
[特集]エネルギー・資源に関する技術の標準化への取組みとその適用				
(1)　スマートグリッドに関する戦略的な国際標準化への取組みの重要性	経済産業省	土井　良治	35-5 (2014)	21
(2)　UHV送電技術の国際標準化	東京電力(株)	財満　英一	35-5 (2014)	26
(3)　蓄電複合システムインターフェース	(株)東芝	江幡　良雄	35-5 (2014)	31
(4)　IEEE1888を用いたインターネット型オープンBEMS	東京大学	江崎　　浩	35-5 (2014)	36
	〃	落合　秀也		
(5)　ECHONET Liteを用いたHEMS技術	パナソニック(株)	村上　隆史	35-5 (2014)	41
	神奈川工科大学	一色　正男		
(6)　電気自動車用急速充電システムCHAdeMO方式	東京電力(株)	灰田　武史	35-5 (2014)	46
(7)　外食レストラン向け省エネルギーシステム	日本エレクトロヒートセンター	小熊　啓一	35-5 (2014)	50
	オープン・フードサービス・システム・コンソーシアム	酒美　保夫		
(8)　LNGタンク用7%ニッケル鋼板技術	大阪ガス(株)	西上　博之	35-5 (2014)	54
	〃	山下　眞輝		
	新日鐵住金(株)	加茂　孝浩		
	〃	長尾　年通		
	トーヨーカネツ(株)	平井　秀一		
	〃	密本　巨彦		
[特集]車載用蓄電デバイスの最新動向				
(1)　車載用蓄電池の普及に向けた取組について	経済産業省	成田　裕幸	35-6 (2014)	9
(2)　キャパシタハイブリッド型鉛蓄電池UltraBattery	古河電池(株)	赤阪　有一	35-6 (2014)	12
	〃	古川　　淳		
(3)　ＧＳユアサの大形リチウムイオン電池	(株)ＧＳユアサ	北村　雅紀	35-6 (2014)	17

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(4) NECの大型リチウムイオン電池開発と蓄電システム応用	NECエナジーデバイス(株)	太田　智行	35-6 (2014)	22
	〃	小嶋　育央		
	日本電気(株)	吉武　　務		
	NECエナジーデバイス(株)	大木　　勝		
(5) アイドリングストップ車用リチウムイオン電池SCiB^{TM}	(株)東芝	行友　雅徳	35-6 (2014)	26
	〃	石和　浩次		
(6) リチウムイオン電池(LIB)の最新動向	産業技術総合研究所	小林　弘典	35-6 (2014)	30
(7) 高安全性・耐熱性リチウムイオン電池の開発	産業技術総合研究所	境　　哲男	35-6 (2014)	35
	〃	向井　孝志		
	〃	山野　晃裕		
	〃	柳田　昌宏		
(8) 電気二重層キャパシタの車載用途への応用	日本ケミコン(株)	渡邊　　晋	35-6 (2014)	40
	〃	渡邊　治樹		
[特集]未来の文明社会を支える持続可能な開発のための教育(ESD)				
(1) 【総説】ESDに関するユネスコ世界会議における今後のESDの発展とあいち・なごや宣言	富山県立大学	九里　徳泰	36-1 (2015)	25
(2) グローバリゼーションのもとでの環境教育・ESD，自己変容と社会変容の学習の連関に向けて	東京都市大学	佐藤　真久	36-1 (2015)	33
(3) 国際教育とESD：大学の国際教育実践からみる地域と世界をつなぐESDとしての可能性	東京農工大学	ニノ宮リム さち	36-1 (2015)	38
(4) 生物多様性と持続可能な開発のための教育(ESD)	国連大学	鈴木　　渉	36-1 (2015)	43
	〃	安田左知子		
(5) 開発教育とESD	拓殖大学	石川　一喜	36-1 (2015)	48
(6) エネルギー・資源，気候変動とESD	豊橋技術科学大学	後藤　尚弘	36-1 (2015)	53
[特集]リスク・不確実性とエネルギー政策				
(1) 震災後日本のエネルギー政策	京都大学	植田　和弘	36-2 (2015)	6
(2) 原子力政策とリスク：読めない未来に備えて	長崎大学	鈴木達治郎	36-2 (2015)	11
(3) リスクの視点から見た再生可能エネルギー政策	地球環境産業技術研究機構	山地　憲治	36-2 (2015)	16
(4) エネルギー基本計画の課題と問題点	一橋大学	橘川　武郎	36-2 (2015)	19
(5) 電源の運転リスクと電力システム改革	(株)富士通総研	高橋　　洋	36-2 (2015)	24
(6) エネルギー政策の国際的動向　―米国，中国，ドイツの政策を検証する―	京都大学	山家　公雄	36-2 (2015)	29
(7) 原子力発電所事故が発生した福島のエネルギー政策	いわき明星大学	東　　之弘	36-2 (2015)	35
[特集]民生部門の省エネルギーとその促進策				
(1) 家庭における省エネルギー	東京大学	吉田　好邦	36-3 (2015)	6
(2) 省エネルギーバリアとその解消策―「見える化」などの情報提供に求められるもの―	電力中央研究所	西尾健一郎	36-3 (2015)	10
(3) デマンドレスポンスの実証実験とその結果	京都大学	依田　高典	36-3 (2015)	15
	〃	王　　文杰		
(4) パッシブクーリング手法を複合的に組み合わせた省エネルギー住宅街区設計	(株)ミサワホーム総合研究所	太田　　勇	36-3 (2015)	20
	〃	飯島　雅人		
	〃	平山由佳理		
	〃	佐藤　理人		
(5) 行動変容と省エネルギー	(株)住環境計画研究所	平山　　翔	36-3 (2015)	24
(6) 英国グリーンディール政策	科学技術振興機構	高瀬　香絵	36-3 (2015)	29
(7) 日本版グリーンディールの政策デザイン―グリーン成長を推進する事業体構想―	東京大学	松橋　隆治	36-3 (2015)	34

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
[特集]省エネ化に貢献するパワーデバイスの最新動向				
(1)　パワーデバイスの最新動向	金沢工業大学	小山　正人	36-4 (2015)	12
(2)　進化するシリコンパワーデバイス	富士電機(株)	山﨑　智幸	36-4 (2015)	17
(3)　シリコンパワーデバイス―三菱IGBTモジュール技術―	三菱電機(株)	ﾏｼﾞｭﾑﾀﾞｰﾙ ｺﾞｰﾗﾌﾞ	36-4 (2015)	21
(4)　車載用SiCパワーデバイスの開発動向	(株)デンソー	鶴田　和弘	36-4 (2015)	26
(5)　SiCパワーデバイスの特長と応用	ローム(株)	中原　健	36-4 (2015)	30
	〃	中村　孝		
(6)　GaNパワーデバイス	パナソニック(株)	上田　哲三	36-4 (2015)	35
(7)　酸化ガリウムパワーデバイス研究開発の現状	情報通信研究機構	東脇　正高	36-4 (2015)	39
(8)　ダイヤモンドパワーデバイス	産業技術総合研究所	梅沢　仁	36-4 (2015)	43
[特集]再生可能エネルギーと電力自由化				
(1)　電力システム改革の目的と再生可能エネルギーの位置づけ	東京大学	横山　明彦	36-5 (2015)	8
(2)　内外における電力自由化と再生可能エネルギーに関する動向と課題	電力中央研究所	矢島　正之	36-5 (2015)	13
(3)　自由化後の再生可能エネルギーの大量導入と電力経営	電力中央研究所	服部　徹	36-5 (2015)	18
(4)　日本の広域運用の今後	電力広域的運営推進機関	石坂　匡史	36-5 (2015)	23
(5)　欧州にみる再生可能エネルギーが増大する中での系統問題	海外電力調査会	立松　正幹	36-5 (2015)	27
(6)　自然変動電源・蓄電池のコスト低減見通しと大規模普及に伴う系統安定技術課題	科学技術振興機構	井上　智弘	36-5 (2015)	32
(7)　英国EMR(電力市場改革)が示唆するもの	海外電力調査会	奈良　長寿	36-5 (2015)	37
(8)　電力自由化・FIT(固定価格買取制度)とグリーン電力	日本エネルギー経済研究所	工藤　拓毅	36-5 (2015)	41
(9)　電力自由化に向けた地域主導型再エネビジネスの現状と課題	科学技術振興機構	吉岡　剛	36-5 (2015)	46
[特集]太陽光発電システムの火災リスクと安全性				
(1)　総説:太陽光発電設備の安全に関する課題提出と意見表明(1) ～工学を越えて行動科学による方略へ～	（有）吉富電気	吉富　政宣	36-6 (2015)	10
	産業技術総合研究所	加藤　和彦		
(2)　総説:太陽光発電設備の安全に関する課題提出と意見表明(2) ～工学を越えて行動科学による方略へ～	（有）吉富電気	吉富　政宣	36-6 (2015)	20
	産業技術総合研究所	加藤　和彦		
(3)　消防研究センターの消火活動安全への取組	消防庁消防研究センター	田村　裕之	36-6 (2015)	27
(4)　PVシステム火災と消火活動時の発電停止技術	能美防災(株)	山岸　貴俊	36-6 (2015)	32
(5)　太陽光発電設備における直流電気事故対策	JX日鉱日石エネルギー(株)	石井　隆文	36-6 (2015)	37
(6)　太陽光発電システムの直流電気安全性に関する基盤整備プロジェクト	産業技術総合研究所	大関　崇	36-6 (2015)	45
(7)　太陽光発電の国際標準化	日本電機工業会	吉田　功	36-6 (2015)	50
[特集]エネルギー環境政策のモデル分析				
(1)　政策分析ツールとしてエネルギーモデルの概要	東京理科大学	森　俊介	37-1 (2016)	28
(2)　AIMアジア太平洋統合評価モデル	国立環境研究所	増井　利彦	37-1 (2016)	33
(3)　GTAP多部門動学的一般均衡モデル	高知工科大学	伴　金美	37-1 (2016)	38
(4)　日本経済の一般均衡モデルによる エネルギー・環境政策の評価―1990年代からの経験	慶應義塾大学	野村　浩二	37-1 (2016)	43
(5)　日本エネルギー経済研究所「計量経済モデル」	日本エネルギー経済研究所	柳澤　明	37-1 (2016)	48
(6)　MARKAL(MARKet Allocation)モデル	東京大学	小宮山涼一	37-1 (2016)	52
(7)　統合評価モデルGRAPE	エネルギー総合工学研究所	黒沢　厚志	37-1 (2016)	57
(8)　DNE21＋―世界エネルギー・温暖化対策モデル	地球環境産業技術研究機構	秋元　圭吾	37-1 (2016)	62
[特集]モータにおける省エネルギー・省資源化				
(1)　モータにおける省エネルギー・省資源化の取組み	新エネルギー・産業技術総合開発機構	江森　芳博	37-2 (2016)	11

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(2) トップランナーモータの高性能化技術	三菱電機(株)	仲　興起	37-2 (2016)	16
(3) 永久磁石の高性能化技術	日立金属(株)	丸川　泰弘	37-2 (2016)	21
(4) 高効率化駆動を実現する可変界磁技術	パナソニック(株)	西山　典禎	37-2 (2016)	27
(5) 開発事例1:電気自動車におけるモータ	東海大学	森本　雅之	37-2 (2016)	33
(6) 開発事例2:ロボットにおけるモータ	大阪工業大学	本田　幸夫	37-2 (2016)	39
[特集]Minerals-Energy Nexus(鉱物資源とエネルギーのネクサス)				
(1) 鉱物資源とエネルギーのネクサス	東京大学	村上　進亮	37-3 (2016)	11
	京都大学	Benjamin C. McLellan		
(2) The Mineral Resources-Energy Technologies Nexus: An Optimistic Assessment (鉱物資源とエネルギー技術のネクサス:楽観的な評価)	Monash University	Gavin M. Mudd	37-3 (2016)	15
(3) グリーンエネルギーに必要な海底鉱物資源の開発の現状	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	岡本　信行	37-3 (2016)	21
(4) Energy-Mineral Nexus: Tensions between Integration and Reconfiguration (エネルギーと鉱物のネクサス:統合か再構築か)	University of Technology Sydney	Damien Giurco	37-3 (2016)	26
	〃	Sven Teske		
	〃	Dena Fam		
	〃	Nick Florin		
(5) 低炭素社会に向けたベースメタルの長期的な消費動向―銅の事例を中心に―	東京大学	木下　裕介	37-3 (2016)	32
(6) Complete Utilisation of Coal―Energy, Ash and Rare Metals (石炭の完全利用―エネルギー, 石炭灰, そしてレアメタル)	Kyoto University	Benjamin C. McLellan	37-3 (2016)	37
(7) 太陽光発電に使用される鉱物資源	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	有賀　大輔	37-3 (2016)	43
[特集]今, 内燃機関がおもしろい　～進化するレシプロエンジン～				
(1) 主役を担い続ける内燃機関:特集企画趣旨説明	筑波大学	岡島　敬一	37-4 (2016)	6
(2) SIP革新的燃焼技術の取組―日の丸内燃機関が地球を救う計画―	内閣府	杉山　雅則	37-4 (2016)	7
(3) 自動車用新世代クリーンディーゼルエンジン	マツダ(株)	森永　真一	37-4 (2016)	12
(4) 新型ハイブリッド車用ガソリンエンジンの開発	トヨタ自動車(株)	西浦　博之	37-4 (2016)	17
(5) 大型二輪車用 過給エンジンの開発	川崎重工業(株)	市　聡顕	37-4 (2016)	22
(6) 産業用コージェネ／発電用ガスエンジンの開発	三菱重工業(株)	長船信之介	37-4 (2016)	28
(7) 船舶用エンジンの最新動向　―各国排気ガス規制と対応技術―	ヤンマー(株)	中堀　増博	37-4 (2016)	33
	〃	前谷　一樹		
	〃	滋沢　和男		
	〃	高畑　輝光		
	〃	赤澤　輝行		
	〃	村井　誠		
(8) 自動車用ガソリンエンジン正味熱効率45%達成技術	(株)本田技術研究所	田岸龍太郎	37-4 (2016)	38
	〃	池谷健一郎		
[特集]微粒子とマイクロ／ナノカプセルが拓くエネルギー・資源の未来				
(1) エネルギー・資源・環境分野における材料開発ナノテク材料＜微粒子・マイクロ／ナノカプセル＞への期待	大阪ガス(株)	岸本　章	37-5 (2016)	16
(2) 微粒子とマイクロ／ナノカプセルの製造と応用	新潟大学	田中　眞人	37-5 (2016)	17
(3) 空調負荷軽減と室内環境改善に寄与する調湿性マイクロ／ナノカプセル	都城工業高等専門学校	清山　史朗	37-5 (2016)	22
	宮崎大学	塩盛弘一郎		
(4) 金属イオン抽出機能を持つ抽出剤内包マイクロ／ナノカプセル	宮崎大学	塩盛弘一郎	37-5 (2016)	26
	都城工業高等専門学校	清山　史朗		

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(5) 生分解性物質，廃棄物を利用した機能性微粒子およびマイクロ／ナノカプセル	新潟大学	田口　佳成	37-5 (2016)	32
(6) 脱窒細菌を固定化する多孔質マイクロ／ナノカプセルを用いた硝酸性窒素除去技術の開発	鹿児島大学	吉田　昌弘	37-5 (2016)	37
	〃	武井　孝行		
	(株)MCラボ	幡手　泰雄		
	都城工業高等専門学校	清山　史朗		
	宮崎大学	塩盛弘一郎		
(7) サッチ分解菌内包マイクロ／ナノカプセルを用いた芝生のサッチ層分解の実証試験	(株)MCラボ	幡手　泰雄	37-5 (2016)	41
	鹿児島大学	吉田　昌弘		
	〃	武井　孝行		
(8) 放射性物質による汚染水を浄化する固定化微生物	鹿児島大学	武井　孝行	37-5 (2016)	46
	国立環境研究所	冨岡　典子		
	鹿児島大学	吉田　昌弘		
[特集]エネルギー・資源のこれまでとこれから				
特集:“エネルギー・資源のこれまでとこれから”について	京都大学	手塚　哲央	37-6 (2016)	7
(1) 火力発電プラントの効率向上	三菱重工業(株)	石黒　達男	37-6 (2016)	8
(2) CCS/Uの課題と期待	(株)東芝	斎藤　　聡	37-6 (2016)	10
(3) 代替燃料車の普及に向けた展望	(株)三菱総合研究所	志村雄一郎	37-6 (2016)	12
(4) 省エネと空調設備のせめぎ合い	(株)関電エネルギーソリューション	助飛羅　力	37-6 (2016)	14
(5) セルロース性バイオマスの酵素糖化における現状と課題	大阪府立大学	炭谷　順一	37-6 (2016)	16
(6) 次世代自動車を支える電池技術開発のこれまでとこれから	産業技術総合研究所	谷本　一美	37-6 (2016)	18
(7) 家庭用燃料電池及び水素社会への取り組み	パナソニック(株)	東條　直人	37-6 (2016)	20
(8) エネルギーモデル分析の光と影	電力中央研究所	永田　　豊	37-6 (2016)	22
(9) 新たなエネルギーマネジメントの実現に向けて	関西電力(株)	樋口　誠一	37-6 (2016)	24
(10) これからの燃料電池に求められる役割	東京ガス(株)	藤田顕二郎	37-6 (2016)	26
(11) SDG:持続可能な開発目標」のための資源供給―持続可能な開発のためのエネルギー・資源の役割	京都大学	Benjamin C. McLellan	37-6 (2016)	28
(12) 電気化学デバイスへの期待	三菱電機(株)	光田　憲朗	37-6 (2016)	30
(13) 明日を支える資源:資源制約再訪	東京大学	村上　進亮	37-6 (2016)	32
(14) 建築部門の低炭素化に向けて	横浜国立大学	吉田　　聡	37-6 (2016)	34
(15) エネルギー需要の長期展望を考える	日本エネルギー経済研究所	呂　　正	37-6 (2016)	36
[特集]バイオマス発電への期待と課題				
(1) 超低炭素時代に向けたバイオエネルギーの普及戦略パリ協定＝再エネ加速の時代	(株)日本総合研究所	井熊　　均	38-1 (2017)	19
(2) 自然木を利用した木質バイオマス発電	やまがたグリーンパワー(株)	鈴木　崇之	38-1 (2017)	24
(3) PKS(パームヤシ殻)による木質バイオマス発電事業の運営	イーレックス(株)	上手　大地	38-1 (2017)	29
(4) 清掃工場におけるごみ焼却熱を利用したバイオマス発電	佐賀市	久保山浩稔	38-1 (2017)	33
	〃	渡島　清隆		
(5) 下水道バイオマスを利用した燃料電池発電システム	メタウォーター(株)	山内　　渉	38-1 (2017)	38
	〃	長谷川行教		
(6) バイオマス発電への循環流動層ボイラ適用事例	JFEエンジニアリング(株)	内海　高博	38-1 (2017)	43
(7) 食品廃棄物の飼料化と嫌気性消化発電の複合プラントシステム	三井造船環境エンジニアリング(株)	森本　清幸	38-1 (2017)	47
[特集]エネルギーに関するサイバーセキュリティの現状と対応				
(1) エネルギー・資源分野におけるサイバーリスクの観測と対応	慶應義塾大学	武田　圭史	38-2 (2017)	6
(2) 電力・エネルギー分野のサイバーセキュリティと情報共有～重要インフラ防御の観点から～	パロアルトネットワークス(株)	松原実穂子	38-2 (2017)	11

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(3) 重要インフラのサイバーセキュリティ対策	制御システムセキュリティセンター	新　誠一	38-2 (2017)	17
(4) 電力分野におけるサイバーセキュリティ確保の取組み	電力中央研究所	芹澤　善積	38-2 (2017)	21
(5) 建物設備システムリファレンスガイドについて	(株)竹中工務店	粕谷　貴司	38-2 (2017)	27
(6) Society 5.0の実現に向けたセキュリティーのあり方とエネルギー分野での展望	東京大学	江崎　浩	38-2 (2017)	32
[特集]非ナフサ原料からの化成品製造技術				
(1) 将来の化学品原料源の選択と開発すべき技術	三井化学(株)	市川真一郎	38-3 (2017)	7
	〃	藤田　照典		
(2) メタン化学変換のための革新的触媒開発	神奈川大学	上田　渉	38-3 (2017)	12
(3) ナフサ代替原料を用いたエチレン・プロピレン製造技術メタノールからのエチレン・プロピレン製造およびプロパン脱水素によるプロピレン製造技術	アイシーラボ	室井　髙城	38-3 (2017)	17
(4) 二酸化炭素と水素からのメタノール合成技術	三井化学(株)	村上　雅美	38-3 (2017)	21
(5) 再生可能エネルギーを用いた水素製造技術―光触媒を用いた人工光合成型水分解反応―	東京理科大学	工藤　昭彦	38-3 (2017)	25
(6) 生体触媒によるエタノールおよびプロパノール製造技術	三井化学(株)	和田　光史	38-3 (2017)	30
(7) 生体触媒による木質バイオマスからグルコースへの化学変換	日本製紙(株)	種田　英孝	38-3 (2017)	35
(8) 木質バイオマスの化成品原料への変換技術	産業技術総合研究所	山口　有朋	38-3 (2017)	39
[特集]ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)の過去から現在，未来に向けて				
(1) ゼロ・エネルギー住宅とクリマデザイン	首都大学東京	小泉　雅生	38-4 (2017)	12
(2) 日本の家庭部門に対するエネルギー政策の視点からのゼロエネルギー住宅	法政大学	川久保　俊	38-4 (2017)	17
(3) 住宅メーカーのZEHへの取組み・現状と課題	旭化成ホームズ(株)	栗原　正明	38-4 (2017)	22
(4) ZEHの推進における住宅電気設備の果たす役割と課題	パナソニック(株)	筒井　純治	38-4 (2017)	27
(5) 住まい手の能動的な行動・高度な快をひき出す放射環境デザイン	札幌市立大学	斉藤　雅也	38-4 (2017)	33
(6) ゼロ・エネルギー・マス・カスタム住宅(ゼムク)の国際的動向	メルボルン大学	野口　まさ	38-4 (2017)	38
[特集]地球温暖化対策としてのカーボンプライシングの有効性				
(1) パリ協定で目指される長期ビジョンと政策パッケージ	国立環境研究所	亀山　康子	38-5 (2017)	12
(2) パリ協定実施に向けたカーボンプライシングに関する一考察	日本エネルギー経済研究所	工藤　拓毅	38-5 (2017)	16
(3) 日本でカーボンプライシングの導入は有効か	JFEスチール(株)	手塚　宏之	38-5 (2017)	22
(4) カーボンプライシングの経済分析：事前評価と事後評価	早稲田大学	有村　俊秀	38-5 (2017)	27
(5) EU・カリフォルニア州の教訓を基にした排出量取引制度設計	WWFジャパン	山岸　尚之	38-5 (2017)	34
(6) カーボンプライシングの理論と実際：現在の日本において導入は必要か？	キヤノングローバル戦略研究所	杉山　大志	38-5 (2017)	39
(7) カーボンプライシングの是非論を超えて	東京大学	松橋　隆治	38-5 (2017)	46
(8) 低炭素社会に向けた企業によるCreating Shared Value（CSV）の活用	東京大学	寺西たから	38-5 (2017)	52
[特集]物流における環境イノベーション				
(1) 持続可能な物流システム構築のために ～総論：物流の環境問題と対策～	東京都市大学	増井　忠幸	38-6 (2017)	16
(2) 自動運転トラックの隊列走行：その効果と課題	産業技術総合研究所	津川　定之	38-6 (2017)	24
(3) 気象データを活用した省エネ物流プロジェクト	日本気象協会	小越　久美	38-6 (2017)	29
(4) 商用車のCO_2削減への取り組み	日野自動車(株)	通阪　久貴	38-6 (2017)	34
	〃	石森　崇		
(5) 荷主連携による生産性向上並びに省エネ施策の研究	日本ロジスティクスシステム協会	北條　英	38-6 (2017)	39
	(株)日本能率協会総合研究所	沢江　暁子		
(6) 冷蔵倉庫のノンフロン化と省エネルギー	(株)三菱総合研究所	永村　知之	38-6 (2017)	44
(7) 船舶の燃費改善と船舶運航・性能管理システム	日本海事センター	森本清二郎	38-6 (2017)	49
	〃	坂本　尚繁		

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
[特集]エネルギー需要予測の最新技術				
(1)　エネルギー需要の予測	大阪大学	下田　吉之	39-1 (2018)	26
(2)　家庭の世帯別エネルギー需要予測の方法	電力中央研究所	近藤　修平	39-1 (2018)	30
(3)　世帯群の合計電力需要曲線の推計・予測手法	JXTGエネルギー	森田　圭	39-1 (2018)	35
	名古屋大学	加藤　丈佳		
(4)　ビル等におけるエネルギー需要予測とその利用	竹中工務店	茂手木直也	39-1 (2018)	40
(5)　地域スケールでの業務施設エネルギー需要推計方法	大阪大学	山口　容平	39-1 (2018)	45
	〃	松岡　綾子		
(6)　供給エリア内の電力需要の予測システムと太陽光発電の出力予測	関西電力	松原　雄樹	39-1 (2018)	50
(7)　太陽光発電システムの出力予測の方法	産業技術総合研究所	大竹　秀明	39-1 (2018)	55
[特集]下水道におけるエネルギー・資源の有効利用の現状と将来展望				
(1)　下水道におけるエネルギー・資源の有効利用への期待	日本大学	森田　弘昭	39-2 (2018)	8
(2)　東京都下水道局におけるエネルギー対策の取組	東京都下水道局	渡辺　洋史	39-2 (2018)	15
(3)　運転監視制御システムの高度化による下水処理施設の消費エネルギー削減への取り組み				
	東芝	山中　理	39-2 (2018)	20
(4)　佐賀市下水浄化センターで創る下水道資源の好循環	佐賀市上下水道局	橋本　翼	39-2 (2018)	26
(5)　管路内設置型熱回収技術を用いた下水熱エネルギーの利用	積水化学工業	井上　将男	39-2 (2018)	31
(6)　UF膜ろ過とUV消毒を用いた再生水システムの実証研究	西原環境	永松　真一	39-2 (2018)	36
	〃	小関　進介		
(7)　下水道からリンを回収する取組み	水ing	萩野　隆生	39-2 (2018)	40
	〃	古賀　大輔		
[特集]水素社会形成のための水素キャリア技術の最新動向				
(1)　エネルギーキャリアとしての水素	産業技術総合研究所	竹市　信彦	39-3 (2018)	12
	〃	栗山　信宏		
(2)　国際液化水素サプライチェーンの技術構築の現状	川崎重工業	西村　元彦	39-3 (2018)	15
	〃	水向健太郎		
	〃	洲河　誠一		
(3)　水素供給インフラ技術の現状と課題	岩谷産業	辻上　博司	39-3 (2018)	20
(4)　世界的な水素推進組織Hydrogen Councilの紹介とCouncilによる最新の研究成果の紹介				
	Hydrogen Council/トヨタ自動車	広瀬　雄彦	39-3 (2018)	25
(5)　有機ケミカルハイドライド法水素貯蔵輸送技術と将来の展望	千代田化工建設	岡田　佳巳	39-3 (2018)	30
(6)　水素エネルギーキャリアとしてのアンモニア	住友化学	塩沢　文朗	39-3 (2018)	35
(7)　水素サプライチェーンに資する水素吸蔵合金	日本製鋼所	伊藤　秀明	39-3 (2018)	40
(8)　水素サプライチェーンに資する高圧水素容器	JFEコンテイナー	高野　俊夫	39-3 (2018)	45
[特集] Water-Energy Nexus 水とエネルギーの連環				
(1)　水とエネルギーのネクサス（連環）	京都大学	Benjamin C. McLellan	39-4 (2018)	15
(2)　Water-Energy Nexus: An Assessment of India's Sustainable Energy Future				
	The Celestial Earth	Anindya Bhattacharya	39-4 (2018)	21
	〃	Aksa Antony		
(3)　The Importance of Assessing Cumulative Impacts on Water: CSG Development in Australia				
	The University of Queensland	Sue Vink	39-4 (2018)	26
(4)　水文学から見た水・エネルギー連環の主な要素と最近の研究の動向				
	国立環境研究所	花崎　直太	39-4 (2018)	33
(5)　膜技術を基盤にした新しい水処理と海水淡水化の省エネルギー化	東レ	栗原　優	39-4 (2018)	37
	〃	竹内　弘		
(6)　Energy for Peace：ミャンマーにおける水力ダム開発	東京大学	山口　健介	39-4 (2018)	42
	〃	芳川　恒志		
	University of California	ノア キットナー		

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
[特集] 火力発電の最新動向と今後の展望				
(1)　火力発電の最新動向	電力中央研究所	幸田　栄一	39-5 (2018)	19
(2)　発電用ガスタービン技術の変遷と将来展望	三菱日立パワーシステムズ	羽田　哲	39-5 (2018)	23
(3)　川崎重工における水素焚きガスタービンの開発状況	川崎重工業	堀川　敦史	39-5 (2018)	27
	〃	足利　貢		
	〃	山口　正人		
	〃	堂浦　康司		
(4)　火力発電におけるアンモニア混焼技術の開発	IHI	伊藤慎太朗	39-5 (2018)	31
	〃	石原　咲子		
(5)　ガスタービンへの高温耐摩耗性皮膜:MSCoating技術	三菱電機	井島　喬志	39-5 (2018)	36
	〃	湯澤　隆		
(6)　ガスエンジンの最新動向	ヤンマー	中園　徹	39-5 (2018)	40
[特集] 液体から固体へと進化する電気化学エネルギーデバイス				
(1)　液体から固体へと進化する電気化学エネルギーデバイス	三菱電機	光田　憲朗	39-6 (2018)	13
(2)　水素社会実現に向けたパナソニックの取り組み	パナソニック	菅原　靖	39-6 (2018)	14
(3)　エネファーム用SOFCの実用化	京セラ	牟禮　辰洋	39-6 (2018)	19
	〃	角田　裕次		
	〃	小野　孝		
	〃	大嶋　仁英		
(4)　地球温暖化問題と固体酸化物形燃料電池（SOFC）	産業技術総合研究所	嘉藤　徹	39-6 (2018)	23
(5)　全固体リチウム電池の進展	大阪府立大学	林　晃敏	39-6 (2018)	28
	〃	作田　敦		
	〃	辰巳砂昌弘		
(6)　油入り高圧進相コンデンサ	九州指月	福山　晋	39-6 (2018)	33
	指月電機製作所	前畑　安志		
(7)　チップ積層セラミックコンデンサの技術動向	村田製作所	仲山　吉洋	39-6 (2018)	37
[特集] 鉄道とエネルギー				
(1)　鉄道とエネルギー（総論）	東京大学	横山　明彦	40-1 (2019)	33
(2)　鉄道輸送を支える電力ネットワーク	東日本旅客鉄道	久保　公人	40-1 (2019)	37
(3)　東海道新幹線車両の技術開発と省エネルギー	東海旅客鉄道	佐藤　賢司	40-1 (2019)	42
(4)　鉄道エネルギーソリューションと省エネ鉄道システム	東芝インフラシステムズ	小泉　善裕	40-1 (2019)	47
(5)　駅舎補助電源装置（S-EIV）	三菱電機	藤田　敬喜	40-1 (2019)	52
(6)　蓄電池応用駆動システムの開発と展望	日立製作所	永浦　康弘	40-1 (2019)	57
	〃	吉田　努		
	九州旅客鉄道	畑中　宏文		
	JR九州エンジニアリング	池田　弥郁		
	東日本旅客鉄道	有賀　洋三		
(7)　列車運行の消費電力を予測するシミュレータの開発	鉄道総合技術研究所	池田　充	40-1 (2019)	62
	〃	武内　陽子		
	〃	小川　知行		
	〃	森本　大観		
[特集]植物工場の進化と将来展望				
(1)　人工光型を中心とした植物工場の現状と今後の展開の可能性	大阪府立大学	増田　昇	40-2 (2019)	14
(2)　LED光照射による植物の成長と形態の制御	電力中央研究所	地子　智浩	40-2 (2019)	20
(3)　植物工場での薬用植物生産	千葉大学	彦坂　晶子	40-2 (2019)	25
(4)　農業における IoT ／ AI の活用と植物工場の将来性	産業技術総合研究所	谷川　民生	40-2 (2019)	30
(5)　食品廃棄物の低減に貢献する人工光型植物工場を目指して	パナソニック	八谷　佳明	40-2 (2019)	35
(6)　赤色青色LED交互照射（S法）による高速栽培とコストダウン効果	昭和電工	鈴木　廣志	40-2 (2019)	40

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(7) 物質循環とエネルギー有効利用を目指した植物生産システム	大阪府立大学	北宅 善昭	40-2 (2019)	45
	〃	遠藤 良輔		
	〃	大山 克己		
[特集]進展するCCS技術と今後の展望				
(1) 地球温暖化対策におけるCCSへの期待と取り巻く状況	経済産業省	岡島 拓郎	40-3 (2019)	13
(2) CO_2 排出削減に向けた研究開発の動向	新エネルギー・産業技術総合開発機構	布川 信	40-3 (2019)	19
(3) CO_2地中貯留技術開発の動向	地球環境産業技術研究機構	薛 自求	40-3 (2019)	24
(4) 苫小牧におけるCCS大規模実証試験事業の現況について	日本CCS調査	田中 豊	40-3 (2019)	28
(5) 化学吸収法によるCO_2分離・回収技術の開発状況	関西電力	中神 保秀	40-3 (2019)	34
(6) 海外におけるCCSプロジェクトの動向	グローバルCCSインスティテュート	南坊 博司	40-3 (2019)	38
	〃	村上 泰郎		
(7) CO_2地中貯留（CCS）と社会受容	産業技術総合研究所	田中 敦子	40-3 (2019)	43
[特集]急速進展する日本の電力システム改革の進捗と展望				
(1) 電力システム改革の概要と取り巻く状況	一橋大学	山内 弘隆	40-4 (2019)	16
(2) ベースロード市場の意義と課題	電力中央研究所	服部 徹	40-4 (2019)	20
(3) 連系線利用ルールの見直しと展望	横浜国立大学	大山 力	40-4 (2019)	24
(4) 容量市場の概要と展望	日本エネルギー経済研究所	小笠原潤一	40-4 (2019)	29
(5) 需給調整市場の概要と展望	日本エネルギー経済研究所	永富 悠	40-4 (2019)	34
(6) 非化石価値取引市場の現状と展望	電力中央研究所	朝野 賢司	40-4 (2019)	39
(7) 電気料金の経過措置撤廃：概要と展望	東京大学	大橋 弘	40-4 (2019)	44
(8) 再生可能エネルギー大量導入時代の電力市場の課題と展望	東京大学	荻本 和彦	40-4 (2019)	49
[特集]建築物（非住宅）の省エネルギー施策と最新の技術動向				
(1) 建築物の省エネルギー施策（総括）	国土交通省	高梨 潤	40-5 (2019)	10
	経済産業省	粟津 浩介		
(2) 建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部を改正する法律について	国土交通省	高梨 潤	40-5 (2019)	15
(3) ZEB普及に向けた国内外の動向	ベターリビング	新倉 隆宏	40-5 (2019)	19
(4) BELS（建築物省エネルギー性能表示制度）の概要について	住宅性能評価・表示協会	宇治田裕子	40-5 (2019)	23
(5) 建築物の総合環境性能評価システム「CASBEE」	建築環境・省エネルギー機構	早津 隆史	40-5 (2019)	27
(6) 外皮性能の向上と自然エネルギーの利用	東京大学	清家 剛	40-5 (2019)	31
(7) ヒューマンファクターを考慮した空調システムの省エネ・快適性技術	立命館大学	近本 智行	40-5 (2019)	36
(8) LED×照明制御×照明ソフトによる照明システムの省エネルギー	パナソニック	岩井 彌	40-5 (2019)	41
[特集]日本のエネルギー関連技術イノベーション戦略（その1）				
(1) STI（Science, Technology and Innovation）構想とSTS（Science, Technology and Sustainability）構想の調和：協創的競争の場を創るために	青山学院大学	菊池 純一	40-6 (2019)	12
(2) エネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネス（ERAB）の取り組み	早稲田大学	石井 英雄	40-6 (2019)	17
(3) 次世代技術を活用した新たな電力プラットフォーム	大阪大学	西村 陽	40-6 (2019)	22
(4) 日本型オープンイノベーションによる次世代パワーエレクトロニクス技術開発	産業技術総合研究所	奥村 元	40-6 (2019)	27
(5) スマートモビリティの動向に関する一考察	横浜国立大学	中村 文彦	40-6 (2019)	33
(6) 再生可能エネルギーの貯蔵・輸送のための水素技術	産業技術総合研究所	坂西 欣也	40-6 (2019)	38
[創立40周年記念特集]エネルギー・資源の未来展望（随想）				
(1) 都市鉱山 金属リサイクルが拓く持続可能な社会づくり	サステイナビリティ技術設計機構	原田 幸明	41-1 (2020)	15
(2) CCSとCCU－脱炭素社会を目指すために	九州大学	赤井 誠	41-1 (2020)	18
(3) 資源情勢と資源経済学	秋田大学	安達 毅	41-1 (2020)	20
(4) 国連気候変動交渉 －成果と今後の課題－	東京大学	有馬 純	41-1 (2020)	22
(5) 全国の自治体における持続可能な開発目標（SDGs）の取り組み	法政大学	川久保 俊	41-1 (2020)	24

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(6) 石油危機に遭遇し，我が人生は太陽光発電へ	東京農工大学	黒川　浩助	41-1 (2020)	26
(7) 水素を利用する地産地消エネルギーシステム	東北大学	河野　龍興	41-1 (2020)	28
(8) 熱エネルギー雑感	電力中央研究所	齋川　路之	41-1 (2020)	30
(9) 低・脱炭素社会に向けたメタネーションの意義	日本エネルギー経済研究所	柴田　善朗	41-1 (2020)	32
(10) 脱炭素のまちづくりに向けて	竹中工務店	下　正純	41-1 (2020)	34
(11) エネルギー関連の学術の展望	大阪大学	下田　吉之	41-1 (2020)	36
(12)「金融3原則」が拓くサステナブルファイナンスの時代	国連環境計画・金融イニシアティブ	末吉竹二郎	41-1 (2020)	38
(13) エネルギー技術イノベーションと科学的エビデンス	東京大学	杉山　昌広	41-1 (2020)	40
(14) エネルギーと資源に係わるSocial Equityの重要性	九州大学	Andrew John Chapman	41-1 (2020)	42
(15) エネルギー・資源・環境システムの複合領域研究再考	京都大学	手塚　哲央	41-1 (2020)	44
(16) 非化石燃料の燃焼が支える未来社会	大阪大学	中塚　記章	41-1 (2020)	46
	〃	赤松　史光		
(17) 地球上の貴重な資源	関西電力	花田　敏城	41-1 (2020)	48
(18) 狭すぎる空間で暮らしていく人間へ －産業連関分析の視点から－	慶應義塾大学	早見　均	41-1 (2020)	50
(19) 化学工学におけるSDGs達成への取り組み －効率性から充足性へ－	東京大学	平尾　雅彦	41-1 (2020)	52
(20) 家庭用燃料電池の商品化と将来展望	九州大学	本田　國昭	41-1 (2020)	54
(21) エネルギー・資源におけるバイオマスとしての食品からの考察	帝塚山学院大学	宮武　和孝	41-1 (2020)	56
(22) エネルギーよもやま話	三菱日立パワーシステムズ	山内　康弘	41-1 (2020)	58
[特集]日本のエネルギー関連技術イノベーション戦略（その2）				
(1) イノベーション志向プロジェクトとマネジメントのあり方	東京工業大学	岡崎　健	41-2 (2020)	8
(2) 自動車における内燃機関の高効率化とその役割に関する将来展望	早稲田大学	大聖　泰弘	41-2 (2020)	12
(3) 宇宙太陽光発電システムの長期に亘る研究開発の進め方	宇宙航空研究開発機構	牧野　克省	41-2 (2020)	18
	〃	相馬央令子		
(4) 砂層型メタンハイドレート資源開発のR&D	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	山本　晃司	41-2 (2020)	23
	産業技術総合研究所	天満　則夫		
	日本メタンハイドレート調査	阿部　正憲		
(5) 次世代鉄道システムを創る超電導技術	鉄道総合技術研究所	富田　優	41-2 (2020)	28
(6) 終章:これからの科学技術・イノベーション政策にむけて	科学技術振興機構	森　俊介	41-2 (2020)	33
[特集]人工光合成研究の最前線				
(1) 人工光合成とは	東京理科大学	工藤　昭彦	41-3 (2020)	12
(2) 産業界からみた“人工光合成”	三菱ケミカル	瀬戸山　亨	41-3 (2020)	15
(3) 大規模展開にむけた水の光分解の高活性光触媒	東京大学	山田　太郎	41-3 (2020)	20
	〃	堂免　一成		
(4) 可視光水分解のための光触媒材料開発	京都大学	鈴木　肇	41-3 (2020)	25
	〃	阿部　竜		
(5) 分子性錯体触媒を修飾したTiO_2電極による水の完全分解	九州大学	小澤　弘宜	41-3 (2020)	30
	〃	酒井　健		
(6) 酸化イリジウムのナノ構造制御による酸素発生アノード触媒の開発	新潟大学	坪ノ内優太	41-3 (2020)	36
	〃	江尾　達矢		
	〃	八木　政行		
(7) 粉末半導体光触媒および光電極系による水を電子源としたCO_2還元	東京理科大学	吉野　隼矢	41-3 (2020)	43
	〃	工藤　昭彦		
(8) 人工光合成による水素と有用化学品製造 －酸化物光触媒および光電極を用いたPower-to-X’の実現へ－	産業技術総合研究所	佐山　和弘	41-3 (2020)	49
[特集]デジタル時代の建築分野における環境設計				
(1) デジタル時代の建築分野における環境設計	日建設計	安井　謙介	41-4 (2020)	17

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(2) BIMによるMORE LESS BETTERの実現	オートデスク	菱田　哲也	41-4 (2020)	22
	〃	羽山　拓也		
(3) BIM時代のPassive House設計手法について	杉浦洋平建築設計事務所	杉浦　洋平	41-4 (2020)	27
(4) 建築デザインのための環境シミュレーション，その現状と課題 －BIMと コミッショニング－				
	明治大学	川島　範久	41-4 (2020)	34
(5) 3Dプリンター技術の大型構造物への展開	大林組	金子　智弥	41-4 (2020)	42
(6) IoTセンサを用いた家庭内計測とデータ活用事例	電力中央研究所	服部　俊一	41-4 (2020)	47
[特集]洋上風力発電の最前線				
(1) 洋上風力発電への期待と課題	足利大学	牛山　　泉	41-5 (2020)	16
(2) NEDOの取組みと洋上風力発電の展望	新エネルギー・産業技術総合開発機構	佐々木　淳	41-5 (2020)	21
	〃	加藤　茉里		
(3) 日本における持続可能な洋上風力発電の開発	MHI Vestas Offshore Wind	山田　正人	41-5 (2020)	26
(4) 浮体式洋上風力向けダイナミックケーブルの開発	住友電気工業	鈴木　孝幸	41-5 (2020)	31
	〃	阿部　和俊		
(5) 大型洋上風車建設に対応する自航式SEP船	清水建設	白枝　哲次	41-5 (2020)	36
(6) ナセル搭載LIDARによる風車制御高度化	産業技術総合研究所	川端　浩和	41-5 (2020)	41
(7) 洋上風力のためのリアルタイム気象・海象予測システム				
	伊藤忠テクノソリューションズ	吉田　健二	41-5 (2020)	46
[特集]カーボンリサイクルの最新動向				
(1) カーボンリサイクル政策の現状と今後の方向性	経済産業省	土屋　博史	41-6 (2020)	13
(2) CO_2の電気分解によるカーボンリサイクル	東京工業大学	加藤　之貴	41-6 (2020)	18
	〃	髙須　大輝		
(3) 二酸化炭素から有用化学品を製造する触媒技術開発	産業技術総合研究所	深谷　訓久	41-6 (2020)	23
	〃	藤谷　忠博		
	〃	崔　　準哲		
(4) 再生可能エネルギーによるCO_2からのメタン製造技術	日立造船	泉屋　宏一	41-6 (2020)	28
	〃	高野　裕之		
	〃	四宮　博之		
	〃	熊谷　直和		
(5) コンクリートの炭酸化によるCCU『CO_2 -SUICOM』	鹿島建設	取違　　剛	41-6 (2020)	33
(6) ネガティブエミッション技術	エネルギー総合工学研究所	加藤　悦史	41-6 (2020)	38
(7) 三川発電所（バイオマス）における環境配慮型CCS実証事業				
	東芝エネルギーシステムズ	斎藤　　聡	41-6 (2020)	42
[特集]産業電化が拓く省エネ・低炭素社会				
(1) “産業電化”による省エネ・脱炭素イノベーションの実現				
	日本エレクトロヒートセンター	内山　洋司	42-1 (2021)	25
(2) 産業用ヒートポンプの普及と将来動向	名古屋大学	渡邉　澂雄	42-1 (2021)	30
(3) 赤外加熱技術の最新動向	関東学院大学	中野　幸夫	42-1 (2021)	35
(4) 高圧ボンベ製造工程の電化への取り組み	関西電力	井上　和茂	42-1 (2021)	40
	タイチク	松田　　勇		
	高圧昭和ボンベ	伊達健太郎		
(5) “熱のリサイクル”を応用した排水濃縮・減容工程での省エネ革新				
	日本エレクトロヒートセンター	坂口　勝俊	42-1 (2021)	45
	ササクラ	井上　智裕		
(6) 塗装乾燥熱源への赤外線加熱導入による生産性およびエネルギー効率向上				
	日本エレクトロヒートセンター	坂口　勝俊	42-1 (2021)	50
(7) 産業電化の生産性便益と脱炭素化に向けた取組の検討	電力中央研究所	向井登志広	42-1 (2021)	55

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
[特集]脱炭素への道をつなぐ天然ガスの新規・高度利用				
(1)　天然ガスおよび都市ガス事業を取り巻く状況と2050年カーボンニュートラルに向けて期待される役割	経済産業省	下堀　友数	42-2 (2021)	13
	〃	清水　哲也		
	〃	向井　　猛		
(2)　定置用燃料電池の技術動向と低炭素・脱炭素への貢献	産業技術総合研究所	水谷　安伸	42-2 (2021)	17
(3)　高効率発電と低消費エネルギーCO_2回収を実現する燃料電池	東京ガス	波多江　徹	42-2 (2021)	21
(4)　再エネ調整力としてのコージェネレーションの活用	東京大学	小宮山涼一	42-2 (2021)	25
(5)　LNG燃料船の導入状況およびLNGバンカリングの動向	商船三井	青山　憲之	42-2 (2021)	30
	〃	遠藤　　尚		
(6)　産業用熱源における天然ガスへの大規模燃料転換	Daigasエナジー	山本　裕介	42-2 (2021)	34
(7)　メタンの熱分解による水素製造技術の開発	産業技術総合研究所	高木　英行	42-2 (2021)	38
	〃	斉田　愛子		
	〃	倉本　浩司		
[特集]2050年のエネルギー需給				
(1)　特集2050年のエネルギー需給　総論	東京大学	荻本　和彦	42-3 (2021)	8
＜需給・循環・制度＞				
(2)　我が国の脱炭素社会検討における社会経済シナリオ	国立環境研究所	日比野　剛	42-3 (2021)	12
	みずほリサーチ＆テクノロジーズ	平山　智樹		
(3)　日本の長期気候政策の複数モデルによる評価	東京大学	杉山　昌広	42-3 (2021)	14
(4)　日本の長期CO_2削減とネガティブエミッションの役割	エネルギー総合工学研究所	黒沢　厚志	42-3 (2021)	16
	〃	加藤　悦史		
(5)　電力部門の脱炭素化に向けて	日本エネルギー経済研究所	松尾　雄司	42-3 (2021)	18
	東京大学	荻本　和彦		
(6)　ニューノーマルによる脱炭素型まちづくりとは？ ～次世代型ライフスタイルの変容～				
	茨城大学	吉田友紀子	42-3 (2021)	20
	国立環境研究所	平野勇二郎		
(7)　気候変動，持続可能性と将来社会展望	埼玉大学	外岡　　豊	42-3 (2021)	22
(8)　ネット・ゼロ:欧米の取り組みからの示唆	東京大学	杉山　昌広	42-3 (2021)	24
	NewClimate Institute	倉持　　壮		
	東京大学	高村ゆかり		
＜資源・供給・ネットワーク＞				
(9)　気象データと太陽光発電データセットの構築	東京大学	隈　　健一	42-3 (2021)	26
	産業技術総合研究所	大竹　秀明		
(10) 太陽光及び風力発電の将来ポテンシャル	産業技術総合研究所	大関　　崇	42-3 (2021)	28
	〃	嶋田　　進		
(11) 2050年に向けた再生可能炭素源としてのバイオマス	広島大学	松村　幸彦	42-3 (2021)	30
(12) 原子力発電の未来をマーケティングする ～経済価値の視点から～				
	日本エネルギー経済研究所	柴田　智文	42-3 (2021)	32
	〃	村上　朋子		
	〃	木村　謙仁		
(13) 脱炭素エネルギーシステムにおける水素と合成燃料の役割				
	地球環境産業技術研究機構	秋元　圭吾	42-3 (2021)	34
	〃	佐野　史典		
	〃	金星　春夫		
(14) 脱炭素化・レジリエンス強化に向けた電力ネットワーク形成の方向性	東京大学	小宮山涼一	42-3 (2021)	36
＜需要＞				
(15) 需要側の気候変動対策としての電化とその課題	電力中央研究所	西尾健一郎	42-3 (2021)	38
(16) 脱炭素化へ向けた電気自動車の貢献	日産自動車	松本　幹雄	42-3 (2021)	40

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(17) 民生部門の脱炭素化へ向けた課題	大阪大学	下田　吉之	42-3 (2021)	42
	〃	山口　容平		
(18) 産業部門の脱炭素化へ向けた課題	三菱総合研究所	井上　裕史	42-3 (2021)	44
(19) 需要家側資源活用の可能性	東京大学	岩船由美子	42-3 (2021)	46
[特集]温暖化対策と電力系統安定化に寄与する水力発電				
(1) 脱炭素社会にむけた水力発電システムの役割	早稲田大学	宮川　和芳	42-4 (2021)	15
(2) 大型水力発電システムの最新技術	日立三菱水力	谷　清人	42-4 (2021)	20
	〃	田村　悠太		
(3) 大型水力発電システムの運用技術	電源開発	笠松　隼樹	42-4 (2021)	25
	〃	堀川　祥吾		
(4) 揚水発電技術	東芝エネルギーシステムズ	森　淳二	42-4 (2021)	30
(5) 再エネ大量導入下の揚水発電の運用とポテンシャル	九州電力送配電	緒方　和彦	42-4 (2021)	35
(6) 小水力・マイクロ水力発電の最新技術	信州大学	飯尾昭一郎	42-4 (2021)	40
	早稲田大学	宮川　和芳		
(7) 中小水力発電の導入促進に向けた取組み	新エネルギー財団	組橋　圭介	42-4 (2021)	46
	〃	橋本　雅一		
	〃	齊藤　公道		
[特集]アンモニア合成の新展開				
(1) 特集にあたって	三菱電機	光田　憲朗	42-5 (2021)	16
(2) ケミカルリサイクルを用いたH.B.法によるアンモニア合成	昭和電工	栗山　常吉	42-5 (2021)	17
(3) エレクトライドを用いたアンモニア合成触媒	東京工業大学	細野　秀雄	42-5 (2021)	20
(4) 溶融塩を用いた常圧アンモニア電解合成	アイ’エムセップ	伊藤　靖彦	42-5 (2021)	25
(5) Ru触媒，水素透過膜，リン酸塩電解質を用いた窒素と水からのアンモニア電解合成				
	福岡大学	久保田　純	42-5 (2021)	30
(6) 電界印加した触媒上でのアンモニア合成法の研究	早稲田大学	関根　泰	42-5 (2021)	34
(7) 光触媒による水と窒素ガスからのアンモニア合成	大阪大学	白石　康浩	42-5 (2021)	38
	〃	平井　隆之		
(8) リチウムの機能性を利用した常圧アンモニア合成技術の研究	広島大学	宮岡　裕樹	42-5 (2021)	42
	〃	新里　恵多		
[特集]エネルギー分野におけるデジタル技術活用①（供給サイド）				
(1) 特集にあたって	関西電力	西　順也	42-6 (2021)	14
(2) エネルギー分野におけるデジタル技術の活用	KPMGコンサルティング	巽　直樹	42-6 (2021)	15
(3) 火力発電所における巡視点検自動化システムの開発について	関西電力	花登　弘和	42-6 (2021)	19
	〃	五十嵐一真		
	〃	松山　瑛吾		
(4) 再生可能エネルギー発電出力の推定・予測技術	気象工学研究所	高田　望	42-6 (2021)	23
(5) 日本の電力市場におけるアルゴリズム取引の実現可能性				
	エネルギー経済社会研究所	松尾　豪	42-6 (2021)	28
	〃	志賀　智之		
(6) ブロックチェーン技術は再エネトラッキング，電力証書発行・取引に有効か？				
	L03 Energy	大串　康彦	42-6 (2021)	33
[特集]エネルギー分野におけるデジタル技術活用②（需要サイド）				
(1) 特集にあたって	東京大学	吉田　好邦	43-1 (2022)	29
	パナソニック	内藤　康幸		
(2) AIによるエネルギー需要予測	東芝	進　博正	43-1 (2022)	30
	東芝エネルギーシステムズ	志賀　慶明		
	〃	大場　健史		
(3) 太陽光発電の発電予測の最近動向	産業技術総合研究所	高松　尚宏	43-1 (2022)	34
	〃	大竹　秀明		
	〃	大関　崇		

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(4)　デジタル技術を用いた家庭用蓄電池	Looop	渡邊裕美子	43-1 (2022)	40
(5)　MBD活用デジタル制御の太陽光発電・水素製造システム	NTTエレクトロニクスクロステクノロジ	中島　善康	43-1 (2022)	44
	名古屋大学	米澤　遊		
	宮崎大学	太田　靖之		
	〃	西岡　賢佑		
(6)　HEMSによるエネルギー需要マネジメント	ミサワホーム総合研究所	飯島　雅人	43-1 (2022)	50
(7)　スマートビル実現にBEMSが抱える課題と今後の期待	東京大学	宮田　翔平	43-1 (2022)	55
	〃	赤司　泰義		
[特集]持続可能なまちづくり				
(1)特集にあたって	早稲田大学	鷲津　明由	43-2 (2022)	16
	CDP Worldwide-Japan	高瀬　香絵		
(2)脱炭素化に向けた地方公共団体の取組について	環境省	澁谷　　潤	43-2 (2022)	17
(3)自治体新電力の意義と課題	ローカルグッド創成支援機構	稲垣　憲治	43-2 (2022)	20
(4)能勢・豊能町におけるエネルギーを軸としたまちづくりへの挑戦	能勢・豊能まちづくり	榎原　友樹	43-2 (2022)	25
(5)生きるを楽しむ西粟倉村の持続可能なまちづくり	エックス都市研究所	河野　有吾	43-2 (2022)	29
(6)進化し続ける街「みなとみらい21」	横浜みなとみらい21	古木　　淳	43-2 (2022)	34
(7)ネクステムズが宮古島で目指すカーボンニュートラルへの道	ネクステムズ	比嘉　直人	43-2 (2022)	39
(8)電力と交通のセクターカップリングによる地域エネルギーマネジメントー宇都宮市での取組を中心にー	早稲田大学	石井　英雄	43-2 (2022)	44
	〃	藤本　　悠		
	〃	光岡　正隆		
	〃	林　　泰弘		
[特集]再生可能エネルギーを貯蔵するための水電解水素製造技術				
(1)特集にあたって	産業技術総合研究所	安田　和明	43-3 (2022)	12
(2)水電解水素製造の概要とその基盤技術	横浜国立大学	光島　重徳	43-3 (2022)	13
	〃	黒田　義之		
(3)水電解水素製造技術に関する政策動向	新エネルギー・産業技術総合開発機構	大平　英二	43-3 (2022)	18
(4)水電解技術によるグリーン水素製造に関する最近の世界動向	みずほリサーチ＆テクノロジーズ	仮屋　夏樹	43-3 (2022)	22
	〃	松田　　彩		
	〃	米田　雅一		
(5)大型アルカリ水電解システム Aqualyzer の開発	旭化成	内野　陽介	43-3 (2022)	27
	〃	藤田　泰宏		
(6)固体高分子電解質膜(PEM) を用いた水電解式水素発生装置	神鋼環境ソリューション	小野田草介	43-3 (2022)	33
(7)高温水蒸気電解法による高効率水素製造技術	東芝エネルギーシステムズ	長田　憲和	43-3 (2022)	37
(8)産業技術総合研究所における水電解水素製造技術の研究開発	産業技術総合研究所	五百蔵　勉	43-3 (2022)	41
	〃	五舛目清剛		
	〃	小島　宏一		
	〃	伊藤　　博		
	〃	岸本　治夫		
[特集]サーキュラー・エコノミーの今とこれから				
(1)特集にあたって	東京大学	村上　進亮	43-4 (2022)	21
(2)EUのCircular Economy政策に関わる主要トレンド	日本生産性本部	喜多川和典	43-4 (2022)	22
(3)製品設計とサーキュラー・エコノミー	東京大学	梅田　　靖	43-4 (2022)	28
(4)Product-Service Systemsの数理的モデリングに向けて	東京大学	西野　成昭	43-4 (2022)	33
	〃	木見田康治		
(5)Circularity(循環性)の評価とカーボンニュートラル	東京大学	村上　進亮	43-4 (2022)	40

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(6)EV車載電池で進むCE市場化の取り組み	日本総合研究所	木通　秀樹	43-4 (2022)	44
(7)太陽光発電設備のサーキュラーエコノミーに向けた取り組み				
	みずほリサーチ&テクノロジーズ	小林　元	43-4 (2022)	49
	〃	河本　桂一		
[特集]建築・都市におけるカーボンニュートラル（CN）推進の動向				
(1)特集にあたって	立命館大学	近本　智行	43-5 (2022)	15
	竹中工務店	坂口　佳史		
＜全体の動向＞				
(2)脱炭素社会に向けた住宅・建築行政における動向・総論	国土交通省	今村　敬	43-5 (2022)	16
(3)カーボンニュートラルに向けて	早稲田大学	田辺　新一	43-5 (2022)	22
＜環境整備＞				
(4)ESG不動産投資推進のための環境整備	千葉大学	林　立也	43-5 (2022)	29
(5)建築設備におけるDXと環境整備	東京電機大学	百田　真史	43-5 (2022)	33
(6)カーボンニュートラルに人々をどのように巻き込むのか－市民参加・学生との協働－				
	千葉大学	倉阪　秀史	43-5 (2022)	37
(7)ZEBからカーボンニュートラルへ	日建設計総合研究所	丹羽　英治	43-5 (2022)	41
＜カーボンニュートラル（CN）の取組み＞				
(8)大学が“隗より始める”脱炭素社会	千葉商科大学	浜島　直子	43-5 (2022)	45
(9)水素を活用したカーボンニュートラルの取組み	清水建設	下田　英介	43-5 (2022)	47
(10)カーボンニュートラルに資するオフィスでのウェルネス向上の取組み	竹中工務店	徳村　朋子	43-5 (2022)	49
(11)省エネルギーとウェルネスの両立に関する取り組み－鹿島建設社員寮建替計画を通して－				
	鹿島建設	沖林　拓実	43-5 (2022)	51
	〃	大西　健一	43-5 (2022)	
[特集]2050年のエネルギー需給への変革の方向性				
(1)特集2050年のエネルギー需給への変革の方向性 総説	東京大学	荻本　和彦	43-6 (2022)	14
(2)2050年のエネルギー供給:電力部門の展望	東京大学	杉山　昌広	43-6 (2022)	19
	立命館アジア太平洋大学	松尾　雄司		
	自然エネルギー財団	木村誠一郎		
	産業技術総合研究所	櫻井啓一郎		
	日本原燃	田中　治邦		
	電力中央研究所	永井　雄宇		
	京都大学	安田　陽		
(3)2050年のエネルギー需要の姿	東京大学	岩船由美子	43-6 (2022)	26
	エネルギー総合工学研究所	黒沢　厚志		
(4)エネルギー変革期におけるレジリエンスの確保	成城大学	平野　創	43-6 (2022)	32
	ENEOS	古關　惠一		
(5)2050年カーボンニュートラルに向けた今後の取組の方向性	三菱総合研究所	井上　裕史	43-6 (2022)	37
(6)座談会:エネルギー変革に向けた取り組み	滋賀県立大学	白木　裕斗	43-6 (2022)	42
	東京電力ホールディングス	戸田　直樹		
	立命館アジア太平洋大学	松尾　雄司		
	京都大学	諸富　徹		
	（司会）東京大学	杉山　昌広		
[特集]光エネルギーによる化学変換の最前線				
(1)特集にあたって	大阪大学	安田　誠	44-1 (2023)	19
	ファンクショナル・フルイッド	藤岡　惠子		
(2)金属錯体化学を基盤とした高効率CO_2還元触媒の創成	大阪大学	小杉　健斗	44-1 (2023)	20
	〃	近藤　美欧		
	〃	正岡　重行		

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(3)太陽光と水でCO_2を資源に！-1m^2サイズの高効率人工光合成セル-	豊田中央研究所	加藤　直彦	44-1 (2023)	26
	〃	竹田　康彦		
	〃	森川　健志		
(4)色素増感Zスキーム水分解による太陽光エネルギー変換	東京工業大学	西岡　駿太	44-1 (2023)	31
	〃	前田　和彦		
(5)プラズモンーナノ共振器のモード強結合を用いた人工光合成	北海道大学	三澤　弘明	44-1 (2023)	36
(6)人工光合成の要素技術としてのCO_2電解還元	大阪大学	神谷　和秀	44-1 (2023)	41
	〃	中西　周次		
(7)太陽光・可視光エネルギーが駆動する光触媒的精密有機合成	日本工業大学	小池　隆司	44-1 (2023)	46
[特集]カーボンニュートラルに向けた微細藻類の利用				
(1)特集にあたって	東京大学	吉田　好邦	44-2 (2023)	13
(2)微細藻類バイオマスリファイナリーへの新たな挑戦	東京大学	三谷　啓志	44-2 (2023)	14
(3)微細藻類のスクリーニングによる高生産株の探索	東京大学	細川　聡子	44-2 (2023)	18
	〃	河野　重行		
(4)非多孔中空糸膜による微細藻類への超効率的CO_2供給法の開発	中央大学	山村　　寛	44-2 (2023)	23
(5)水熱技術による微細藻類からの燃料抽出と残渣利用	東京大学	秋月　　信	44-2 (2023)	29
(6)微細藻類由来の油脂の燃料化	信州大学	嶋田五百里	44-2 (2023)	34
(7)微細藻類を用いた新しいバイオリファイナリープロセス	ユーグレナ	鈴木　健吾	44-2 (2023)	39
	〃	豊川　知華		
(8)微細藻類を利用したカーボンリサイクルシステム	コスモエンジニアリング	高岡　尚生	44-2 (2023)	44
[特集]太陽放射改変と大気からの二酸化炭素除去：展望と課題				
(1)特集にあたって	東京大学	藤井　康正	44-3 (2023)	8
(2)気候変動対策のポートフォリオの観点から考える二酸化炭素除去と太陽放射改変	東京大学	杉山　昌広	44-3 (2023)	9
(3)太陽放射改変ガバナンスのレビュー	東京大学	杉山　昌広	44-3 (2023)	14
(4)太陽放射改変の科学的理解の現状と課題	海洋研究開発機構	渡辺　真吾	44-3 (2023)	19
(5)残されたバジェットを超過するとき：負債のメタファーから読み解く二酸化炭素除去と太陽放射改変の役割	国立環境研究所	朝山慎一郎	44-3 (2023)	24
(6)太陽放射改変の副次的影響を考慮した統合評価の動向	立命館大学	小杉　隆信	44-3 (2023)	29
(7)二酸化炭素除去の必要性とその統合評価	エネルギー総合工学研究所	加藤　悦史	44-3 (2023)	34
(8)バイオマスシステムによる炭素除去の可能性と課題：実装に向けた世界の現状分析から	自然エネルギー財団	相川　高信	44-3 (2023)	40
[特集]重工業におけるエネルギー・トランジションへの取り組み				
(1)特集にあたって	川崎重工業	砂野　耕三	44-4 (2023)	15
(2)国内外におけるエネルギー・トランジションの動向	地球環境産業技術研究機構	秋元　圭吾	44-4 (2023)	16
(3)国際水素サプライチェーン構築に向けた取り組みについて	川崎重工業	亀野　雄一	44-4 (2023)	21
(4)カーボンニュートラル達成に向けた水素・アンモニア焚きガスタービンの取り組み	三菱重工業	藤原　直人	44-4 (2023)	26
	〃	小松謙治朗		
	〃	林　　明典		
	〃	小泉　浩美		
(5)火力発電所への適用に向けたアンモニア燃焼技術の開発動向	IHI	飯田　裕明	44-4 (2023)	31
(6)バイオマス混焼火力発電所へのEFBペレットの適用性評価	IHI	松成　祥平	44-4 (2023)	36
(7)カーボンニュートラル社会実現に向けたCO_2回収技術への取り組み	三菱重工業	荒川　宜彬	44-4 (2023)	41
(8)固体吸収材を用いたCO_2回収	川崎重工業	奥村　雄志	44-4 (2023)	46
	〃	沼口　遼平		
	〃	西部　祥平		
	〃	熊田　憲彦		

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
[特集]2050年カーボンニュートラル社会構築に向けたセクターカップリングの取組み				
(1)特集にあたって	横浜国立大学	吉田　聡	44-5 (2023)	9
	東京電力ホールディングス	増渕　修司		
	東京ガス	馬場　好孝		
(2)セクターカップリングによる問題解決と技術	電力中央研究所	高橋　雅仁	44-5 (2023)	10
(3)デンマークにおけるセクターカップリング	デンマーク王国大使館	田中いずみ	44-5 (2023)	15
	〃	佐藤　勇一		
	〃	高橋　叶		
(4)需要側エネルギーリソースを活用したデマンドレスポンス	アズビル	小松　拓美	44-5 (2023)	20
(5)V2Xの動向と展望	東京電力ホールディングス	山口　英正	44-5 (2023)	25
	〃	河井　伸哉		
	〃	齊藤　且磨		
	〃	濱田　拓		
(6)再生可能エネルギー由来のガス体エネルギー（水素）製造・利用の実証事業（山梨県米倉山PtoG実証）				
	東京電力ホールディングス	沖山　豊	44-5 (2023)	30
	〃	矢田部隆志		
(7)合成メタン（e-methane）の社会実装に向けた取り組み	東京ガス	小笠原　慶	44-5 (2023)	35
[特集]原子力発電の現状，課題，展望				
(1)特集にあたって	東京大学	藤井　康正	44-6 (2023)	13
(2)福島第一原子力発電所における廃炉の現状と今後の課題	東京大学	鈴木　俊一	44-6 (2023)	14
(3)東京電力福島第一原子力発電所事故からの復興事業	日本原子力研究開発機構	飯島　和毅	44-6 (2023)	19
(4)原子炉安全対策	原子力安全システム研究所	片岡　勲	44-6 (2023)	25
(5)1F事故後の原発に対する規制	東京大学	更田　豊志	44-6 (2023)	29
(6)既設原子力発電所の今後の展望	東京大学	岡本　孝司	44-6 (2023)	35
(7)使用済み燃料の再処理	日本原燃	田中　治邦	44-6 (2023)	40
(8)「核廃棄物」と「最終処分」	日本原子力研究開発機構	中山　真一	44-6 (2023)	45
[特集]本格化する洋上風力発電				
(1)特集にあたって	東芝エネルギーシステムズ	斎藤　聡	45-1 (2024)	18
(2)洋上風力政策の現状	経済産業省	山本　純平	45-1 (2024)	19
(3)大型洋上風車の開発と日本市場への導入	MHIベスタスジャパン	後藤　克繁	45-1 (2024)	23
	〃	中山　研		
	〃	佐藤　憲次		
	〃	川合　正洋		
(4)洋上風力発電を支える直流送電システム技術	東芝エネルギーシステムズ	佐藤　純正	45-1 (2024)	29
(5)福島県と進める風力O&M技術開発・人材育成の拠点形成	産業技術総合研究所	田中　元史	45-1 (2024)	34
	〃	久保　徳嗣		
	〃	川端　浩和		
	〃	粟飯原あや		
(6)銚子沖洋上風力発電所における技術開発の成果	東京電力リニューアブルパワー	福本　幸成	45-1 (2024)	39
(7)能代港・秋田港の洋上風力発電事業	秋田洋上風力発電	岡垣　啓司	45-1 (2024)	44
(8)浮体式洋上風力発電の研究開発の進展と課題	東京大学	鈴木　英之	45-1 (2024)	47
[特集]日本における再エネ早期大量導入には何が必要か？				
(1)特集にあたって	自然エネルギー財団	高瀬　香絵	45-2 (2024)	13
	早稲田大学	鷲津　明由		
(2)100%自然エネルギーシステムにおける100%自然エネルギー電力システム				
	自然エネルギー財団/チャルマース工科大学	トーマス・コーベリエル	45-2 (2024)	14
	（翻訳）　自然エネルギー財団	高瀬　香絵		
	〃	斉藤　哲夫		

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(3)洋上風力発電早期大量導入に向けた現状と課題	Ørsted Japan	古川真梨子	45-2 (2024)	17
	〃	富田　沙希		
	〃	柿沼　雄介		
(4)太陽光発電の早期大量導入と主力電源化に向けた展望と課題	産業技術総合研究所	大関　崇	45-2 (2024)	22
(5)地域との共生	名古屋大学	丸山　康司	45-2 (2024)	30
(6)再生可能エネルギー超大量導入を実現する系統柔軟性	京都大学	安田　陽	45-2 (2024)	35
(7)エネルギーの分散化により地域の産業革命をもたらすメッシュ構想:デジタルインフラと電力グリッドの融合				
	東京電力パワーグリッド	岡本　浩	45-2 (2024)	43
(8)電気自動車の活用によるVPP事業の可能性について	REXEV	渡部　健	45-2 (2024)	50
[特集]進展する熱電変換技術				
(1)特集にあたって	産業技術総合研究所	安田　和明	45-3 (2024)	8
	〃	山本　淳		
(2)熱電発電の社会実装に向けた材料・モジュール・評価技術の開発				
	産業技術総合研究所	太田　道広	45-3 (2024)	9
	〃	今里　和樹		
	〃	大川顕次郎		
	〃	天谷　康孝		
(3)カーボンニュートラルへの省エネ貢献およびセンサ用独立電源として活用可能な革新的熱電材料・デバイスの開発	物質・材料研究機構	森　孝雄	45-3 (2024)	16
(4)工場排熱を電力回生する熱電発電製品	KELK	村瀬　隆浩	45-3 (2024)	21
	〃	後藤　大輔		
	〃	牧野　一也		
(5)工場排熱を活用するkW級熱電発電システム	ヤンマーホールディングス	玉木　脩二	45-3 (2024)	25
	ヤンマーeスター	福留　二朗		
	ヤンマーホールディングス	黒岩　芳佳		
	〃	鵜飼　洋史		
	〃	中川　修一		
(6)水蒸気潜熱回収型熱電発電システムの開発	白山	内田健太郎	45-3 (2024)	30
(7)秋田県における熱電発電システムの導入事例	ロイヤルパーツ	柴田　努	45-3 (2024)	35
[特集]まちづくりGX最前線				
(1)特集にあたって	茨城大学	吉田友紀子	45-4 (2024)	8
	筑波大学	岡島　敬一		
(2)まちづくりGX～まちづくりのグリーン化におけるエネルギーの面的利用について～				
	国土交通省	菊池　雅彦	45-4 (2024)	9
(3)GX 時代のエネルギー企業が地域と共に育むまちづくり	関西電力	髙宮　紀子	45-4 (2024)	13
(4)地域視点で成長可能な脱炭素を協創する「大みかグリーンネットワーク」の取組み				
	日立製作所	入江　直彦	45-4 (2024)	18
(5)脱炭素社会を目指したまちづくり～八重洲スマートエネルギーネットワークの構築～				
	東京ガス	鈴木　淳史	45-4 (2024)	23
(6)建設業界におけるGHG排出量の見える化	住友林業	掛上　恭	45-4 (2024)	28
(7)脱炭素社会に向けた開発と取組みについて	竹中工務店	伊勢田　元	45-4 (2024)	33
[特集]二酸化炭素分離・回収技術の新展開				
(1)特集にあたって	ファンクショナル・フルイッド	藤岡　惠子	45-5 (2024)	13
(2)CO_2回収・利用事業の現状～ 排ガスCO_2回収技術について	三菱重工業	上條　孝	45-5 (2024)	14
(3)化学吸着:外部電位制御による二酸化炭素の吸脱着のための材料開発	早稲田大学	七種　紘規	45-5 (2024)	20
	〃	関根　泰		
(4)化学固定:統合化固定・反応系による大気中CO_2回収	東北大学	福島　康裕	45-5 (2024)	24
(5)希薄CO_2回収を実現する促進輸送膜の開発	産業技術総合研究所	牧野　貴至	45-5 (2024)	29
	〃	河野　雄樹		

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(6)岩石風化促進の技術開発における課題と展望	早稲田大学	中垣　隆雄	45-5 (2024)	34
(7)我が国におけるCCS政策の状況と課題	経済産業省	佐伯　徳彦	45-5 (2024)	41
[特集]原子力エネルギーの研究開発と人材育成				
(1)特集にあたって	東京大学	藤井　康正	45-6 (2024)	12
(2)高温ガス炉による水素製造	日本原子力研究開発機構	坂場　成昭	45-6 (2024)	13
(3)小型モジュール型軽水炉(SMR)の研究開発	エネルギー総合工学研究所	都筑　和泰	45-6 (2024)	18
(4)高速炉の研究開発	東京大学	高田　孝	45-6 (2024)	22
(5)核融合炉の研究開発	東京大学	山田　弘司	45-6 (2024)	26
(6)核変換技術の研究開発	日本原子力研究開発機構	西原　健司	45-6 (2024)	31
(7)原子力への理解促進活動と原子力産業界の人材確保・育成	日本原子力産業協会	喜多　智彦	45-6 (2024)	36
[特集]バイオものづくり最前線				
(1)特集にあたって	大阪公立大学	炭谷　順一	46-1 (2025)	18
(2)次世代の産業基盤となるバイオものづくり	バイオインダストリー協会	中川　智	46-1 (2025)	19
(3)ロボティクスとAIを駆使したスマートセル開発	バッカス・バイオイノベーション	丸山　正晴	46-1 (2025)	24
	〃	竹中　武藏		
(4)バイオ由来製品の社会実装促進を目指したRITE発バイオものづくりプラットフォーム	地球環境産業技術研究機構	久保田　健	46-1 (2025)	28
	〃	乾　将行		
(5)CO_2を直接原料とするバイオものづくりへの挑戦	日揮ホールディングス	大渕　貴之	46-1 (2025)	33
(6)木質由来のバイオマスプラスチック・バイオ燃料開発	王子ホールディングス	野口　裕一	46-1 (2025)	37
(7)海外におけるバイオリファイナリー事業の動向	カーボンニュートラル燃料技術センター	原　浩昭	46-1 (2025)	41
[特集]日本型標準加速化モデルに関する最近の動向と今後の見通し				
(1)日本型標準加速化モデルとカーボンニュートラル社会のための標準化戦略研究会の動向と今後の見通し	東京大学	松橋　隆治	46-2 (2025)	8
(2)電力システムのトランジッションを背景とする国際標準化の動向と日本の取組み	早稲田大学	石井　英雄	46-2 (2025)	13
(3)カーボンリサイクル燃料に対するCO_2カウントルールの国際標準化をめぐる動向と対応－e-methaneの場合	日本ガス協会	工月　良太	46-2 (2025)	18
	〃	小原　充裕		
(4)環境計測の国際標準化	産業環境管理協会	大野　香代	46-2 (2025)	25
(5)EVの電力色付け技術の概念実証およびカーボンニュートラルに向けた今後の展望	本田技研工業	上野　将樹	46-2 (2025)	30
	〃	佐々木正法		
	〃	新崎　知		
(6)水素を巡る最近の動向－戦略，標準化を中心に	日本規格協会	小林　直哉	46-2 (2025)	35
[特集]カーボンニュートラルに向けたモデル分析				
(1)特集にあたって：長期エネルギー政策立案のためのモデル分析	立命館アジア太平洋大学	松尾　雄司	46-3 (2025)	14
(2)AIM(アジア太平洋統合評価モデル)を用いた2050年脱炭素社会の実現に向けた排出経路と対策の評価	国立環境研究所	日比野　剛	46-3 (2025)	19
	〃	芦名　秀一		
	〃	増井　利彦		
(3)地球環境産業技術研究機構(RITE)による日本の2040年および2050年のエネルギーシステム分析	地球環境産業技術研究機構	秋元　圭吾	46-3 (2025)	24
	〃	佐野　史典		
	〃	本間　隆嗣		
(4)持続可能な未来に向けた参加型・対話型シナリオ分析の実践	地球環境戦略研究機関	栗山　昭久	46-3 (2025)	29
	〃	田中　勇伍		

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(5)TIMESによる2040年エネルギーミックスのモデル分析				
	デロイトトーマツコンサルティング	大久保辰哉	46-3 (2025)	35
	〃	宇都宮瑞生		
	〃	大屋　昌士		
	〃	濵﨑　博		
(6)太陽光・風力発電の立地影響を考慮した2040・50年のエネルギーミックス分析				
	日本エネルギー経済研究所	尾羽　秀晃	46-3 (2025)	40
(7)効率化と自然エネルギーを中心としたエネルギーシナリオ　2040年までにエネルギー自給率75%を達成する				
	自然エネルギー財団	高瀬　香絵	46-3 (2025)	45
	〃	木村誠一郎		
	〃	西田　裕子		
	〃	斉藤　哲夫		
	東京科学大学	分山　達也		
[特集]化学変換による二酸化炭素活用への展開				
(1)特集にあたって	大阪大学	安田　誠	46-4 (2025)	8
(2)電解還元を用いた二酸化炭素の固定化:脱芳香族カルボキシル化反応の開発				
	北海道大学	美多　剛	46-4 (2025)	9
(3)酵素を触媒としてCO_2を有効利用する有機合成	東京科学大学	奥　悠莉	46-4 (2025)	15
	〃	松田　知子		
(4)CO_2からのギ酸製造 ～希少金属を使用しないCO_2変換法～	神戸大学	松原　亮介	46-4 (2025)	20
(5)二酸化炭素からの炭化水素合成	大阪大学	藤原　正浩	46-4 (2025)	26
(6)環境循環型メタノールの社会実装に向けた展望	三菱ガス化学	久古　陽一	46-4 (2025)	31
(7)常圧・低濃度CO_2を用いたポリウレタン原料の合成	産業技術総合研究所	小泉　博基	46-4 (2025)	37
	〃	長江　春樹		
	〃	竹内　勝彦		
	〃	松本　和弘		
	〃	深谷　訓久		
	〃	崔　準哲		
	東ソー	中繁　誠人		
	〃	坂口　孝太		
	〃	羽村　敏		
[特集]家庭部門のCO_2排出実態統計調査とその研究活用				
(1)特集にあたって	電力中央研究所	西尾健一郎	46-5 (2025)	18
(2)家庭CO_2統計の歩み	環境省地球環境局総務課脱炭素社会移行推進室		46-5 (2025)	22
(3)家庭CO_2統計の調査設計と品質向上に向けた取組	住環境計画研究所	岡本　洋明	46-5 (2025)	25
(4)家庭部門CO_2排出実態統計調査利用研究会の活動	東京大学	岩船由美子	46-5 (2025)	31
(5)家庭CO_2統計の研究活用例 －需要構造に着目して－	ENEOS	星野　優子	46-5 (2025)	33
(6)家庭CO_2統計の研究活用例 －地球温暖化・省エネ対策に着目して－				
	日本エネルギー経済研究所	小川　順子	46-5 (2025)	40
(7)家庭CO_2統計の研究活用例 －分析手法やデータ活用法に着目して－	電力中央研究所	山田　愛花	46-5 (2025)	46
[特集]水電解水素製造装置の最新動向				
(1)特集にあたって	三菱電機	光田　憲朗	46-6 (2025)	17
	川崎重工業	猪股　昭彦		
(2)水電解水素製造の概要と最新動向	横浜国立大学	黒田　義之	46-6 (2025)	18
	〃	光島　重徳		
(3)大型アルカリ水電解装置「Aqualyzer™」の開発と実証に関する最新動向	旭化成	中川　兼次	46-6 (2025)	23
	〃	塚原　祐介		
	〃	藤田　泰宏		
	〃	内野　陽介		

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(4)水電解式高純度水素発生装置 HHOG®	神鋼環境ソリューション	小野田草介	46-6 (2025)	29
(5)グリーン水素の低コスト化に向けたプロトン交換膜形水電解セル技術の開発	東京ガス	宇根本　篤	46-6 (2025)	33
(6)高圧水電解技術と循環型再生エネルギーシステム技術開発の取り組み	本田技術研究所	針生　栄次	46-6 (2025)	37
(7)アニオン交換膜水電解（AEMWE）の研究開発動向	山梨大学	内田　誠	46-6 (2025)	42
(8)グリーン水素製造に向けた高効率SOECの開発	日本特殊陶業	柴田　昌宏	46-6 (2025)	48
[特集]カーボンニュートラルに向けた熱エネルギー利用の可能性と課題				
(1)特集にあたって	ファンクショナル・フルイッド	藤岡　惠子	47-1 (2026)	19
	大阪ガス	大塚　浩文		
(2)省エネルギー・非化石転換に向けた政府の取り組み	経済産業省	中西　拓也	47-1 (2026)	20
(3)カーボンニュートラル達成に求められる熱利用技術	アサヒクオリティーアンドイノベーションズ	川村　公人	47-1 (2026)	25
(4)未利用廃熱を活用した産業熱分野のCO_2削減	大阪ガス	若林　努	47-1 (2026)	31
(5)中高温用相変化材料の開発と広義のサーマルマネジメント技術への展開	北海道大学	能村　貴宏	47-1 (2026)	35
(6)革新的レトロテクノロジーの蓄熱発電・熱電池	エネルギー総合工学研究所	岡崎　徹	47-1 (2026)	40
(7)産業用高温ヒートポンプ技術の進展と今後の課題	電力中央研究所	甲斐田武延	47-1 (2026)	45
[特集]ペロブスカイト太陽電池　加速する国産イノベーション				
(1)特集にあたって	東京ガス	馬場　好孝	47-2 (2026)	13
	三菱電機	光田　憲朗		
(2)ペロブスカイト太陽電池の開発－性能と設置から回収まで	桐蔭横浜大学	宮坂　力	47-2 (2026)	14
(3)フィルム型ペロブスカイト太陽電池の現状と課題	エネコートテクノロジーズ	島　正樹	47-2 (2026)	21
(4)ガラス建材一体型ペロブスカイト太陽電池の開発	パナソニック ホールディングス	松井　太佑	47-2 (2026)	26
(5)産総研におけるペロブスカイト太陽電池の研究開発	産業技術総合研究所	村上　拓郎	47-2 (2026)	30
(6)ペロブスカイト太陽電池の海外情勢について	兵庫県立大学	伊藤　省吾	47-2 (2026)	35
(7)ポスト鉛系ペロブスカイト太陽電池 －錫系ペロブスカイト太陽電池の研究開発動向－	電気通信大学	早瀬　修二	47-2 (2026)	39
[特集]AI時代に向けたエネルギーシステムにおけるデータセンターの現状と課題				
(1)特集にあたって	日本エネルギー経済研究所	尾羽　秀晃	47-3 (2026)	12
	三菱重工業	木曽　文彦		
(2)AI時代のデータセンターと電力インフラの動向	三菱総合研究所	谷口　祐司	47-3 (2026)	13
	〃	宮原　昂希		
(3)安全・安心で環境に配慮したデータセンターの構築	セコムトラストシステムズ	吉田　昌徳	47-3 (2026)	18
	セコム	小松原康弘		
(4)データセンター電力需要の将来推計における評価基準の検討－再現性の観点からの方法論的整理－	電力中央研究所	間瀬　貴之	47-3 (2026)	21
	〃	朝野　賢司		
(5)電力システムの観点からのデータセンター：データセンターの立地と運用の柔軟化の貢献	日本エネルギー経済研究所	永富　悠	47-3 (2026)	26
(6)AI時代におけるデータセンターの姿	三菱重工業	今井　俊爾	47-3 (2026)	31
[特集]脱炭素社会を支える地下資源の最前線				
(1)特集にあたって	竹中工務店	田島　大介	47-4 (2026)	19
	自然エネルギー財団	高瀬　香絵		
(2)資源循環を“安全保障投資”へ　－日本の実情に即したクリティカル度評価と国内資源戦略－	三菱総合研究所	古木　二郎	47-4 (2026)	20
	〃	井上　裕史		
(3)GX・DX時代の国産海底鉱物資源の意義と展望	東京大学	中村謙太郎	47-4 (2026)	25

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
(4)DXとAIが導く地下資源開発の革新 ー「Smart Mining＋」による持続可能な資源確保の最前線ー				
	北海道大学	川村　洋平	47-4 (2026)	30
	〃	岡田　夏男		
(5)地熱資源の概要と展望	日本地熱協会	宮崎　武志	47-4 (2026)	36
(6)地球が生み出す水素:ホワイト水素とオレンジ水素	東京大学	辻　　健	47-4 (2026)	41
(7)CCSを核とする低炭素ソリューションの事業化検討事例	INPEX	小林　健太	47-4 (2026)	46
	〃	来城　　剛		
	〃	飯田　真司		
[特集]サーキュラーエコノミーとエネルギー・資源				
(1)特集にあたって	東京大学	前　　匡鴻	47-5 (2026)	19
	東京電力ホールディングス	和田　純一		
(2)サーキュラーエコノミーの社会実装に関する取り組み	AIST Solutions	大石　佑子	47-5 (2026)	20
	〃	中林　　亮		
	産業技術総合研究所	小野　恭子		
(3)サーキュラーエコノミーと今後のものづくりの方向性	東京大学	梅田　　靖	47-5 (2026)	25
(4)解体コンクリートを活用したカーボンリサイクルとサーキュラーエコノミーの実現に向けて				
	東京電力ホールディングス	松浦　忠孝	47-5 (2026)	30
(5)スクラップ＆ビルドを超えて「サーキュラーデザインビルド®」の実現を目指して				
	竹中工務店	福井　彰一	47-5 (2026)	35
	〃	高﨑　英人		
	〃	岩崎真衣子		
	〃	槌尾　　健		
	〃	海野　玄陽		
	〃	森　　唯人		
	〃	横山　大貴		
	〃	鹿嶋　　渉		
(6)蓄電池のサーキュラーエコノミー実現に向けた取り組み	JERA	尾崎　亮一	47-5 (2026)	40
	〃	長尾　隆司		
(7)清掃工場由来CO_2を核とした官民連携型CCU ビジネスモデルの構築	佐賀市	前田　修二	47-5 (2026)	45